

# 総合人間科学研究科

教育学専攻

心理学専攻

社会学専攻

社会福祉学専攻

看護学専攻

## 1. 総合人間科学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

人間の尊厳を基盤とし、科学の知、臨床の知、政策・運営の知にかかわる学際的教育・研究を行い、理論と実践・臨床を両輪として社会に貢献しうる人材を育成する。前期課程では、実践・臨床の場で活躍できる高度専門職業人及びこれらの場を視野にいたした研究者の養成を目指し、後期課程では、実践・臨床的知見を踏まえ学問的に貢献しうる人材育成を目指す。

## 2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

### 教育学専攻

#### 【博士前期課程】

博士前期課程では、講義・演習・研究指導を組み合わせたカリキュラムを作成しています。学生は教育学各領域の講義、演習科目を受講して、幅広い学識と柔軟かつ多角的な思考力・分析力を身に付けます。また、指導教員による論文演習・研究指導を通じて、研究者として必要な能力を養うとともに、修士論文を完成させます。必要に応じて複数の教員が指導にあたり、教育と社会をめぐる課題解決に必要な情報収集・分析能力など、研究者として必要な素養を培います。

#### 【博士後期課程】

博士後期課程では、教育学各領域の講義・演習科目に加えて、博士論文作成のための論文演習・研究指導科目を設置しています。また、専攻では博士論文執筆のための「研究スケジュール」を作成して、博士後期課程入学から学位取得までの手順を示すとともに、3名からなる指導委員会を設置して研究指導を行うなど、学位取得までの一貫した指導体制を築いています。学生は、「研究スケジュール」に従って研究を進め、指導委員会による研究指導を受けて博士論文を完成させます。併せて、専門分野における情報収集・分析能力、および研究能力を向上させ、自立した研究者としての能力を身に付けます。

### 心理学専攻

厳密な科学的アプローチをしつつ、暖かなまなざしをもって人間を見つめる姿勢を涵養します。学部からの一貫した教育ポリシーに基づき、学部での基礎トレーニングを基盤に大学院での専門教育を設定しています。

#### 【博士前期課程】

心理学の基礎領域と臨床領域を車の両輪として、基礎・実験系心理学、社会・発達系心理学、臨床心理学のそれぞれに関わる共通科目の履修と、それぞれに特化した科目群を設定し、基礎と臨床の両面からカリキュラムが構築されています。

#### 【博士後期課程】

それぞれの専門テーマの追求とともに、領域横断的な視点をもった対人支援の専門家として行動できる心理学者を養成します。

## 社会学専攻

本専攻では、ディプロマ・ポリシーに掲げた人材を養成するため、理論と方法の基礎科目および現代社会の重要な諸側面を扱う幅広い専門科目を開講しています。

### 【博士前期課程】

本課程では、社会学理論と社会調査・データ収集分析の方法に関する必修科目を通して、先人の残した理論および経験的調査、データ分析のために必要な方法を身につけます。さらには、各自が設定したテーマに沿って、教員の指導を受けながら、学んだ理論と方法を駆使して実際に研究をおこない、修士論文を執筆します。

### 【博士後期課程】

本課程では、各自のテーマに沿って、博士論文の執筆、学際的研究の推進、関係学会における研究発表、学術雑誌や紀要への論文投稿に関する個人指導がおこなわれます。こうしたトレーニングを通じて、研究者として独立するために必要な専門的知識・能力の養成と資格・実績の獲得をめざしています。

## 社会福祉学専攻

本専攻は、従来の狭義の社会福祉を超えた新しい福祉社会の実現に貢献する人材育成のために、斬新なカリキュラムを編成し教育に取り組んでいます。

### 【博士前期課程】

従来の「研究者養成プログラム」だけでなく、理論と方法に裏付けられた「高度福祉専門職養成プログラム」を提供し、多様な人材養成に取り組んでいます。福祉政策・運営管理系および福祉臨床系の科目群を開講し、社会福祉を広く深く、バランスよく研究することができます。また、コアカリキュラムとして、3つの社会福祉研究法の演習を開講し、高度福祉専門職や研究者に求められる研究法を身につけるよう科目を配置しています。そして、社会福祉フィールドワークと、援助事例分析または地域事例分析により、学んだ研究法を実際に用いつつ、理論と実践を統合的に学ぶ能力を養い、修士論文を執筆できるように研究指導をおこないます。

### 【博士後期課程】

福祉政策・運営管理系および福祉臨床系の多様な専門分野で研究している教員の中から、指導教員を選び、指導教員の指導を受けて、必要な場合には博士前期課程の科目群から、博士論文執筆に必要な研究法や関連科目を履修します。先行研究の検討や調査実施により博士論文のテーマを絞り込み、研究を進めていきます。そして、学会発表や論文執筆を積み重ねて研究者としての能力を高め、実践・現場との共同研究などにも取り組み、研究をまとめ、博士論文を執筆します。

## 看護学専攻

### 【修士課程】

本専攻は、国内外の医療健康問題の動向における重要課題に鑑み、①小児・家族共生支援看護学領域、②がん・緩和ケア看護学領域、③メンタルヘルス看護学領域、④国際共生支援看護学領域の4領域に焦点をあて、「共生支援」のキーワードにもとづいて、良質のケアリングにかかわる発展的かつ実践的な研究を行うためのカリキュラムを設けています。

具体的には、講義、研究ゼミ、演習だけではなく、国内外における主体的な取り組みをとおして、実践力ならびに研究に必要な企画力、発展的な批判思考を修得できるよう「フィールドワーク」を開講しています。さらに「看護学研究特別指導」では、修士論文作成にあたり、学生が必要とする場合には主たる領域研究指導者だけでなく、本専攻の専任教員全員から指導を受けることができます。

### 3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

#### 教育学専攻

##### 【博士前期課程】

教育学の領域における幅広い学識を有し、人間の尊厳の理念および社会のさまざまな事象についての情報収集力、柔軟で多角的な思考力・分析力を身につけ、教育と社会をめぐる課題に対応し得る研究力を備えた人材に、修士（教育学）の学位を授与します。

##### 【博士後期課程】

研究者として教育学の領域における幅広い学識を有し、人間の尊厳の理念および社会のさまざまな事象についての情報収集力、柔軟で多角的な思考力・分析力を身につけ、かつ研究論文をまとめる力量、教育実践力・指導力の基礎を獲得した人材に、博士（教育学）の学位を授与します。

#### 心理学専攻

人間の尊厳を守る社会を実現するために、時代が求める「心」を探求する専門的な知識と経験を、総合的視野に立って駆使できる人材に対して学位を授与します。

##### 【博士前期課程】

基礎心理学コースでは、厳密な科学的アプローチを中心として、高度な専門知識と研究技術の獲得をめざします。臨床心理学コースでは、人間の尊厳を重視したヒューマニズムを中心として、心理専門職として活躍するための実践的な知識と技術の獲得をめざします。

##### 【博士後期課程】

臨床的視点を持つ研究者、研究者の視点をもつ実践家の養成をめざし、科学的視点を基盤にした対人支援を実践できる専門家に博士（心理学）の学位を授与します。

#### 社会学専攻

本専攻は、人間の尊厳を守る公正な社会の実現に向けて、社会が直面する様々な変化やそれに付随して生じる社会問題の根源的なメカニズムを理解し、冷静な分析力と機敏な応用力を兼ね備えた人材の育成をめざし、学位を授与します。

##### 【博士前期課程】

本課程では、社会学理論と方法論を中心に専門分野の知識の批判的学習、現実社会の理解・分析をとおして、高度な専門的知識と技術を兼ね備えた研究者および実践をも視野に入れた職業人を育成します。

##### 【博士後期課程】

本課程では、博士前期課程で備えた理論的知識や方法論的技術をより発展させることをとおして、オリジナルな研究が行える専門研究者を育成します。

## 社会福祉学専攻

本専攻は、人間の尊厳を尊重し、新しい福祉社会の実現に貢献する人材を育成します。

### 【博士前期課程】

「科学の知」「政策・運営の知」「臨床の知」のそれぞれを学び、理論と実践・臨床を統合して理解することによって、福祉臨床の知識・技術、福祉社会をデザインし作り出す知識・技術を修得した高度な専門職業人(実践者・行政官・社会的企業家等)や研究者となる、高度な専門的知識と実践能力、研究能力を身につけた人材を養成します。そして、研究をまとめて修士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者に、修士(社会福祉学)の学位を授与します。

### 【博士後期課程】

博士前期課程で身につけた高度な専門的知識と実践能力、研究能力をより高めていく研究指導をおこない、新しい社会福祉の研究と実践を積極的にリードする研究者を養成します。そして、研究をまとめて博士の学位申請論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に、博士(社会福祉学)の学位を授与します。

## 看護学専攻

### 【修士課程】

本専攻では、人間に対するケアリングをディシプリンとして捉えるとともに、実践に生かせる研究力ならびに指導力を兼ね備えた人材の育成を目指しています。

看護の対象者であるあらゆる地域および年齢の人々の発達・健康のレベルに応じた良質の健康支援および次世代育成ができる実践能力とともに、その支援や育成を推進できる研究能力を有する人材、次世代の看護を担う人々への教育を推進していける人材、学際的、総合的な視野から国内外で活躍できる人材に修士(看護学)の学位を授与します。

## 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└論文演習Ⅰ	2		
└論文演習Ⅱ	2		
・選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			2単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）			単位なし, 每学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

### 【修士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が教育研究に寄与し, オリジナリティを有すること。
- 2) 研究テーマが十分に絞り込まれた明確なものであること。
- 3) 先行研究が十分に参照され, 明記されていること。引用が正確になされていること。  
データが適切に処理されていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。
- 5) 論文の言語表現が的確で正しいこと。また, 目次, 註などに関する体裁が整っていること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
教育哲学講義			2
教育哲学演習			2
教育哲学特殊講義 I			2
教育哲学特殊講義 II			2
日本教育史講義			2
日本教育史演習			2
日本教育史特殊講義 I			2
日本教育史特殊講義 II			2
外国教育史講義			2
外国教育史演習			2
外国教育史特殊講義 I			2
外国教育史特殊講義 II			2
生涯教育学講義			2
生涯教育学演習			2
生涯教育学特殊講義 I			2
生涯教育学特殊講義 II			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
学校教育学講義			2
学校教育学演習			2
学校教育学特殊講義 I			2
学校教育学特殊講義 II			2
教育社会学講義			2
教育社会学演習			2
教育社会学特殊講義 I			2
教育社会学特殊講義 II			2
国際教育学講義			2
国際教育学演習			2
国際教育学特殊講義 I			2
国際教育学特殊講義 II			2
国際教育開発学講義			2
国際教育開発学演習			2
国際教育開発学特殊講義 I			2
国際教育開発学特殊講義 II			2
論文演習 I (前期)	2		
論文演習 II (前期)	2		

## 3. 履修上の注意

- 1) 担当教員の「研究指導」を毎学期履修すること。
- 2) 2年次に指導教員の「論文演習 I・II」を必ず受講すること。
- 3) 同一名の授業科目であっても、年度によって授業内容が変わるものは、重複して履修することができ、単位として認定される。
- 4) 修士論文提出予定者は、修士論文を提出する学期の履修登録期間中に必ず修士論文を登録すること。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MHED2731	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU701	2	加藤 守通	M2対象
MHED2741	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU701	2	湯川 嘉津美	M2対象
MHED2751	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU701	2	高祖 敏明	M2対象
MHED2761	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU701	2	田中 治彦	M2対象
MHED2771	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU701	2	奈須 正裕	M2対象
MHED2791	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU701	2	酒井 朗	M2対象
MHED2801	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU701	2	杉村 美紀	M2対象
MHED2811	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU701	2	小松 太郎	M2対象
MHED7010	春	教育哲学講義	EDU501	2	加藤 守通	
MHED7030	休講	教育哲学特殊講義Ⅰ	EDU502	2		
MHED7070	春	日本教育史講義	EDU503	2	湯川 嘉津美	
MHED7090	休講	日本教育史特殊講義Ⅰ	EDU504	2		
MHED7130	春	外国教育史講義	EDU505	2	高祖 敏明	
MHED7150	春	外国教育史特殊講義Ⅰ	EDU506	2	*見世 千賀子	
MHED7190	春	生涯教育学講義	EDU507	2	田中 治彦	
MHED7210	春	生涯教育学特殊講義Ⅰ	EDU508	2	*村田 晶子	
MHED7250	春	学校教育学講義	EDU509	2	奈須 正裕	
MHED7270	春	学校教育学特殊講義Ⅰ	EDU510	2	*佐久間 亜紀	
MHED7310	春	教育社会学講義	EDU511	2	酒井 朗	
MHED7330	休講	教育社会学特殊講義Ⅰ	EDU512	2		
MHED7430	春	国際教育学講義	EDU513	2	杉村 美紀	
MHED7450	休講	国際教育学特殊講義Ⅰ	EDU514	2		
MHED7490	春	国際教育開発学講義	EDU515	2	小松 太郎	授業はすべて英語で行う
MHED7470	休講	国際教育開発学特殊講義Ⅰ	EDU516	2		
MHED7600	春	Participatory Action Research	EDU525	2	KASUMAGIC-KAFEDZIC Larisa	授業はすべて英語で行う
MHED2732	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU702	2	加藤 守通	M2対象
MHED2742	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU702	2	湯川 嘉津美	M2対象
MHED2752	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU702	2	高祖 敏明	M2対象
MHED2762	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU702	2	田中 治彦	M2対象
MHED2772	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU702	2	奈須 正裕	M2対象
MHED2792	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU702	2	酒井 朗	M2対象
MHED2802	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU702	2	杉村 美紀	M2対象
MHED2812	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU702	2	小松 太郎	M2対象
MHED7020	秋	教育哲学演習	EDU601	2	加藤 守通	
MHED7040	休講	教育哲学特殊講義Ⅱ	EDU517	2		
MHED7080	秋	日本教育史演習	EDU602	2	湯川 嘉津美	
MHED7100	休講	日本教育史特殊講義Ⅱ	EDU518	2		
MHED7140	秋	外国教育史演習	EDU603	2	高祖 敏明	
MHED7160	秋	外国教育史特殊講義Ⅱ	EDU519	2	*小国 喜弘	
MHED7200	秋	生涯教育学演習	EDU604	2	田中 治彦	
MHED7220	秋	生涯教育学特殊講義Ⅱ	EDU520	2	*湯本 浩之	
MHED7260	秋	学校教育学演習	EDU605	2	奈須 正裕	
MHED7280	休講	学校教育学特殊講義Ⅱ	EDU521	2		
MHED7320	秋	教育社会学演習	EDU606	2	酒井 朗	
MHED7340	秋	教育社会学特殊講義Ⅱ	EDU522	2	*岡本 智周	秋学期集中
MHED7440	秋	国際教育学演習	EDU607	2	杉村 美紀	
MHED7460	秋	国際教育学特殊講義Ⅱ	EDU523	2	*吉川 裕美子	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MHED7500	秋	国際教育開発学演習	EDU608	2	小松太郎	授業はすべて英語で行う
MHED7480	秋	国際教育開発学特殊講義Ⅱ	EDU524	2	*林真樹子	
MHED9490	秋	修士論文	EDU899	0	教育学専攻各指導教員	M2対象

## 5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
MHED1011	春	研究指導	EDU888	加藤守通	指導科目
MHED1021	春	研究指導	EDU888	湯川嘉津美	指導科目
MHED1031	春	研究指導	EDU888	高祖敏明	指導科目
MHED1041	春	研究指導	EDU888	田中治彦	指導科目
MHED1051	春	研究指導	EDU888	奈須正裕	指導科目
MHED1071	春	研究指導	EDU888	酒井朗	指導科目
MHED1081	春	研究指導	EDU888	杉村美紀	指導科目
MHED1091	春	研究指導	EDU888	小松太郎	指導科目
MHED1012	秋	研究指導	EDU888	加藤守通	指導科目
MHED1022	秋	研究指導	EDU888	湯川嘉津美	指導科目
MHED1032	秋	研究指導	EDU888	高祖敏明	指導科目
MHED1042	秋	研究指導	EDU888	田中治彦	指導科目
MHED1052	秋	研究指導	EDU888	奈須正裕	指導科目
MHED1072	秋	研究指導	EDU888	酒井朗	指導科目
MHED1082	秋	研究指導	EDU888	杉村美紀	指導科目
MHED1092	秋	研究指導	EDU888	小松太郎	指導科目

## 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	12		
授業科目			
▶必修科目	12		
└論文演習Ⅰ (後期)	6	3	3年間 (3回) 履修すること
└論文演習Ⅱ (後期)	6	3	3年間 (3回) 履修すること
▶選択科目			
研究指導 (必修)			単位なし, 每学期履修すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

### 【博士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が教育研究に寄与し, オリジナリティを有すること。
- 2) 研究テーマが絞り込まれた明確なものであること。
- 3) 国内外の先行研究が網羅的に参照され, 明記されていること。引用が正確になされていること。データが適切に処理されていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。
- 5) 論文の言語表現が的確で正しいこと。また, 目次, 註などに関する体裁が整っていること。
- 6) 当該分野における先端的研究として位置づけられ, 執筆者が自立的な研究者として研究を遂行する能力を証するものであること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ (後期)	2		
論文演習Ⅱ (後期)	2		

※「論文演習Ⅰ・Ⅱ (後期)」については, 毎年4単位, 3年間で合計12単位を履修する。

※教育学専攻博士前期課程の選択科目は履修することができ, 修得単位として認める。(p.130~131参照のこと)

## 3. 履修上の注意

- 1) 指導教授の「論文演習Ⅰ・Ⅱ」を, 毎年必ず受講すること。12単位 (4単位×3年) を必修とする。
- 2) 「研究指導」 (必修) を每学期履修すること。
- 3) 学位規定, 博士後期課程の研究スケジュール (指針) に従って, 研究に従事し, 博士号の取得をめざすこと。

## 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	備考
DHED3011	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU901	2	加藤 守通	
DHED3021	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU901	2	湯川 嘉津美	
DHED3031	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU901	2	高祖 敏明	
DHED3041	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU901	2	田中 治彦	
DHED3051	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU901	2	奈須 正裕	
DHED3071	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU901	2	酒井 朗	
DHED3081	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU901	2	杉村 美紀	
DHED3091	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU901	2	小松 太郎	
DHED3012	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU902	2	加藤 守通	
DHED3022	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU902	2	湯川 嘉津美	
DHED3032	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU902	2	高祖 敏明	
DHED3042	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU902	2	田中 治彦	
DHED3052	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU902	2	奈須 正裕	
DHED3072	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU902	2	酒井 朗	
DHED3082	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU902	2	杉村 美紀	
DHED3092	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU902	2	小松 太郎	

## 5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
DHED3211	春	研究指導	EDU988	加藤 守通	指導科目
DHED3221	春	研究指導	EDU988	湯川 嘉津美	指導科目
DHED3231	春	研究指導	EDU988	高祖 敏明	指導科目
DHED3241	春	研究指導	EDU988	田中 治彦	指導科目
DHED3251	春	研究指導	EDU988	奈須 正裕	指導科目
DHED3271	春	研究指導	EDU988	酒井 朗	指導科目
DHED3281	春	研究指導	EDU988	杉村 美紀	指導科目
DHED3291	春	研究指導	EDU988	小松 太郎	指導科目
DHED3212	秋	研究指導	EDU988	加藤 守通	指導科目
DHED3222	秋	研究指導	EDU988	湯川 嘉津美	指導科目
DHED3232	秋	研究指導	EDU988	高祖 敏明	指導科目
DHED3242	秋	研究指導	EDU988	田中 治彦	指導科目
DHED3252	秋	研究指導	EDU988	奈須 正裕	指導科目
DHED3272	秋	研究指導	EDU988	酒井 朗	指導科目
DHED3282	秋	研究指導	EDU988	杉村 美紀	指導科目
DHED3292	秋	研究指導	EDU988	小松 太郎	指導科目

## 心理学専攻 博士前期課程 基礎心理学コース

### 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
授業科目			
▶必修科目	8		
└論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
▶選択必修科目	8		
▶選択科目	18		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし、国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし，毎学期，履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

### 【修士論文審査基準】

- 1) 問題設定：問題意識が明確で，課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解：先行研究を適切に検討，吟味していること。
- 3) 研究方法・分析方法：研究目的に対し，研究のデザイン・研究方法・分析方法が適切であること。
- 4) 論文構成：論文構成が的確で，論理展開に整合性，一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ：当該分野，領域における社会的・学術的な意義が認められること。
- 6) 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し，研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会，大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
- 7) 形式面：以下の形式面が整っていること。
  1. 章・節の構成が適切であり，目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
  2. 文章が明快で，論旨が明確に理解可能であること。
  3. 引用が適切で，引用文献表がきちんと整えられていること。
  4. 論文，引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ（前期）	2		
論文演習Ⅱ（前期）	2		
心理測定学特殊研究Ⅰ		2	
心理測定学特殊研究Ⅱ		2	
認知心理学特殊研究Ⅰ		2	
認知心理学特殊研究Ⅱ		2	
精神医学特殊研究		2	
生理心理学特殊研究Ⅰ		2	
生理心理学特殊研究Ⅱ		2	
発達心理学特殊研究Ⅰ		2	
発達心理学特殊研究Ⅱ		2	
社会心理学特殊研究Ⅰ		2	
社会心理学特殊研究Ⅱ		2	
老年心理学特殊研究		2	
コミュニティ心理学特殊研究		2	
人間関係特論		2	
心理学研究法演習			2

※注1：言語学専攻開講科目。

※注2：社会福祉学専攻開講科目。

科目名 ※（他）：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
心理学各論特殊研究		2	
心理統計法特論			2
グループ・アプローチ特論			2
教育臨床特論			2
心理学基礎実習Ⅰ			1
心理学基礎実習Ⅱ			1
心理学特殊実習Ⅰ			1
心理学特殊実習Ⅱ			1
（他）失語・高次脳機能障害学特論A※注1		2	
（他）失語・高次脳機能障害学特論B※注1		2	
（他）言語障害研究特殊講義F（学習障害）※注1		2	
（他）臨床医学特論D（神経系の基礎と病態・内科学）※注1			2
（他）臨床医学特論E（発達障害医学・脳性麻痺）※注1			2
（他）言語聴覚病理学特論（医学概論・解剖学・生理学・病理学）※注1			2
（他）児童福祉学 ※注2		2	
（他）精神保健福祉研究 ※注2		2	
（他）コミュニティオーガニゼーション研究 ※注2		2	

## 3. 履修上の注意

下記に従って合計34単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。

○ 全ての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。

- 必修8単位：「論文演習Ⅰ（前期）」及び「論文演習Ⅱ（前期）」をそれぞれ2年間履修する。
- 「研究指導（必修）」を在籍中は毎学期必ず履修すること。
- 選択必修8単位：指導教員の指定する科目を履修する（選択必修科目の余剰単位は、選択科目の単位に充当することができる）。
- 選択18単位
- 「心理学特殊実習Ⅰ」及び「心理学特殊実習Ⅱ」を履修しようとする者は、各学期初めに専攻主任に届出し、承認を得た後に履修することができる。
- 「心理学基礎実習Ⅰ」「心理学基礎実習Ⅱ」を履修しようとする者は、あらかじめ指導教員と相談すること。
- 学年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明に十分留意すること。
- 不明な点は指導教員と相談の上、履修を行うこと。
- 前期課程在籍者で、やむをえず9月修了を希望する者は、修了予定年度の前年度末までに理由を説明する願い書（書式は自由）を専攻主任に提出し、専攻会議の承認を受けること。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MHPS1311	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	岡田 隆	
MHPS1321	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	毛利 伊吹	
MHPS1331	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	荻野 美佐子	
MHPS1341	休講	論文演習 I (前期)	PSY501	2	藤山 直樹	
MHPS1351	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	道又 爾	
MHPS1361	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	黒川 由紀子	
MHPS1371	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	久田 満	
MHPS1381	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	横山 恭子	
MHPS1391	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	廣瀬 英子	
MHPS1401	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	吉村 聡	
MHPS1421	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	樋口 匡貴	
MHPS6230	春	心理測定学特殊研究 I	PSY723	2	廣瀬 英子	
MHPS6250	春	認知心理学特殊研究 I	PSY725	2	道又 爾	
MHPS6270	休講	精神医学特殊研究	PSY727	2	藤山 直樹	
MHPS6290	春	生理心理学特殊研究 I	PSY729	2	岡田 隆	
MHPS6310	春	発達心理学特殊研究 I	PSY731	2	荻野 美佐子	
MHPS6330	春	社会心理学特殊研究 I	PSY733	2	樋口 匡貴	
MHPS6360	春	コミュニティ心理学特殊研究	PSY736	2	久田 満	
MHPS7390	春	心理学研究法演習	PSY739	2	荻野 美佐子 廣瀬 英子	輪講
MHPS7400	春	心理学各論特殊研究	PSY740	2	*池田 暁史	春学期集中
MHPS7410	春	心理統計法特論	PSY741	2	*萩生田 伸子	
MHPS7420	春	グループ・アプローチ特論	PSY742	2	*高良 聖	
MHPS7430	春	心理学基礎実習 I	PSY751	1	横山 恭子 樋口 匡貴 岡田 隆	複数同時担当
MHPS7450	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	岡田 隆	
MHPS7470	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	毛利 伊吹	
MHPS7510	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	荻野 美佐子	
MHPS7530	休講	心理学特殊実習 I	PSY753	1	藤山 直樹	
MHPS7550	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	道又 爾	
MHPS7570	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	黒川 由紀子	
MHPS7590	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	久田 満	
MHPS7610	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	横山 恭子	
MHPS7630	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	廣瀬 英子	
MHPS7650	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	吉村 聡	
MHPS7700	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	樋口 匡貴	
MHPS7810	春	教育臨床特論	PSY783	2	*伊東 孝郎	
MHPS9830	春	修士論文	PSY899	0	心理学専攻教員	9月修了者対象
MHPS1312	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	岡田 隆	
MHPS1322	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	毛利 伊吹	
MHPS1332	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	荻野 美佐子	
MHPS1342	休講	論文演習 II (前期)	PSY502	2	藤山 直樹	
MHPS1352	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	道又 爾	
MHPS1362	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	黒川 由紀子	
MHPS1372	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	久田 満	
MHPS1382	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	横山 恭子	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MHPS1392	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502	2	廣瀬英子	
MHPS1402	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502	2	吉村聡	
MHPS1422	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502	2	樋口匡貴	
MHPS6240	秋	心理測定学特殊研究Ⅱ	PSY724	2	廣瀬英子	心理測定学特殊研究Ⅰを履修済であること
MHPS6260	秋	認知心理学特殊研究Ⅱ	PSY726	2	道又爾	
MHPS6300	秋	生理心理学特殊研究Ⅱ	PSY730	2	岡田隆	
MHPS6320	秋	発達心理学特殊研究Ⅱ	PSY732	2	荻野美佐子	
MHPS6340	秋	社会心理学特殊研究Ⅱ	PSY734	2	樋口匡貴	
MHPS6350	秋	老年心理学特殊研究	PSY735	2	黒川由紀子	
MHPS6380	秋	人間関係特論	PSY738	2	久田満	
MHPS7440	秋	心理学基礎実習Ⅱ	PSY752	1	道又爾 荻野美佐子 廣瀬英子	複数同時担当
MHPS7460	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	岡田隆	
MHPS7480	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	毛利伊吹	
MHPS7520	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	荻野美佐子	
MHPS7540	休講	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	藤山直樹	
MHPS7560	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	道又爾	
MHPS7580	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	黒川由紀子	
MHPS7600	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	久田満	
MHPS7620	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	横山恭子	
MHPS7640	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	廣瀬英子	
MHPS7660	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	吉村聡	
MHPS7710	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	樋口匡貴	
MHPS9820	秋	修士論文	PSY899	0	心理学専攻教員	M2対象

## 5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
MHPS1611	春	研究指導	PSY888	岡田 隆	
MHPS1621	春	研究指導	PSY888	毛利 伊吹	
MHPS1631	春	研究指導	PSY888	荻野 美佐子	
MHPS1641	休講	研究指導	PSY888	藤山 直樹	
MHPS1651	春	研究指導	PSY888	道又 爾	
MHPS1661	春	研究指導	PSY888	黒川 由紀子	
MHPS1671	春	研究指導	PSY888	久田 満	
MHPS1681	春	研究指導	PSY888	横山 恭子	
MHPS1691	春	研究指導	PSY888	廣瀬 英子	
MHPS1701	春	研究指導	PSY888	吉村 聡	
MHPS1721	春	研究指導	PSY888	樋口 匡貴	
MHPS1612	秋	研究指導	PSY888	岡田 隆	
MHPS1622	秋	研究指導	PSY888	毛利 伊吹	
MHPS1632	秋	研究指導	PSY888	荻野 美佐子	
MHPS1642	休講	研究指導	PSY888	藤山 直樹	
MHPS1652	秋	研究指導	PSY888	道又 爾	
MHPS1662	秋	研究指導	PSY888	黒川 由紀子	
MHPS1672	秋	研究指導	PSY888	久田 満	
MHPS1682	秋	研究指導	PSY888	横山 恭子	
MHPS1692	秋	研究指導	PSY888	廣瀬 英子	
MHPS1702	秋	研究指導	PSY888	吉村 聡	
MHPS1722	秋	研究指導	PSY888	樋口 匡貴	

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
授業科目			
・必修科目	24		
└論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└臨床心理学特論Ⅰ	2		
└臨床心理学特論Ⅱ	2		
└臨床心理面接特論Ⅰ	2		
└臨床心理面接特論Ⅱ	2		
└臨床心理査定演習Ⅰ	2		
└臨床心理査定演習Ⅱ	2		
└臨床心理基礎実習Ⅰ	1		
└臨床心理基礎実習Ⅱ	1		
└臨床心理実習Ⅰ	1		
└臨床心理実習Ⅱ	1		
・選択必修科目	10		
└A群	2		
└B群	2		
└C群	2		
└D群	2		
└E群	2		
・選択科目			
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし、国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし，毎学期，履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

- 1) 問題設定：問題意識が明確で，課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解：先行研究を適切に検討，吟味していること。
- 3) 研究方法・分析方法：研究目的に対し，研究のデザイン・研究方法・分析方法が適切であること。
- 4) 論文構成：論文構成が的確で，論理展開に整合性，一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ：当該分野，領域における社会的・学術的な意義が認められること。
- 6) 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し，研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会，大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
- 7) 形式面：以下の形式面が整っていること。
  - 1) 章・節の構成が適切であり，目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
  - 2) 文章が明快で，論旨が明確に理解可能であること。
  - 3) 引用が適切で，引用文献表がきちんと整えられていること。
  - 4) 論文，引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ（前期）	2		
論文演習Ⅱ（前期）	2		
臨床心理学特論Ⅰ	2		
臨床心理学特論Ⅱ	2		
臨床心理面接特論Ⅰ	2		
臨床心理面接特論Ⅱ	2		
臨床心理査定演習Ⅰ	2		
臨床心理査定演習Ⅱ	2		
臨床心理基礎実習Ⅰ	1		
臨床心理基礎実習Ⅱ	1		
臨床心理実習Ⅰ	1		
臨床心理実習Ⅱ	1		
< A群 >			
心理学研究法演習		2	
臨床心理学研究法演習		2	
< B群 >			
認知心理学特殊研究Ⅰ		2	
認知心理学特殊研究Ⅱ		2	
発達心理学特殊研究Ⅰ		2	
発達心理学特殊研究Ⅱ		2	
心理測定学特殊研究Ⅰ		2	
心理測定学特殊研究Ⅱ		2	
< C群 >			
社会心理学特殊研究Ⅰ		2	
社会心理学特殊研究Ⅱ		2	
コミュニティ心理学特殊研究		2	
人間関係特論		2	
(他) 精神保健福祉研究 ※注2		2	

※注1：言語学専攻開講科目。

※注2：社会福祉学専攻開講科目。

科目名 ※（他）：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
< D群 >			
精神医学特殊研究		2	
生理心理学特殊研究Ⅰ		2	
生理心理学特殊研究Ⅱ		2	
老年心理学特殊研究		2	
(他) 失語・高次脳機能障害学特論A※1		2	
(他) 失語・高次脳機能障害学特論B※1		2	
(他) 言語障害研究特殊講義F(学習障害)※1		2	
< E群 >			
臨床心理学特殊研究		2	
認知行動療法特殊研究		2	
精神分析特殊研究		2	
グループ・アプローチ特論		2	
臨床人格心理学特殊研究		2	
< 選択科目 >			
心理学各論特殊研究			2
心理統計法特論			2
教育臨床特論			2
心理学基礎実習Ⅰ			1
心理学基礎実習Ⅱ			1
心理学特殊実習Ⅰ			1
心理学特殊実習Ⅱ			1
(他) 臨床医学特論D(神経系の基礎と病態・内科学)※1			2
(他) 臨床医学特論E(発達障害医学・脳性麻痺)※1			2
(他) 言語聴覚病理学特論(医学概論・解剖学・生理学・病理学)※1			2
(他) 児童福祉学 ※注2			2
(他) コミュニティオーガニゼーション研究 ※注2			2

### 3. 履修上の注意

下記に従って合計 34 単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。

○ 全ての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。

1) 必修 24 単位：

論文演習Ⅰ（前期）及び論文演習Ⅱ（前期）2年間履修（8単位）

2) 「研究指導（必修）」を在籍中は毎学期必ず履修すること。

3) 選択必修科目 10 単位：A～E の各群からそれぞれ 2 単位以上ずつ履修する。

4) 「心理学特殊実習Ⅰ」及び「心理学特殊実習Ⅱ」を履修しようとする者は、学年初めに専攻主任に届出し、承認を得た後に履修することができる。

5) 「心理学基礎実習Ⅰ」「心理学基礎実習Ⅱ」を履修しようとする者は、あらかじめ指導教員と相談すること。

6) 学年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明に十分留意すること。

7) 不明な点等は指導教員と相談の上、履修を行うこと。

8) 前期課程在籍者で、やむをえず 9 月修了を希望する者は、修了予定年度の前年度末までに理由を説明する願い書（書式は自由）を専攻主任に提出し、専攻会議の承認を受けること。特に臨床心理学コースの場合は臨床実習等において実務上の問題を引き起こす可能性があるため、事前に相談室長の了解を得ておくこと。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MHPS1311	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	岡田 隆	
MHPS1321	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	毛利 伊吹	
MHPS1331	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	荻野 美佐子	
MHPS1341	休講	論文演習 I (前期)	PSY501	2	藤山 直樹	
MHPS1351	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	道又 爾	
MHPS1361	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	黒川 由紀子	
MHPS1371	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	久田 満	
MHPS1381	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	横山 恭子	
MHPS1391	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	廣瀬 英子	
MHPS1401	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	吉村 聡	
MHPS1421	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	樋口 匡貴	
MHPS1810	春	臨床心理学特論 I	PSY511	2	久田 満	
MHPS1820	春	臨床心理学特論 II	PSY512	2	黒川 由紀子	
MHPS1830	春	臨床心理面接特論 I	PSY513	2	毛利 伊吹	
MHPS1840	春	臨床心理面接特論 II	PSY514	2	横山 恭子	
MHPS1850	春	臨床心理査定演習 I	PSY515	2	吉村 聡 横山 恭子	輪講
MHPS1870	春	臨床心理基礎実習 I	PSY517	1	毛利 伊吹 黒川 由紀子 *中嶋 義文	複数同時担当
MHPS2770	春	臨床心理実習 I	PSY519	1	横山 恭子 藤山 直樹	複数同時担当
MHPS6230	春	心理測定学特殊研究 I	PSY723	2	廣瀬 英子	
MHPS6250	春	認知心理学特殊研究 I	PSY725	2	道又 爾	
MHPS6270	休講	精神医学特殊研究	PSY727	2	藤山 直樹	
MHPS6290	春	生理心理学特殊研究 I	PSY729	2	岡田 隆	
MHPS6310	春	発達心理学特殊研究 I	PSY731	2	荻野 美佐子	
MHPS6330	春	社会心理学特殊研究 I	PSY733	2	樋口 匡貴	
MHPS6360	春	コミュニティ心理学特殊研究	PSY736	2	久田 満	
MHPS7390	春	心理学研究法演習	PSY739	2	荻野 美佐子 廣瀬 英子	輪講
MHPS7400	春	心理学各論特殊研究	PSY740	2	*池田 暁史	春学期集中
MHPS7410	春	心理統計法特論	PSY741	2	*萩生田 伸子	
MHPS7420	春	グループ・アプローチ特論	PSY742	2	*高良 聖	
MHPS7430	春	心理学基礎実習 I	PSY751	1	横山 恭子 樋口 匡貴 岡田 隆	複数同時担当
MHPS7450	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	岡田 隆	
MHPS7470	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	毛利 伊吹	
MHPS7510	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	荻野 美佐子	
MHPS7530	休講	心理学特殊実習 I	PSY753	1	藤山 直樹	
MHPS7550	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	道又 爾	
MHPS7570	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	黒川 由紀子	
MHPS7590	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	久田 満	
MHPS7610	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	横山 恭子	
MHPS7630	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	廣瀬 英子	
MHPS7650	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	吉村 聡	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MHPS7700	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY753	1	樋口 匡 貴	
MHPS7810	春	教育臨床特論	PSY783	2	*伊東 孝 郎	
MHPS9830	春	修士論文	PSY899	0	心理学専攻教員	9月修了者対象
MHPS1312	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502	2	岡田 隆	
MHPS1322	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502	2	毛利 伊吹	
MHPS1332	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502	2	荻野 美佐子	
MHPS1342	休講	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502	2	藤山 直樹	
MHPS1352	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502	2	道又 爾	
MHPS1362	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502	2	黒川 由紀子	
MHPS1372	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502	2	久田 満	
MHPS1382	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502	2	横山 恭子	
MHPS1392	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502	2	廣瀬 英子	
MHPS1402	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502	2	吉村 聡	
MHPS1422	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502	2	樋口 匡 貴	
MHPS1860	秋	臨床心理査定演習Ⅱ	PSY516	2	吉村 聡 横山 恭子	輪講
MHPS1880	秋	臨床心理基礎実習Ⅱ	PSY518	1	毛利 伊吹 黒川 由紀子 *中嶋 義文	複数同時担当
MHPS2780	秋	臨床心理実習Ⅱ	PSY520	1	横山 恭子 藤山 直樹	複数同時担当
MHPS6240	秋	心理測定学特殊研究Ⅱ	PSY724	2	廣瀬 英子	心理測定学特殊研究Ⅰを履修済であること
MHPS6260	秋	認知心理学特殊研究Ⅱ	PSY726	2	道又 爾	
MHPS6280	秋	臨床心理学特殊研究	PSY728	2	横山 恭子	
MHPS6300	秋	生理心理学特殊研究Ⅱ	PSY730	2	岡田 隆	
MHPS6320	秋	発達心理学特殊研究Ⅱ	PSY732	2	荻野 美佐子	
MHPS6340	秋	社会心理学特殊研究Ⅱ	PSY734	2	樋口 匡 貴	
MHPS6350	秋	老年心理学特殊研究	PSY735	2	黒川 由紀子	
MHPS6370	秋	臨床人格心理学特殊研究	PSY737	2	吉村 聡	
MHPS6380	秋	人間関係特論	PSY738	2	久田 満	
MHPS6790	秋	臨床心理学研究法演習	PSY779	2	吉村 聡	
MHPS6810	秋	認知行動療法特殊研究	PSY781	2	毛利 伊吹	
MHPS7440	秋	心理学基礎実習Ⅱ	PSY752	1	道又 爾 荻野 美佐子 廣瀬 英子	複数同時担当
MHPS7580	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	黒川 由紀子	
MHPS7460	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	岡田 隆	
MHPS7480	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	毛利 伊吹	
MHPS7520	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	荻野 美佐子	
MHPS7540	休講	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	藤山 直樹	
MHPS7560	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	道又 爾	
MHPS7600	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	久田 満	
MHPS7620	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	横山 恭子	
MHPS7640	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	廣瀬 英子	
MHPS7660	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	吉村 聡	
MHPS7710	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	樋口 匡 貴	
MHPS7820	休講	精神分析特殊研究	PSY782	2	藤山 直樹	
MHPS9820	秋	修士論文	PSY899	0	心理学専攻教員	

## 5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
MHPS1611	春	研究指導	PSY888	岡田 隆	
MHPS1621	春	研究指導	PSY888	毛利 伊吹	
MHPS1631	春	研究指導	PSY888	荻野 美佐子	
MHPS1641	休講	研究指導	PSY888	藤山 直樹	
MHPS1651	春	研究指導	PSY888	道又 爾	
MHPS1661	春	研究指導	PSY888	黒川 由紀子	
MHPS1671	春	研究指導	PSY888	久田 満	
MHPS1681	春	研究指導	PSY888	横山 恭子	
MHPS1691	春	研究指導	PSY888	廣瀬 英子	
MHPS1701	春	研究指導	PSY888	吉村 聡	
MHPS1721	春	研究指導	PSY888	樋口 匡貴	
MHPS1612	秋	研究指導	PSY888	岡田 隆	
MHPS1622	秋	研究指導	PSY888	毛利 伊吹	
MHPS1632	秋	研究指導	PSY888	荻野 美佐子	
MHPS1642	休講	研究指導	PSY888	藤山 直樹	
MHPS1652	秋	研究指導	PSY888	道又 爾	
MHPS1662	秋	研究指導	PSY888	黒川 由紀子	
MHPS1672	秋	研究指導	PSY888	久田 満	
MHPS1682	秋	研究指導	PSY888	横山 恭子	
MHPS1692	秋	研究指導	PSY888	廣瀬 英子	
MHPS1702	秋	研究指導	PSY888	吉村 聡	
MHPS1722	秋	研究指導	PSY888	樋口 匡貴	

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【11年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	12		
授業科目			
・必修科目	12		
└論文演習Ⅰ(後期)	6	3	3年間(3回)履修すること
└論文演習Ⅱ(後期)	6	3	3年間(3回)履修すること
・選択科目			
研究指導(必修)			単位なし, 毎学期, 履修すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【10年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	12		
・必修科目	12		
└論文指導演習Ⅰ(後期)	6	3	3年間(3回)履修すること
└論文指導演習Ⅱ(後期)	6	3	3年間(3回)履修すること
・選択科目			
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【博士論文審査基準】

自立した研究者として研究を継続遂行し, 当該分野・領域の研究において, 将来にわたり独自の貢献を行うことができる能力を有することが認められること。

- 1) 問題設定: 問題意識が明確で, 課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解: 先行研究を適切に検討, 吟味していること。
- 3) 研究方法・分析方法: 研究目的に対し, 研究のデザイン・研究方法・分析方法が適切であること。
- 4) 論文構成: 論文構成が的確で, 論理展開に整合性, 一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ: 当該分野, 領域における社会的・学術的な意義が認められること。
- 6) 独創性: 全体を通して学術的独創性が認められること。
- 7) 倫理的配慮: 研究方法の適切性に留意し, 研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会, 大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
- 8) 形式面: 以下の形式面が整っていること。
  - 1) 章・節の構成が適切であり, 目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
  - 2) 文章が明快で, 論旨が明確に理解可能であること。
  - 3) 引用が適切で, 引用文献表がきちんと整えられていること。
  - 4) 論文, 引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

なお, 博士論文に関しては, 心理学専攻博士論文内規に基づき, 専攻における構想発表会を経たものであること(心理学専攻内規を参照)。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
論文指導演習Ⅰ（後期）※注1	2		
論文指導演習Ⅱ（後期）※注1	2		
論文演習Ⅰ（後期）※注2	2		
論文演習Ⅱ（後期）※注2	2		

※注1：10年次生以前対象

※注2：11年次生以降対象

## 3. 履修上の注意

下記に従って12単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに博士論文を作成・提出することが必要である。

必修12単位：11年次生以降は論文演習Ⅰ（後期）及び論文演習Ⅱ（後期）を、10年次生以前は論文指導演習Ⅰ（後期）及び論文指導演習Ⅱ（後期）を3年間履修する。

○ 全ての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。

- 1) 11年次生以降は研究指導（必修）を在籍中は毎学期必ず履修すること。
- 2) 博士前期課程開講の「心理学特殊実習Ⅰ」及び「心理学特殊実習Ⅱ」を履修しようとする者は、学年初めに専攻主任に届出し、承認を得た後に履修することができる。
- 3) 博士前期課程開講の「心理学基礎実習Ⅰ」「心理学基礎実習Ⅱ」を履修しようとする者は、あらかじめ指導教員と相談すること。
- 4) 博士後期課程にあつて博士論文未提出に終わる場合には、3年次の大学院（満期）修了時に、後期課程における研究報告書を専攻に提出すること。報告書は、心理学専攻修了者研究報告集の書式に従い（4000字程度、報告書2ページ分）、在籍中の研究成果（学会発表の内容等）を具体的に盛り込むこと。なお、学会誌発表あるいはそれに準ずる論文がある場合は、業績一覧（2000字程度、報告書1ページ分）をもって研究報告書に代えることができる。業績一覧の書式、内容については、専攻に問い合わせること。
- 5) 年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明に十分留意すること。
- 6) 不明な点は指導教員と相談の上、履修を行うこと。

〈カリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について〉

新旧科目の対応と履修単位の読み替えは、以下の表により、対応する科目は同一科目とみなす。

2006年度以前の開講科目	2007年度以降の開講科目
論文指導演習（後期）(4)	論文指導演習Ⅰ（後期）(2) 論文指導演習Ⅱ（後期）(2)
心理学特殊実習（2）	心理学特殊実習Ⅰ（1） 心理学特殊実習Ⅱ（1）

（ ）内は単位数

〔がん医療心理学関連科目〕

2013年度より開設された4大学院の連携授業（「がん医療心理学演習Ⅰ」、「がん医療心理学特殊講義Ⅰ」など）について、8単位以上を取得したときに、修了認定証が与えられる。なお、履修に際しては、講義、演習、実習、ワークショップの異なる種別の科目を履修することが望ましい。詳細は専攻主任に確認すること。また、これらの科目の履修に当たっては、あらかじめ専攻主任に相談すること。

## 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
DHPS3010	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	岡田 隆	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3030	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	毛利 伊吹	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3070	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	荻野 美佐子	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3090	休講	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	藤山 直樹	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3110	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	道又 爾	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3130	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	黒川 由紀子	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3150	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	久田 満	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3170	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	横山 恭子	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3190	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	廣瀬 英子	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3210	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	吉村 聡	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3250	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	樋口 匡貴	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3311	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	岡田 隆	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3321	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	毛利 伊吹	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3331	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	荻野 美佐子	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3341	休講	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	藤山 直樹	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3351	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	道又 爾	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3361	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	黒川 由紀子	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3371	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	久田 満	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3381	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	横山 恭子	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3391	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	廣瀬 英子	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3401	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	吉村 聡	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3421	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	樋口 匡貴	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3510	春	がん医療心理学演習Ⅰ	PSY921	1	心理学専攻教員 他	4大学院の連携授業, 春学期集中, 輪講
DHPS3530	春	がん医療心理学特殊講義Ⅰ	PSY925	1	心理学専攻教員 他	4大学院の連携授業
DHPS3520	春	がんチーム医療演習Ⅰ	PSY923	1	心理学専攻教員 他	4大学院の連携授業
DHPS3540	春	がん医療心理学実習Ⅰ	PSY927	1	心理学専攻教員 他	4大学院の連携授業
DHPS3020	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	岡田 隆	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3040	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	毛利 伊吹	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3080	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	荻野 美佐子	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3100	休講	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	藤山 直樹	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3120	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	道又 爾	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3140	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	黒川 由紀子	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3160	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	久田 満	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3180	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	横山 恭子	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3200	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	廣瀬 英子	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3220	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	吉村 聡	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3260	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	樋口 匡貴	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3312	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	岡田 隆	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3322	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	毛利 伊吹	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3332	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	荻野 美佐子	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3342	休講	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	藤山 直樹	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3352	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	道又 爾	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3362	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	黒川 由紀子	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3372	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	久田 満	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3382	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	横山 恭子	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3392	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	廣瀬 英子	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	備考
DHPS3402	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY912	2	吉村 聡	11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3422	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY912	2	樋口 匡貴	11年次生以降対象,「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3511	秋	がん医療心理学演習Ⅱ	PSY922	1	心理学専攻教員 他	4大学院の連携授業, 秋学期集中, 輪講
DHPS3531	秋	がん医療心理学特殊講義Ⅱ	PSY926	1	心理学専攻教員 他	4大学院の連携授業
DHPS3521	秋	がんチーム医療演習Ⅱ	PSY924	1	心理学専攻教員 他	4大学院の連携授業
DHPS3541	秋	がん医療心理学実習Ⅱ	PSY928	1	心理学専攻教員 他	4大学院の連携授業

## 5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
DHPS3611	春	研究指導	PSY988	岡田 隆	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3621	春	研究指導	PSY988	毛利 伊吹	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3631	春	研究指導	PSY988	荻野 美佐子	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3641	休講	研究指導	PSY988	藤山 直樹	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3651	春	研究指導	PSY988	道又 爾	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3661	春	研究指導	PSY988	黒川 由紀子	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3671	春	研究指導	PSY988	久田 満	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3681	春	研究指導	PSY988	横山 恭子	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3691	春	研究指導	PSY988	廣瀬 英子	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3701	春	研究指導	PSY988	吉村 聡	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3721	春	研究指導	PSY988	樋口 匡貴	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3612	秋	研究指導	PSY988	岡田 隆	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3622	秋	研究指導	PSY988	毛利 伊吹	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3632	秋	研究指導	PSY988	荻野 美佐子	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3642	休講	研究指導	PSY988	藤山 直樹	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3652	秋	研究指導	PSY988	道又 爾	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3662	秋	研究指導	PSY988	黒川 由紀子	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3672	秋	研究指導	PSY988	久田 満	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3682	秋	研究指導	PSY988	横山 恭子	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3692	秋	研究指導	PSY988	廣瀬 英子	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3702	秋	研究指導	PSY988	吉村 聡	指導科目(11年次生以降対象)
DHPS3722	秋	研究指導	PSY988	樋口 匡貴	指導科目(11年次生以降対象)

## 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	8		
└社会学理論	2		
└社会学方法論	2		
└論文演習Ⅰ	2		
└論文演習Ⅱ	2		
▶選択科目	22		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）			単位なし, 毎学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること) 修士論文の審査基準は別に定める

### 【修士論文審査基準】

- 1) 明確な問題意識により課題設定がなされていること。
- 2) 論文全体が的確に構成され, 統合的で一貫した論理展開がなされていること。
- 3) 研究対象分野における既存の研究成果が適切に検討・理解されていること。
- 4) 当該分野に関する知識の向上に対して何らかの貢献が行われていること。
- 5) 文章表現が明快であること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
社会学理論	2		
社会学方法論	2		
社会階層論特講 I			2
社会階層論特講 II			2
地域社会論特講 I			2
地域社会論特講 II			2
社会運動論特講			2
歴史社会学特講			2
宗教社会学特講 I			2
宗教社会学特講 II			2
経済と組織の社会学 I			2
経済と組織の社会学 II			2
ライフスタイルと社会政策 I			2
ライフスタイルと社会政策 II			2
ナショナリズムとグローバル化 I			2
ナショナリズムとグローバル化 II			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
ライフコース研究 I			2
ライフコース研究 II			2
現代社会理論特講			2
社会学研究法 I			2
社会学研究法 II			2
(他) 比較社会学研究1 (基礎) ※注1			2
(他) 比較社会学研究2 (応用) ※注1			2
(他) グローバル市民社会論研究1 (基礎) ※注1			2
(他) グローバル市民社会論研究2 (応用) ※注1			2
(他) 国際人口移動研究1 (基礎) ※注1			2
(他) 国際人口移動研究2 (応用) ※注1			2
(他) 国際社会学研究1 (基礎) ※注1			2
(他) 国際社会学研究2 (応用) ※注1			2
論文演習 I (M2)	2		
論文演習 II (M2)	2		

※注1：国際関係論専攻開講科目。

## 3. 履修上の注意

本専攻では前期課程2年間において、30単位以上（「論文演習Ⅰ・Ⅱ」4単位を含む）を履修し、修士論文を提出することを修了の必須要件としている。

後期課程に進むためには、所定の選抜試験を受け、これに合格しなければならない。なお、「論文演習Ⅰ・Ⅱ」は、原則として指導教員による科目のみを履修することとし、同一学期に複数の科目を履修することはできない。

「研究指導（必修）」を毎学期履修すること。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※*:非常勤教員	備考
MHSC1110	春	社会学理論	SOC511	2	田 渕 六 郎	
MHSC2431	春	論文演習 I	SOC601	2	芳 賀 学	M2対象
MHSC2461	春	論文演習 I	SOC601	2	田 渕 六 郎	M2対象
MHSC2441	春	論文演習 I	SOC601	2	藤 村 正 之	M2対象
MHSC2451	春	論文演習 I	SOC601	2	吉 野 耕 作	M2対象
MHSC2471	春	論文演習 I	SOC601	2	竹ノ下 弘 久	M2対象
MHSC2481	春	論文演習 I	SOC601	2	植 田 今日子	M2対象
MHSC7130	春	宗教社会学特講 I	SOC713	2	芳 賀 学	
MHSC7170	春	ライフスタイルと社会政策 I	SOC717	2	藤 村 正 之	
MHSC7190	春	ナショナリズムとグローバル化 I	SOC719	2	吉 野 耕 作	
MHSC7210	春	ライフコース研究 I	SOC721	2	田 渕 六 郎	
MHSC7150	春	経済と組織の社会学 I	SOC715	2	渡 辺 深	
MHSC7030	春	社会階層論特講 I	SOC703	2	竹ノ下 弘 久	授業はすべて英語で行う
MHSC7290	春	歴史社会学特講	SOC729	2	猿 谷 弘 江	
MHSC7250	春	現代社会理論特講	SOC725	2	*園 部 雅 久	
MHSC1120	秋	社会学方法論	SOC512	2	竹ノ下 弘 久	
MHSC2432	秋	論文演習 II	SOC602	2	芳 賀 学	M2対象
MHSC2462	秋	論文演習 II	SOC602	2	田 渕 六 郎	M2対象
MHSC2442	秋	論文演習 II	SOC602	2	藤 村 正 之	M2対象
MHSC2452	秋	論文演習 II	SOC602	2	吉 野 耕 作	M2対象
MHSC2472	秋	論文演習 II	SOC602	2	竹ノ下 弘 久	M2対象
MHSC2482	秋	論文演習 II	SOC602	2	植 田 今日子	M2対象
MHSC7140	秋	宗教社会学特講 II	SOC714	2	芳 賀 学	
MHSC7180	秋	ライフスタイルと社会政策 II	SOC718	2	藤 村 正 之	
MHSC7040	秋	社会階層論特講 II	SOC704	2	竹ノ下 弘 久	授業はすべて英語で行う
MHSC7220	秋	ライフコース研究 II	SOC722	2	田 渕 六 郎	
MHSC7160	秋	経済と組織の社会学 II	SOC716	2	渡 辺 深	
MHSC7200	秋	ナショナリズムとグローバル化 II	SOC720	2	吉 野 耕 作	
MHSC7300	秋	地域社会論特講 I	SOC705	2	植 田 今日子	
MHSC7310	秋	地域社会論特講 II	SOC706	2	植 田 今日子	
MHSC7280	秋	社会運動論特講	SOC728	2	猿 谷 弘 江	
MHSC7260	秋	社会学研究法 I	SOC726	2	*杉 野 勇	隔年開講
MHSC9360	秋	修士論文	SOC899	0	社会学専攻各指導教員	M2対象
MHSC9361	春	修士論文	SOC899	0	社会学専攻各指導教員	M2対象, 9月修了者用
MHSC7270	休講	社会学研究法 II	SOC727	2	*苫米地 伸	隔年開講

## 5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
MHSC1281	春	研究指導	SOC888	竹ノ下 弘 久	指導科目
MHSC1221	春	研究指導	SOC888	植 田 今日子	指導科目
MHSC1231	春	研究指導	SOC888	渡 辺 深	指導科目
MHSC1241	春	研究指導	SOC888	芳 賀 学	指導科目
MHSC1251	春	研究指導	SOC888	藤 村 正 之	指導科目
MHSC1261	春	研究指導	SOC888	吉 野 耕 作	指導科目
MHSC1271	春	研究指導	SOC888	田 渕 六 郎	指導科目
MHSC1282	秋	研究指導	SOC888	竹ノ下 弘 久	指導科目
MHSC1222	秋	研究指導	SOC888	植 田 今日子	指導科目
MHSC1232	秋	研究指導	SOC888	渡 辺 深	指導科目
MHSC1242	秋	研究指導	SOC888	芳 賀 学	指導科目
MHSC1252	秋	研究指導	SOC888	藤 村 正 之	指導科目
MHSC1262	秋	研究指導	SOC888	吉 野 耕 作	指導科目
MHSC1272	秋	研究指導	SOC888	田 渕 六 郎	指導科目

## 社会学専攻 博士後期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【11年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
授業科目			
↳ 選択科目			
研究指導（必修）			単位なし, 毎学期, 履修すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること 博士論文の審査基準は別に定める

#### 【10年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	24		
↳ 必修科目	24		
↳ 後期修了論文演習Ⅰ・Ⅱ	24	合計6	6セメスター分履修すること
↳ 選択科目			
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること 博士論文の審査基準は別に定める

#### 【博士論文審査基準】

- 1) 明確な問題意識により課題設定がなされていること。
- 2) 論文全体が的確に構成され, 統合的で一貫した論理展開がなされていること。
- 3) 研究対象分野における既存の研究成果が網羅的に検討され, 十分に理解されていること。
- 4) 当該分野に関する知識に対して独自の貢献が行われていること。具体的には, 新たな事実の発見や自立した批判的思考を通して独創性が示されていること。
- 5) 文章表現が明快であること。

### 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
後期修了論文演習Ⅰ	4		
後期修了論文演習Ⅱ	4		

※後期修了論文演習Ⅰ・Ⅱについては, 合計24単位を履修する。(10年次生以前のみ)

※社会学専攻博士前期課程の選択科目も履修することが出来る。

### 3. 履修上の注意

#### 【11年次生以降】

後期課程を修了するためには3年以上在学し、研究指導を毎学期履修すること。なお、研究指導は、原則として指導教員の科目のみを履修することとし、同一学期に複数の研究指導を履修することはできない。

#### 【10年次生以前】

後期課程を修了するためには3年以上在学し、「後期修了論文演習Ⅰ・Ⅱ」を合計24単位履修すること。なお、「後期修了論文演習Ⅰ・Ⅱ」は、原則として指導教員による科目のみを履修することとし、同一学期に複数の科目を履修することはできない。

### 4. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
DHSC3281	春	研究指導	SOC988	竹ノ下 弘 久	指導科目(11年次生以降対象)
DHSC3221	春	研究指導	SOC988	植 田 今日子	指導科目(11年次生以降対象)
DHSC3231	春	研究指導	SOC988	渡 辺 深	指導科目(11年次生以降対象)
DHSC3241	春	研究指導	SOC988	芳 賀 学	指導科目(11年次生以降対象)
DHSC3251	春	研究指導	SOC988	藤 村 正 之	指導科目(11年次生以降対象)
DHSC3261	春	研究指導	SOC988	吉 野 耕 作	指導科目(11年次生以降対象)
DHSC3271	春	研究指導	SOC988	田 渕 六 郎	指導科目(11年次生以降対象)
DHSC3282	秋	研究指導	SOC988	竹ノ下 弘 久	指導科目(11年次生以降対象)
DHSC3222	秋	研究指導	SOC988	植 田 今日子	指導科目(11年次生以降対象)
DHSC3232	秋	研究指導	SOC988	渡 辺 深	指導科目(11年次生以降対象)
DHSC3242	秋	研究指導	SOC988	芳 賀 学	指導科目(11年次生以降対象)
DHSC3252	秋	研究指導	SOC988	藤 村 正 之	指導科目(11年次生以降対象)
DHSC3262	秋	研究指導	SOC988	吉 野 耕 作	指導科目(11年次生以降対象)
DHSC3272	秋	研究指導	SOC988	田 渕 六 郎	指導科目(11年次生以降対象)

## 社会福祉学専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

#### 【13年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└社会福祉研究法基礎演習	4		
・選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
指導科目			
研究指導（必修）			単位なし，每学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

#### 【11・12年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	2		
└社会福祉研究法基礎演習	2		
・選択科目	28		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
指導科目			
研究指導（必修）			単位なし，每学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

#### 【修士論文審査基準】

- 1) 研究テーマの設定が適切であり，社会福祉の理念・政策・実践との関連付けが明確であること。
- 2) 先行研究を的確に踏まえ，レビューが十分になされていること。
- 3) 研究目的に照らして研究方法が妥当であり，明確な結果が導き出されていること。
- 4) 論文構成が明快であり，論理の展開に一貫性があること。
- 5) 考察および結論に新たな知見が含まれていること。
- 6) 研究倫理上の問題がないこと。
- 7) 日本社会福祉学会誌執筆要領(注および文献の表示等)ないし社会政策学会誌執筆要領等に適合しており，学術論文としての体裁が整っていること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
社会福祉研究法基礎演習 ※注	4		
福祉政策運営管理研究法基礎演習			2
福祉臨床研究法基礎演習			2
社会福祉政策学			2
社会福祉運営計画論 I			2
社会福祉経営学			2
権利擁護関係法制論			2
リスクマネジメント事例研究			2
生活構造論研究			2
障害者福祉学			2
児童福祉学			2
Academic Presentation Skills for Graduate Students in Social Work			1
Academic Writing Skills for Graduate Students in Social Work			1

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
精神保健福祉研究			2
精神科ソーシャルワーク研究			2
コミュニティオーガニゼーション研究			2
ソーシャルワーク実践理論研究			2
司法福祉研究			2
医療ソーシャルワーク研究			2
ソーシャルケースワーク研究			2
福祉サービス経営管理論			2
社会福祉フィールドワーク A			0
社会福祉フィールドワーク B			2
援助事例分析 A			0
援助事例分析 B			2
地域事例分析 A			0
地域事例分析 B			2

※注 12年次生以前は2単位

## 3. 履修上の注意

- すべての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。
- 前期課程2年間において30単位以上を修得するとともに、「研究指導」（単位なし）を毎学期履修し、修士論文を提出すること。
- 1年間に複数教員の社会福祉フィールドワークを受講することはできない。
- 援助事例分析と地域事例分析は、合わせて1年間2教員まで履修することができる。また1年間に、援助事例分析の中の2教員までの科目、地域事例分析の中の2教員までの科目を履修することができる。
- 「社会福祉フィールドワーク」、「援助事例分析」、「地域事例分析」は、原則として春学期にA、秋学期にBを登録することとする。ただし、留学等やむを得ない事情がある場合は、事前に専攻主任に相談すること。また、各科目はA、Bとも同一の教員が開講しているものを登録しなければならない。
- 「社会福祉フィールドワークA」、「援助事例分析A」、「地域事例分析A」の評価には、P（合格）、X（不合格）を使用する。

### 【カリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について】

新旧科目の対応と履修単位の読み替えは、以下の表により、対応する科目は同一科目とみなす。

2014年度以前の開講科目	2015年度以降の開講科目
社会福祉フィールドワーク（2）	社会福祉フィールドワーク A（0） 社会福祉フィールドワーク B（2）
援助事例分析（2）	援助事例分析 A（0） 援助事例分析 B（2）
地域事例分析（2）	地域事例分析 A（0） 地域事例分析 B（2）

（ ）は単位数

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※*:非常勤教員	備考
MHSV1020	春	社会福祉研究法基礎演習	SSV501	4	コーディネータ 岡 知 史	輪講 M1必修
MHSV7050	春	社会福祉運営計画論 I	SSV641	2	栃本 一三郎	
MHSV7070	春	社会福祉経営学	SSV631	2	藤井 賢一郎	
MHSV7140	春	権利擁護関係法制論	SSV632	2	*佐藤 彰一	
MHSV7150	春	リスクマネジメント事例研究	SSV532	2	*本田 純一	
MHSV7170	春	児童福祉学	SSV515	2	*新保 幸男	
MHSV7180	春	精神保健福祉研究	SSV621	2	藤井 達也	隔年開講
MHSV7220	春	ソーシャルワーク実践理論研究	SSV513	2	伊藤 富士江	
MHSV7250	春	ソーシャルケースワーク研究	SSV514	2	高山 恵理子	
MHSV7480	春	ACADEMIC PRESENTATION SKILLS FOR GRADUATE STUDENTS IN SOCIAL WORK	SSV502	1	岡 知 史	授業はすべて英語で行う
MHSV7020	秋	福祉政策運営管理研究法 基礎演習	SSV701	2	コーディネータ 栃本 一三郎	輪講
MHSV7030	秋	福祉臨床研究法基礎演習	SSV702	2	コーディネータ 伊藤 富士江	輪講
MHSV7040	秋	社会福祉政策学	SSV731	2	栃本 一三郎	
MHSV7160	秋	生活構造論研究	SSV633	2	*山田 知子	
MHSV7230	秋	司法福祉研究	SSV622	2	伊藤 富士江	隔年開講
MHSV7240	秋	医療ソーシャルワーク研究	SSV623	2	高山 恵理子	
MHSV7440	秋	福祉サービス経営管理論	SSV741	2	藤井 賢一郎	
MHSV7450	秋	障害者福祉学	SSV531	2	大塚 晃	
MHSV7490	秋	ACADEMIC WRITING SKILLS FOR GRADUATE STUDENTS IN SOCIAL WORK	SSV503	1	岡 知 史	授業はすべて英語で行う
MHSV7270	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV751	0	大塚 晃	
MHSV7280	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV751	0	藤井 達也	
MHSV7290	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV751	0	栃本 一三郎	
MHSV7300	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV751	0	岡 知 史	
MHSV7320	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV751	0	伊藤 富士江	
MHSV7340	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV751	0	高山 恵理子	
MHSV7430	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV751	0	藤井 賢一郎	
MHSV7271	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV752	2	大塚 晃	
MHSV7281	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV752	2	藤井 達也	
MHSV7291	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV752	2	栃本 一三郎	
MHSV7301	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV752	2	岡 知 史	
MHSV7321	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV752	2	伊藤 富士江	
MHSV7341	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV752	2	高山 恵理子	
MHSV7431	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV752	2	藤井 賢一郎	
	春	社会福祉フィールドワーク B	SSV752	2	社会福祉学専攻各指導教員	留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
	秋	社会福祉フィールドワーク A	SSV751	0	社会福祉学専攻各指導教員	留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
MHSV7350	春	援助事例分析 A	SSV753	0	岡 知 史	
MHSV7360	春	援助事例分析 A	SSV753	0	藤井 達也	
MHSV7370	春	援助事例分析 A	SSV753	0	伊藤 富士江	
MHSV7380	春	援助事例分析 A	SSV753	0	高山 恵理子	
MHSV7351	秋	援助事例分析 B	SSV754	2	岡 知 史	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※*:非常勤教員	備考
MHSV7361	秋	援助事例分析 B	SSV754	2	藤井達也	
MHSV7371	秋	援助事例分析 B	SSV754	2	伊藤富士江	
MHSV7381	秋	援助事例分析 B	SSV754	2	高山恵理子	
	春	援助事例分析 B	SSV754	2	社会福祉学専攻各指導教員	留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
	秋	援助事例分析 A	SSV753	0	社会福祉学専攻各指導教員	留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
MHSV7390	春	地域事例分析 A	SSV755	0	大塚晃	
MHSV7410	春	地域事例分析 A	SSV755	0	栃本一三郎	
MHSV7420	春	地域事例分析 A	SSV755	0	藤井賢一郎	
MHSV7391	秋	地域事例分析 B	SSV756	2	大塚晃	
MHSV7411	秋	地域事例分析 B	SSV756	2	栃本一三郎	
MHSV7421	秋	地域事例分析 B	SSV756	2	藤井賢一郎	
	春	地域事例分析 B	SSV756	2	社会福祉学専攻各指導教員	留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
	秋	地域事例分析 A	SSV755	0	社会福祉学専攻各指導教員	留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
MHSV9530	春	修士論文	SSV899	0	社会福祉学専攻 各指導教員	M2対象, 9月修了者用
MHSV9520	秋	修士論文	SSV899	0	社会福祉学専攻 各指導教員	M2対象
MHSV7190	休講	精神科ソーシャルワーク研究	SSV511	2	藤井達也	隔年開講
MHSV7210	休講	コミュニティーオーガニゼーション研究	SSV512	2	岡知史	隔年開講

## 5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
MHSV1610	春	研究指導	SSV888	大塚晃	指導科目
MHSV1620	春	研究指導	SSV888	藤井達也	指導科目
MHSV1630	春	研究指導	SSV888	栃本一三郎	指導科目
MHSV1640	春	研究指導	SSV888	岡知史	指導科目
MHSV1660	春	研究指導	SSV888	伊藤富士江	指導科目
MHSV1680	春	研究指導	SSV888	高山恵理子	指導科目
MHSV1670	春	研究指導	SSV888	藤井賢一郎	指導科目
MHSV1611	秋	研究指導	SSV888	大塚晃	指導科目
MHSV1621	秋	研究指導	SSV888	藤井達也	指導科目
MHSV1631	秋	研究指導	SSV888	栃本一三郎	指導科目
MHSV1641	秋	研究指導	SSV888	岡知史	指導科目
MHSV1661	秋	研究指導	SSV888	伊藤富士江	指導科目
MHSV1681	秋	研究指導	SSV888	高山恵理子	指導科目
MHSV1671	秋	研究指導	SSV888	藤井賢一郎	指導科目

## 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

### 【11年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
授業科目			
・選択科目			
指導科目			
研究指導(必修)			単位なし, 毎学期履修すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

### 【10年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・必修科目			
↳後期論文・レポート指導		3	単位なし, 3年間, 毎学期履修すること
・選択科目			
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

### 【博士論文審査基準】

- 1) 研究テーマの設定が適切であり, 社会福祉の理念・政策・実践との関連付けが明確であること。
- 2) 先行研究を的確に踏まえ, レビューが十分になされていること。
- 3) 研究目的に照らして研究方法が妥当であり, 明確な研究成果が導き出されていること。
- 4) 論文構成が明快であり, 論理の展開に一貫性があること。
- 5) 社会福祉学領域に新たな知見を提示し, 当該領域の理論および実践の進展に寄与するものであること。
- 6) 自立した研究者としての資質と能力を証明するものであること。
- 7) 研究倫理上の問題がないこと。
- 8) 日本社会福祉学会誌執筆要領(注および文献の表示等)ないし社会政策学会誌執筆要領等に適合しており, 学術論文としての体裁が整っていること。

なお, 博士論文の提出については, 社会福祉学専攻「博士学位論文の審査手続きに関する内規」を参照すること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
後期論文・レポート指導 ※注1	0		

※注1 10年次生以前対象

### 3. 履修上の注意

- 1) 11年次生以降は、後期課程を終了するためには3年以上在学し、「研究指導」（単位なし）を毎学期履修すること。
- 2) 10年次生以前の学生は、後期課程を修了するためには3年以上在学し、3年間にわたり毎学期「後期論文・レポート指導」を履修すること。なお、4年目以降も在学継続する場合も、原則として在学中は毎学期「後期論文・レポート指導」を履修する必要があるが、休学等の事情でやむをえず履修が難しい場合には事前に必ず相談すること。
- 3) 選択科目として、前期課程の科目を履修する場合は、p.157～158を参照すること。

### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	備考
DHSV3020	春	後期論文レポート指導	SSV901	0	大塚 晃	10年次生以前対象
DHSV3030	春	後期論文レポート指導	SSV901	0	藤井 達也	10年次生以前対象
DHSV3040	春	後期論文レポート指導	SSV901	0	栃本 一三郎	10年次生以前対象
DHSV3050	春	後期論文レポート指導	SSV901	0	岡 知史	10年次生以前対象
DHSV3070	春	後期論文レポート指導	SSV901	0	伊藤 富士江	10年次生以前対象
DHSV3021	秋	後期論文レポート指導	SSV901	0	大塚 晃	10年次生以前対象
DHSV3031	秋	後期論文レポート指導	SSV901	0	藤井 達也	10年次生以前対象
DHSV3041	秋	後期論文レポート指導	SSV901	0	栃本 一三郎	10年次生以前対象
DHSV3051	秋	後期論文レポート指導	SSV901	0	岡 知史	10年次生以前対象
DHSV3071	秋	後期論文レポート指導	SSV901	0	伊藤 富士江	10年次生以前対象

### 5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
DHSV3110	春	研究指導	SSV988	大塚 晃	11年次生以降対象
DHSV3120	春	研究指導	SSV988	藤井 達也	11年次生以降対象
DHSV3130	春	研究指導	SSV988	栃本 一三郎	11年次生以降対象
DHSV3140	春	研究指導	SSV988	岡 知史	11年次生以降対象
DHSV3150	春	研究指導	SSV988	伊藤 富士江	11年次生以降対象
DHSV3111	秋	研究指導	SSV988	大塚 晃	11年次生以降対象
DHSV3121	秋	研究指導	SSV988	藤井 達也	11年次生以降対象
DHSV3131	秋	研究指導	SSV988	栃本 一三郎	11年次生以降対象
DHSV3141	秋	研究指導	SSV988	岡 知史	11年次生以降対象
DHSV3151	秋	研究指導	SSV988	伊藤 富士江	11年次生以降対象

## 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	8		
└キリスト教と人間論特論	2		
└看護研究方法 I	2		
└看護学特別研究演習 I	2		
└看護学特別研究演習 II	2		
▶選択科目	22		自領域指定科目を8単位以上履修すること
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる (P. xx参照)
研究指導 (必修)			単位なし, 毎学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

### 【修士論文審査基準】

修士論文審査にあたっては, 以下の視点で評価報告を行う。

- 1) 表題の明確性と内容との一貫性
- 2) 研究目的の明確性
- 3) 研究の意義, 着眼点
- 4) 倫理的配慮を含む研究方法の適切性 (目的との関連性)
- 5) データ収集・分析の適切性
- 6) 結果の提示の十分性
- 7) 考察の妥当性 (結果をもとに考察し, 論理の矛盾や飛躍がないか)
- 8) 論旨の一貫性
- 9) 図表の不備・不足ないしは不要の有無
- 10) 文献の偏りおよび不備
- 11) 研究の独自性, 独創性

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;共通科目&gt;</b>			
キリスト教と人間論特論	2		
看護研究方法Ⅰ	2		
看護研究方法Ⅱ			2
倫理学特論			2
ヘルスケア哲学			2
生涯発達学特論			2
国際比較文化論			2
認識・看護理論			2
ケアリング特論			2
実践看護カウンセリング特論			2
発達行動と家族機能特論			2
グリーフケア特講			2
感染管理アセスメント論			2
医療政策特講			2
アドバンスフランス語			2
医療看護フランス語			2
総合看護学理論			2
総合看護学方法論			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;領域別科目&gt;</b>			
小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学特論			2
小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学研究ゼミ			2
小児・ウィメンズ看護学研究ゼミ			2
家族発達看護学研究ゼミ			2
小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学演習			2
地域・国際ヘルス看護学特論			2
地域・国際ヘルス看護学研究ゼミ			2
クリティカル・慢性・がん緩和ケア看護学研究ゼミ			2
メンタルヘルス看護学研究ゼミ			2
国際共生支援看護学研究ゼミ			2
地域ヘルス看護学研究ゼミ			2
クリティカル・慢性・がん緩和ケア看護学演習			2
メンタルヘルス看護学演習			2
国際共生支援看護学演習			2
地域ヘルス看護学演習			2
ヘルスシステム開発・政策特講			2
<b>&lt;研究指導&gt;</b>			
フィールドワーク			2
看護学特別研究演習Ⅰ	2		
看護学特別研究演習Ⅱ	2		

### 3. 履修上の注意

- 1) 看護学専攻の修了要件は30単位以上を履修し、自領域指導教員のもと修士論文を作成・提出することとする。  
なお、学生の研究関心領域に応じて、関連した他領域の教員からも研究指導を適宜得ることができる。
- 2) 学生は本専攻入学時に、主専門領域を小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学領域、クリティカル・慢性・がん緩和ケア看護学領域、メンタルヘルス看護学領域、地域・国際共生支援看護学領域の4つの中から選択する。それぞれの領域に指定科目があるので、それらを履修すること。（下記一覧表参照）

領域 \ 科目	領域別特論	領域別研究ゼミ (基礎)	領域別研究ゼミ (各論)	領域別演習
小児・家族・ウィメンズ共生支援	小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学特論	小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学研究ゼミ	小児・ウィメンズ看護学研究ゼミ もしくは 家族発達看護学研究ゼミ	小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学演習
クリティカル・慢性・がん緩和ケア	地域・国際ヘルス看護学特論	地域・国際ヘルス看護学研究ゼミ	クリティカル・慢性・がん緩和ケア看護学研究ゼミ	クリティカル・慢性・がん緩和ケア看護学演習
メンタルヘルス			メンタルヘルス看護学研究ゼミ	メンタルヘルス看護学演習
地域・国際共生支援			国際共生支援看護学研究ゼミ	国際共生支援看護学演習
			地域ヘルス看護学研究ゼミ	地域ヘルス看護学演習

- 3) 本専攻では、教育・実践力ならびに研究に必要なセンスを磨くための教育方法として、「フィールドワーク」（2年次選択科目）を重視している。内容については、ガイダンスで説明する。
- 4) 各領域別履修モデルについては、ガイダンスで資料を配布し説明を行うが、履修登録前に自領域指導教員と相談すること。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MHNU1010	春	キリスト教と人間論特論	NRS501	2	(他) 瀬本 正之	
MHNU1020	春	看護研究方法 I	NRS502	2	塚本 尚子 *猫田 泰敏 *森岡 崇	輪講
MHNU7110	春	倫理学特論	NRS730	2	(他) 寺田 俊郎 *有江 文栄	輪講
MHNU7120	春	ヘルスケア哲学	NRS731	2	*丹木 博一	
MHNU7130	春	生涯発達学特論	NRS732	2	(他) 荻野美佐子	
MHNU7170	春	実践看護カウンセリング特論	NRS733	2	*鈴木 佳子	集中講義
MHNU7200	春	感染管理アセスメント論	NRS734	2	武井 弥生	授業はすべて英語で行う
MHNU7220	春	アドバンスフランス語	NRS735	2	*武田 志保子	
MHNU6280	春	小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学特論	NRS710	2	草柳 浩子 島田 真理恵	輪講
MHNU6270	春	小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学研究ゼミ	NRS711	2	草柳 浩子 島田 真理恵	輪講
MHNU6110	春	地域・国際ヘルス看護学特論	NRS712	2	西山 悦子 石川 ふみよ 塚本 尚子 武井 弥生	輪講
MHNU6130	春	地域・国際ヘルス看護学研究ゼミ	NRS713	2	西山 悦子 石川 ふみよ 塚本 尚子 武井 弥生	輪講
MHNU2031	春	看護学特別研究演習 I	NRS601	2	石川 ふみよ	M2対象
MHNU2071	春	看護学特別研究演習 I	NRS601	2	小長谷 百絵	M2対象
MHNU2041	春	看護学特別研究演習 I	NRS601	2	島田 真理恵	M2対象
MHNU2021	春	看護学特別研究演習 I	NRS601	2	塚本 尚子	M2対象
MHNU2011	春	看護学特別研究演習 I	NRS601	2	草柳 浩子	M2対象
MHNU2051	春	看護学特別研究演習 I	NRS601	2	西山 悦子	M2対象
MHNU2091	春	看護学特別研究演習 I	NRS601	2	武井 弥生	M2対象
MHNU2111	春	看護学特別研究演習 I	NRS601	2	渡邊 知映	M2対象
MHNU2061	春	看護学特別研究演習 I	NRS601	2	未定	M2対象
MHNU2081	休講	看護学特別研究演習 I	NRS601	2	未定	M2対象
MHNU7160	春	ケアリング特論	NRS746	2	(他) 大橋容一郎	輪講, M2対象
MHNU7210	春	医療政策特講	NRS736	2	(他) 栃本一三郎 (他) 藤井賢一郎	輪講
MHNU7240	春	総合看護学理論	NRS737	2	塚本 尚子 渡邊 知映	輪講
MHNU6120	春	ヘルスシステム開発・政策特講	NRS738	2	石川 ふみよ (他) 藤井賢一郎 *秋山 正子	輪講
MHNU7010	春	フィールドワーク	NRS780	2	石川 ふみよ 小長谷 百絵 西山 悦子 島田 真理恵 草柳 浩子 塚本 尚子 武井 弥生 渡邊 知映 小高 恵実	M2対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MHNU7020	秋	看護研究方法Ⅱ	NRS739	2	石川 ふみよ 小長谷 百絵 西山 悦子 島田 真理恵 草柳 浩子 塚本 尚子 武井 弥生 渡邊 知映 小高 恵実	輪講
MHNU7140	秋	国際比較文化論	NRS740	2	*岡本 菜穂子	
MHNU7150	秋	認識・看護理論	NRS741	2	西山 悦子 草柳 浩子 小長谷 百絵	輪講
MHNU7180	秋	発達行動と家族機能特論	NRS742	2	(他)横山 恭子	
MHNU7230	秋	医療看護フランス語	NRS743	2	*武田 志保子	
MHNU7250	秋	総合看護学方法論	NRS745	2	石川 ふみよ 渡邊 知映	輪講
MHNU6290	秋	小児・ウィメンズ看護学研究ゼミ	NRS714	2	島田 真理恵 草柳 浩子	輪講
MHNU6040	休講	家族発達看護学研究ゼミ	NRS715	2	未定	
MHNU6300	秋	小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学演習	NRS724	2	草柳 浩子 島田 真理恵	輪講
MHNU6230	秋	クリティカル・慢性・がん緩和ケア看護学研究ゼミ	NRS717	2	石川 ふみよ 小長谷 百絵 渡邊 知映	秋学期前半，輪講
MHNU6150	秋	メンタルヘルス看護学研究ゼミ	NRS718	2	塚本 尚子 小高 恵実	輪講
MHNU6160	秋	国際共生支援看護学研究ゼミ	NRS719	2	武井 弥生	授業はすべて英語で行う
MHNU6250	秋	地域ヘルス看護学研究ゼミ	NRS720	2	西山 悦子 小長谷 百絵	輪講
MHNU6240	秋	クリティカル・慢性・がん緩和ケア看護学演習	NRS716	2	石川 ふみよ 小長谷 百絵 渡邊 知映	秋学期後半，輪講
MHNU6180	秋	メンタルヘルス看護学演習	NRS722	2	塚本 尚子 小高 恵実	輪講
MHNU6190	秋	国際共生支援看護学演習	NRS723	2	武井 弥生	授業はすべて英語で行う
MHNU6260	秋	地域ヘルス看護学演習	NRS721	2	西山 悦子 小長谷 百絵	輪講
MHNU7190	秋	グリーンケア特講	NRS747	2	石川 ふみよ 西山 悦子	輪講，M2対象
MHNU2032	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2	石川 ふみよ	M2対象
MHNU2072	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2	小長谷 百絵	M2対象
MHNU2042	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2	島田 真理恵	M2対象
MHNU2022	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2	塚本 尚子	M2対象
MHNU2012	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2	草柳 浩子	M2対象
MHNU2052	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2	西山 悦子	M2対象
MHNU2092	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2	武井 弥生	M2対象
MHNU2112	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2	渡邊 知映	M2対象
MHNU2062	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2	未定	M2対象
MHNU2082	休講	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2	未定	M2対象
MHNU9010	秋	修士論文	NRS899	0	看護学専攻教員	M2対象

## 5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
MHNU1101	春	研究指導	NRS810	石川 ふみよ	指導科目
MHNU1111	春	研究指導	NRS810	小長谷 百絵	指導科目
MHNU1121	春	研究指導	NRS810	島田 真理恵	指導科目
MHNU1131	春	研究指導	NRS810	塚本 尚子	指導科目
MHNU1141	春	研究指導	NRS810	草柳 浩子	指導科目
MHNU1161	春	研究指導	NRS810	西山 悦子	指導科目
MHNU1171	春	研究指導	NRS810	武井 弥生	指導科目
	春	研究指導	NRS810	未定	指導科目
	休講	研究指導	NRS810	未定	指導科目
	休講	研究指導	NRS810	未定	指導科目
MHNU1102	秋	研究指導	NRS820	石川 ふみよ	指導科目
MHNU1112	秋	研究指導	NRS820	小長谷 百絵	指導科目
MHNU1122	秋	研究指導	NRS820	島田 真理恵	指導科目
MHNU1132	秋	研究指導	NRS820	塚本 尚子	指導科目
MHNU1142	秋	研究指導	NRS820	草柳 浩子	指導科目
MHNU1162	秋	研究指導	NRS820	西山 悦子	指導科目
MHNU1172	秋	研究指導	NRS820	武井 弥生	指導科目
	秋	研究指導	NRS820	未定	指導科目
	休講	研究指導	NRS820	未定	指導科目
	休講	研究指導	NRS820	未定	指導科目

法 学 研 究 科

## 1. 法学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

### 法律学専攻

本専攻は法学・政治学の研究者の養成、並びに、この素養を身につけた社会人を送り出すことを目的とする。

現代社会では、研究者は自分の専門領域に特化しているだけで足りるものでなく、社会で生起するさまざまな問題を論理的に再構成し、より高度な問題を処理できる実務能力を身につけていなければならない。社会人を積極的に受け入れ、研究者養成とともに、法学・政治学の素養を身につけた人材の養成を目指す。

## 2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

### 法律学専攻

本専攻は、法律学の諸分野における実定法の研究教育や基礎法・国際法・政治学・比較法などの研究教育をおこないます。

#### 【博士前期課程】

学部で修得した法学・政治学全般の基礎知識の深化を図り、専攻科目の研究への移行を助け、高度な法的能力および政治的分析力の涵養を目指します。また、社会人については、社会で身につけた知識・経験を専攻科目と関連づけて、専門的視点および分析力の深化を目指します。

#### 【博士後期課程】

研究者養成を主な目的としながら、既存の法秩序や政治の枠を超えて生起する現代の諸問題の処理能力を養うことに重点を置きます。また、社会で生起するさまざまな問題を論理的に再構成し、より高度な問題を処理できる実務能力を涵養します。

## 3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

### 法律学専攻

本専攻は、法学・政治学研究者の養成と高度の専門的能力を有する職業人および人間性豊かな法律家を養成し、社会に送り出すことを目的としています。

#### 【博士前期課程】

所定の年限を在学し、研究指導を受け、所定の単位数を修得し、かつ、本研究科が行う論文の審査に合格した学生に、修士（法学）の学位を授与します。修了にあたっては、専攻分野に関する高度な専門知識を修得し、使いこなす能力を身につけていることを到達の目安とします。

#### 【博士後期課程】

所定の年限を在学し、研究指導を受け、かつ、本研究科が行う博士論文の審査に合格した学生に博士（法学）の学位を授与します。修了にあたっては、専攻分野に関する深い学識と高度な分析力を備え、その学識と分析力を基盤として独創的な課題を設定し、自らそれを解決・展開する能力を身につけていることを到達の目安とします。

## 法律学専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### (標準修業年限(2年) 修了予定者)

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考(上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└前期研究演習Ⅱ	2		M1対象
└前期研究演習Ⅲ	2		M2対象
▶選択必修科目	2		M2対象, 指導教員と協議のうえ, 「前期研究演習Ⅳ」又は「前期論文演習」のいずれかを履修すること
▶選択科目	24		
└自専攻科目			
研究指導(必修)			M1・M2対象, 単位なし, 每学期履修登録すること
修士論文/リサーチペーパー			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること) ※ただし, リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。詳細についてはp. 171履修上の注意を参照。

#### (早期修了予定者)

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考(上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└前期研究演習Ⅰ	2		M1対象
└前期研究演習Ⅱ	2		M1対象
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
研究指導(必修)			M1対象, 単位なし, 每学期履修登録すること
修士論文/リサーチペーパー			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること) ※ただし, リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。詳細についてはp. 172履修上の注意を参照。

#### 【修士論文審査基準】 ※リサーチペーパー審査基準については追って公表する

##### 修士学位論文の位置づけと評価基準

- (1) 修士の学位は, 博士前期課程における履修と研鑽を通じて, 専門的研究者としての能力水準をある程度具え, それが提出論文に充分反映されている場合に, これを授与するものとする(課程「修了」の証明)。また, この学位は, 爾後, 学界において研究者としての活動を継続・発展させていくに必要な能力をある程度具えていると思科される場合に, これを授与するものとする。
- (2) 修士の学位論文は, 主題に関する学界での到達点を適切に理解し, かつこれをさらに発展させるための斬新な視点ないし切り口・分析方法をある程度提示していること, 論文全体に一貫性・実証性・独創性が認められ, 構成力と表現力において優れていること等が必要である。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
前期研究演習Ⅰ ※注1	2		
前期研究演習Ⅱ	2		
前期研究演習Ⅲ	2		
前期研究演習Ⅳ		2	
前期論文演習		2	
課題研究			1
法哲学研究Ⅰ			2
法哲学研究Ⅱ			2
西洋法制史研究Ⅰ			2
西洋法制史研究Ⅱ			2
外国法研究Ⅰ			2
外国法研究Ⅱ			2
外国法研究Ⅲ			2
比較法研究Ⅰ			2
比較法研究Ⅱ			2
憲法研究Ⅰ			2
憲法研究Ⅱ			2
憲法研究Ⅲ			2
憲法研究Ⅳ			2
憲法研究Ⅴ			2
憲法研究Ⅵ			2
行政法研究Ⅰ			2
行政法研究Ⅱ			2
行政法研究Ⅲ			2
行政法研究Ⅳ			2
政治学研究Ⅰ			2
政治学研究Ⅱ			2
政治学研究Ⅲ			2
政治学研究Ⅳ			2
政治学研究Ⅴ			2
政治学研究Ⅵ			2
民法研究Ⅰ			2
民法研究Ⅱ			2
民法研究Ⅲ			2
民法研究Ⅳ			2
民法研究Ⅴ			2
民法研究Ⅵ			2
民法研究Ⅶ			2
民法研究Ⅷ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
民法研究Ⅸ			2
民法研究Ⅹ			2
商法研究Ⅰ			2
商法研究Ⅱ			2
商法研究Ⅲ			2
商法研究Ⅳ			2
商法研究Ⅴ			2
商法研究Ⅵ			2
商法研究Ⅶ			2
民事訴訟法研究Ⅰ			2
民事訴訟法研究Ⅱ			2
民事訴訟法研究Ⅲ			2
刑事法研究Ⅰ			2
刑事法研究Ⅱ			2
労働法研究Ⅰ			2
労働法研究Ⅱ			2
経済法研究Ⅰ			2
経済法研究Ⅱ			2
知的財産権法研究Ⅰ			2
知的財産権法研究Ⅱ			2
社会保障法研究Ⅰ			2
社会保障法研究Ⅱ			2
国際法研究Ⅰ			2
国際法研究Ⅱ			2
国際法研究Ⅲ			2
国際法研究Ⅳ			2
国際法研究Ⅴ			2
国際法研究Ⅵ			2
国際経済法研究Ⅰ			2
国際経済法研究Ⅱ			2
国際私法研究Ⅰ			2
国際私法研究Ⅱ			2
国際私法研究Ⅲ			2
国際取引法研究Ⅰ			2
国際取引法研究Ⅱ			2
環境法研究Ⅰ			2
環境法研究Ⅱ			2
環境法研究Ⅲ			2
環境法研究Ⅳ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
環境法研究V			2
環境法研究VI			2
環境法研究VII			2
環境法研究VIII			2
環境学研究I			2
環境学研究II			2
(他)特殊講義(警察活動と法実務) ※注2			1
(他)LAW AND PRACTICE OF INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS ※注2			1
(他)平和研究の課題 ※注3			2
(他)グローバル・スタディーズの新課題※注3			2
(他)国際関係論研究1 ※注3			2
(他)国際関係論研究2 ※注3			2
(他)国際経済学研究1 ※注3			2
(他)国際経済学研究2 ※注3			2
(他)国際政治経済論研究1 ※注3			2
(他)国際政治経済論研究2 ※注3			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
(他)対外政策研究1 ※注3			2
(他)対外政策論文演習1 ※注3			2
(他)対外政策研究2 ※注3			2
(他)対外政策論文演習2 ※注3			2
(他)政治社会論研究1 ※注3			2
(他)政治社会論研究2 ※注3			2
(他)比較政治学研究1 ※注3			2
(他)比較政治学研究2 ※注3			2
(他)グローバル政治学I GLOBALIZATION AND NATION-STATES ※注4			4
(他)比較政治学I COMPARATIVE POLITICS ※注4			2
(他)比較政治学II DEMOCRACY IN GLOBALIZATION ※注 4			2
(他)グローバル政治学III GLOBAL POLITICS ※注4			4

※注1：早期修了予定者のみ対象

※注2：法曹養成専攻開講科目(時間割は法科大学院履修要綱参照)

※注3：国際関係論専攻開講科目(詳細はp.224～p.227参照)

※注4：グローバル社会専攻開講科目(詳細はEnglish-taught GRADUATE PROGRAMS「BULLETIN OF INFORMATION 2016-2017」参照)

### 3. 履修上の注意

#### (標準修業年限(2年)修了予定者)

(9月修了予定者は4月第2月曜日までに法律学専攻事務室に申し出ること。)

- 「前期研究演習Ⅱ」及び「前期研究演習Ⅲ」の履修登録を行い、学期末に研究報告書を提出すること。
- 2年次の秋学期においては、指導教員と協議の上、「前期研究演習Ⅳ」又は「前期論文演習」のいずれかを履修登録すること。
- 「前期論文演習」の履修登録を予定する者は、2年次春学期末に開催する「研究報告会」において報告すること。
- 「前期論文演習」を履修登録した者は修士論文を提出し、「前期研究演習Ⅳ」を履修登録した者はリサーチ・ペーパーを提出すること。ただし、「前期論文演習」履修登録者であっても、指導教員の承認を得て、リサーチ・ペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。
- リサーチ・ペーパーは、上智大学大学院学則第21条に規定する修士論文とみなす。
- 修士論文、又はリサーチ・ペーパーを提出した者は、2年次秋学期末に法学会が開催する「研究報告会」で報告すること。
- 「前期研究演習Ⅱ～Ⅳ」、又は「前期研究演習Ⅱ～Ⅲ」及び「前期論文演習」の6単位を含めて、合計30単位以上を履修すること。
- 「研究指導・課題研究・前期研究演習・前期論文演習」は、指導教員の科目を履修すること。
- 「研究指導」については、在籍中(標準修業年限を超えて在籍する者も含む)、每学期履修登録をすること。
- 「課題研究」とは、①常勤で就労する学生のみ履修登録することができ、②博士前期課程在籍中に2単位(1学期1単位)まで取得することができ、③履修登録に際しては、あらかじめ指導教員と問題設定等について相談して研究計画を立て、その了解を得ること。

なお、「課題研究」の履修登録を予定する者は、履修登録期間前までに法律学専攻事務室に\*所定用紙を提出すること。

\*上記所定用紙は、法律学専攻事務室にて配付。

**(早期修了予定者)**

- 1) 上智大学大学院学則第 21 条第 1 項ただし書に規定する 1 年間の在学期間（早期修了）を希望する者は、指導教員の承認を得て、1 年次 4 月第 2 月曜日までに、「早期修了申請書」（\*所定用紙）を法学研究科委員長（法律学専攻事務室）に届け出ること。なお、本学の法律学専攻博士後期課程進学希望者は、早期修了を希望することができない。
- 同項ただし書に規定する「優れた業績を上げた者」とは、修了に必要な修得単位の成績評価の GPA が 3.4 以上であり、修士論文又はリサーチ・ペーパーが審査委員会によって B 以上と評価された者とする。
- 2) 「前期研究演習Ⅰ」、「前期研究演習Ⅱ」の履修登録を行うこと。
- 3) 1 年次春学期末に研究報告書を提出し、1 年次秋学期末に修士論文又はリサーチ・ペーパーを提出すること。
- 4) リサーチ・ペーパーは、上智大学大学院学則第 21 条に規定する修士論文とみなすこと。
- 5) 修士論文又はリサーチ・ペーパーを提出した者は、1 年次秋学期末に法学会が主催する「研究報告会」で報告すること。
- 6) 「前期研究演習Ⅰ」、「前期研究演習Ⅱ」の 4 単位を含めて、合計 30 単位以上を履修すること。
- 7) 「研究指導」については、在籍中、每学期履修登録すること。
- 8) 早期修了の予定を取り消す者については、指導教員の承認を得て、2016 年 11 月 21 日～12 月 2 日の期間（修士論文題目提出期間）に、「早期修了取消届出書」（\*所定用紙）を、法学研究科委員長（法律学専攻事務室）に届け出ること。その者の履修は、上記の標準修業年限（2 年）修了予定者に準ずる。
- 9) 「課題研究」とは、①常勤で就労する学生のみ履修登録することができ、②博士前期課程在籍中に 2 単位（1 学期 1 単位）まで取得することができ、③履修登録に際しては、あらかじめ指導教員と問題設定等について相談して研究計画を立て、その了解を得ること。

なお、「課題研究」の履修登録を予定する者は、履修登録期間前までに法律学専攻事務室に\*所定用紙を提出すること。

\*上記所定用紙は、法律学専攻事務室にて配付。

**4. 開講科目一覧表**

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 *：非常勤教員	備考
<b>&lt;必修科目&gt;</b>						
MLLW1122	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501	2	出口耕自	M1早期修了予定者対象
MLLW1118	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501	2	駒田泰士	M1早期修了予定者対象
MLLW1127	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501	2	筑紫圭一	M1早期修了予定者対象
MLLW1333	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501	2	堀口健夫	M1早期修了予定者対象
MLLW1115	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501	2	照沼亮介	M1早期修了予定者対象
MLLW1119	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501	2	江藤淳一	M1早期修了予定者対象
MLLW1108	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501	2	三浦まり	M1早期修了予定者対象
MLLW1134	春	前期研究演習Ⅰ	LAW501	2	佐藤結美	M1早期修了予定者対象
MLLW1322	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502	2	出口耕自	M1対象
MLLW1318	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502	2	駒田泰士	M1対象
MLLW1327	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502	2	筑紫圭一	M1対象
MLLW1330	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502	2	堀口健夫	M1対象
MLLW1324	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502	2	照沼亮介	M1対象
MLLW1319	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502	2	江藤淳一	M1対象
MLLW1308	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502	2	三浦まり	M1対象
MLLW1334	秋	前期研究演習Ⅱ	LAW502	2	佐藤結美	M1対象
MLLW1407	春	前期研究演習Ⅲ	LAW601	2	矢島基美	M2対象(前期研究演習Ⅱを修得済みであること)

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバ リング	単 位 数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 *：非常勤教員	備考
<b>&lt;選択必修科目&gt;</b>						
MLLW1508	秋	前期研究演習Ⅳ	LAW602	2	矢 島 基 美	M2対象(前期研究演習Ⅲを修得済み であること)
MLLW1608	秋	前期論文演習	LAW603	2	矢 島 基 美	M2対象(前期研究演習Ⅲを修得済み であること)
<b>&lt;選択科目&gt;※重複履修可(他専攻開講科目を除く)</b>						
MLLW7740	春	課題研究	LAW701	1	法学専攻各指導教員	M1・M2対象
MLLW7750	秋	課題研究	LAW701	1	法学専攻各指導教員	M1・M2対象
MLLW7010	春	法哲学研究Ⅰ(法哲学文献講読)	JUR701	2	奥 田 純一郎	隔年開講
MLLW7020	休講	法哲学研究Ⅱ(正義論文献講読)	JUR702	2	奥 田 純一郎	隔年開講
MLLW7030	秋	西洋法制史研究Ⅰ (ヨーロッパ近世・近代史)	JUR711	2	松 本 尚 子	隔年開講
MLLW7040	休講	西洋法制史研究Ⅱ (ヨーロッパ現代史)	JUR712	2	松 本 尚 子	隔年開講
MLLW7050	春	外国法研究Ⅰ (フランス法文献講読)	JUR721	2	滝 澤 正	
MLLW7060	春	外国法研究Ⅱ(英米法文献講読)	JUR722	2	岩 田 太	
MLLW7070	秋	外国法研究Ⅲ (ドイツ法文献講読)	JUR723	2	松 本 尚 子	
MLLW7080	秋	比較法研究Ⅰ (フランス法文献講読)	JUR733	2	滝 澤 正	
MLLW7090	春	比較法研究Ⅱ(英米法文献講読)	JUR734	2	岩 田 太	
MLLW7100	春	憲法研究Ⅰ(憲法判例研究)	PBL701	2	江 藤 祥 平	
MLLW7110	春	憲法研究Ⅱ(憲法解釈研究)	PBL702	2	江 藤 祥 平	
MLLW7790	休講	憲法研究Ⅲ	PBL703	2		
MLLW7120	休講	憲法研究Ⅳ	PBL704	2		
MLLW7130	春	憲法研究Ⅴ(憲法理論研究)	PBL705	2	矢 島 基 美	
MLLW7140	秋	憲法研究Ⅵ(憲法判例研究)	PBL706	2	矢 島 基 美	
MLLW7150	春	行政法研究Ⅰ(行政法判例研究)	PBL711	2	古 城 誠	
MLLW7160	休講	行政法研究Ⅱ(行政法判例研究)	PBL712	2	古 城 誠	
MLLW7170	春	行政法研究Ⅲ(行政法判例研究)	PBL713	2	小 幡 純 子	
MLLW7180	休講	行政法研究Ⅳ(行政法判例研究)	PBL714	2	小 幡 純 子	
MLLW7190	春	政治学研究Ⅰ (グローバル化の政治経済1)	POL701	2	加 藤 浩 三	
MLLW7200	秋	政治学研究Ⅱ (グローバル化の政治経済2)	POL702	2	加 藤 浩 三	
MLLW7210	春	政治学研究Ⅲ (グローバル化と公共政策) GLOBALIZATION & PUBLIC POLICY	POL703	2	三 浦 まり	※ 「授業はすべて英語で行う」
MLLW7220	休講	政治学研究Ⅳ(現代日本政治研究) CONTEMPORARY JAPANESE POLITICS	POL704	2	三 浦 まり	※ This class is taught in English 「授業はすべて英語で行う」
MLLW7230	休講	政治学研究Ⅴ(国際政治の諸理論) INTERNATIONAL POLITICS	POL705	2	岡 部 みどり	※ This class is taught in English 「授業はすべて英語で行う」
MLLW7240	休講	政治学研究Ⅵ(人の国際移動) INTERNATIONAL MIGRATION	POL706	2	岡 部 みどり	※ This class is taught in English 「授業はすべて英語で行う」
MLLW7250	秋	民法研究Ⅰ(債権法の諸問題)	CVL701	2	奥 富 晃	
MLLW7260	秋	民法研究Ⅱ(未定)	CVL702	2	未 定	
MLLW7270	秋	民法研究Ⅲ(英米契約法・信託 法の検討)	CVL703	2	小 山 泰 史	

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバ リング	単 位 数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 *：非常勤教員	備考
MLLW7280	休講	民法研究Ⅳ	CVL704	2		
MLLW7290	春	民法研究Ⅴ(債権法改正の諸問題(共同担保法に関する諸問題その1))	CVL705	2	佐藤 岩 昭	
MLLW7300	秋	民法研究Ⅵ(債権法改正の諸問題(共同担保法に関する諸問題その2))	CVL706	2	佐藤 岩 昭	
MLLW7310	春	民法研究Ⅶ (物権法の諸問題)	CVL707	2	伊藤 栄 寿	
MLLW7320	秋	民法研究Ⅷ(決済法の研究)	CVL708	2	伊藤 栄 寿	
MLLW7330	休講	民法研究Ⅸ(親族法の諸問題)	CVL709	2	羽生 香 織	
MLLW7340	秋	民法研究Ⅹ(相続法の諸問題)	CVL710	2	羽生 香 織	
MLLW7350	春	商法研究Ⅰ(英米保険法研究)	CML701	2	甘利 公 人	
MLLW7360	秋	商法研究Ⅱ(商事判例研究)	CML702	2	甘利 公 人	
MLLW7370	休講	商法研究Ⅲ(外国語文献講読・ウィーン売買条約)	CML703	2	松井 智 予	
MLLW7380	春	商法研究Ⅳ(ドイツ会社法判例を読む)	CML704	2	伊藤 雄 司	
MLLW7820	秋	商法研究Ⅴ (ドイツ会社法文献講読)	CML705	2	伊藤 雄 司	
MLLW7830	春	商法研究Ⅵ (英米商事法研究Ⅰ)	CML706	2	梅村 悠	
MLLW7381	秋	商法研究Ⅶ (英米商事法研究Ⅱ)	CML707	2	梅村 悠	
MLLW7390	秋	民事訴訟法研究Ⅰ (民事手続法の判例研究)	CPL701	2	原 強	
MLLW7400	秋	民事訴訟法研究Ⅱ (民事訴訟法の理論研究)	CPL702	2	田頭 章 一	
MLLW7410	休講	民事訴訟法研究Ⅲ (民事執行法の判例研究)	CPL703	2	安西 明 子	
MLLW7420	春	刑事法研究Ⅰ (最近の刑事判例と刑法学説)	CRL701	2	長沼 範 良 伊藤 涉 介 照沼 亮 介 佐藤 結 美 三好 幹 夫	複数同時担当, 隔週
MLLW7430	秋	刑事法研究Ⅱ(比較法的に見た 刑事法上の諸問題)	CRL702	2	長沼 範 良 伊藤 涉 介 照沼 亮 介 佐藤 結 美 三好 幹 夫	複数同時担当, 隔週
MLLW7440	春	労働法研究Ⅰ(雇用関係法)	SCL701	2	富永 晃 一	
MLLW7450	秋	労働法研究Ⅱ(労使関係法)	SCL702	2	富永 晃 一	
MLLW7460	春	経済法研究Ⅰ(独占禁止法)	SCL711	2	楠 茂 樹	
MLLW7470	秋	経済法研究Ⅱ(公共調達と法)	SCL712	2	楠 茂 樹	
MLLW7480	春	知的財産権法研究Ⅰ(著作権法)	SCL721	2	駒田 泰 土	
MLLW7490	秋	知的財産権法研究Ⅱ (特許・商標法)	SCL722	2	駒田 泰 土	
MLLW7660	春	社会保障法研究Ⅰ (社会保障法政策研究)	SCL731	2	永野 仁 美	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 *：非常勤教員	備考
MLLW7670	休講	社会保障法研究Ⅱ (社会保障法判例研究)	SCL732	2	永野仁美	
MLLW7500	春	国際法研究Ⅰ(国際法総論)	INL701	2	江藤淳一	
MLLW7510	秋	国際法研究Ⅱ(国際紛争処理)	INL702	2	江藤淳一	
MLLW7520	春	国際法研究Ⅲ(判例研究)	INL703	2	兼原敦子	
MLLW7530	休講	国際法研究Ⅳ(文献講読)	INL704	2	兼原敦子	
MLLW7780	休講	国際法研究Ⅴ(海洋法研究)	INL721	2	堀口健夫	
MLLW7800	秋	国際法研究Ⅵ(国際環境法研究)	INL722	2	堀口健夫	
MLLW7560	休講	国際経済法研究Ⅰ (WTO判例研究1)	INL711	2	川瀬剛志	
MLLW7570	秋	国際経済法研究Ⅱ (WTO判例研究2)	INL712	2	川瀬剛志	
MLLW7600	休講	国際私法研究Ⅰ(比較国際私法総論)	PIL701	2	出口耕自	
MLLW7610	春	国際私法研究Ⅱ(比較国際私法各論)	PIL702	2	出口耕自	
MLLW7620	秋	国際私法研究Ⅲ (比較国際民事訴訟法)	PIL703	2	出口耕自	
MLLW7630	春	国際取引法研究Ⅰ (国際取引法文献講読1)	PIL711	2	森下哲朗	
MLLW7640	秋	国際取引法研究Ⅱ (国際取引法文献講読2)	PIL712	2	森下哲朗	
MLLW7680	休講	環境法研究Ⅰ(景観判例の研究)	ENL701	2	北村喜宣	
MLLW7690	春	環境法研究Ⅱ(環境法理論研究)	ENL702	2	北村喜宣	
MLLW7700	春	環境法研究Ⅲ(環境法の基礎理論)	ENL703	2	桑原勇進	
MLLW7710	休講	環境法研究Ⅳ(環境法の基本原則)	ENL704	2	桑原勇進	
MLLW7720	休講	環境法研究Ⅴ (まちづくり、観光と法)	ENL705	2	越智敏裕	
MLLW7730	休講	環境法研究Ⅵ(環境判例研究)	ENL706	2	越智敏裕	
MLLW7890	休講	環境法研究Ⅶ(環境法事例研究)	ENL707	2	筑紫圭一	
MLLW7891	秋	環境法研究Ⅷ(環境法文献講読)	ENL708	2	筑紫圭一	
MLLW7900	春	環境学研究Ⅰ (社会発展と環境問題)	ENL711	2	大和田滝恵	
MLLW7910	秋	環境学研究Ⅱ (社会機構と環境問題)	ENL712	2	大和田滝恵	
LWS61500	春	特殊講義(警察活動と法実務)	LAW703	1	*金山泰介	(他)法曹養成専攻，春学期前半，履修中止期間注意
LWS60600	秋	LAW AND PRACTICE OF INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS	LAW702	1	コーディネータ 森下哲朗	(他)法曹養成専攻，秋学期前半，授業はすべて英語で行う，輪講，履修中止不可
MFIR6010	春	平和研究の課題	IRS701	2	(他)WESSELS David	(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6020	秋	グローバル・スタディーズの新課題	IRS702	2	(他)WESSELS David	(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6030	休講	国際関係論研究1(理論)	IRS703	2	(他)WESSELS David	(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6040	休講	国際関係論研究2(思想と行動)	IRS704	2	(他)WESSELS David	(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6120	春	国際経済学研究1(理論)	IRS712	2	(他)下川 雅嗣	(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6130	秋	国際経済学研究2 (ケース・スタディ)	IRS713	2	(他)下川 雅嗣	(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6140	休講	国際政治経済論研究1(理論)	IRS714	2	(他)下川 雅嗣	(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6150	休講	国際政治経済論研究2 (ケース・スタディ)	IRS715	2	(他)下川 雅嗣	(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6200	春	対外政策研究1	IRS720	2	(他)樋渡 由美	(他)国際関係論専攻，M1対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 *：非常勤教員	備考
MFIR6210	春	対外政策論文演習 1	IRS721	2	(他)樋渡 由美	(他)国際関係論専攻, M2対象
MFIR6220	秋	対外政策研究 2	IRS722	2	(他)樋渡 由美	(他)国際関係論専攻, M1対象
MFIR6230	秋	対外政策論文演習 2	IRS723	2	(他)樋渡 由美	(他)国際関係論専攻, M2対象
MFIR6280	休講	政治社会論研究 1	IRS728	2	(他)岸川 毅	(他)国際関係論専攻, 隔年開講
MFIR6290	休講	政治社会論研究 2	IRS729	2	(他)岸川 毅	(他)国際関係論専攻, 隔年開講
MFIR6300	春	比較政治学研究 1	IRS730	2	(他)岸川 毅	(他)国際関係論専攻, 隔年開講
MFIR6310	秋	比較政治学研究 2	IRS731	2	(他)岸川 毅	(他)国際関係論専攻, 隔年開講
MZAG5270	秋	グローバル政治学 I GLOBALIZATION AND NATION-STATES	AGS705	4	(他)安野 正士	(他)グローバル社会専攻
MZAG5020	春	比較政治学 I COMPARATIVE POLITICS	AGS714	2	(他)中野 晃一	(他)グローバル社会専攻
MZAG5040	秋	比較政治学 II DEMOCRACY IN GLOBALIZATION	AGS715	2	(他)中野 晃一	(他)グローバル社会専攻
MZAG5310	春	グローバル政治学 III GLOBAL POLITICS	AGS707	4	(他)伊藤 毅	(他)グローバル社会専攻
<b>&lt;修士論文&gt;</b>						
MLLW9020	秋	修士論文／リサーチペーパー	LAW899	0	法律学専攻各指導教員	M2 (M1 早期修了予定者含む) 対象
MLLW9021	春	修士論文／リサーチペーパー	LAW899	0	法律学専攻各指導教員	M2 (9月修了予定者) 対象

## 5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 *：非常勤教員	備考
MLLW1005	春	研究指導	LAW888	矢島 基美	M1・M2対象指導科目
MLLW1018	春	研究指導	LAW888	駒田 泰土	M1・M2対象指導科目
MLLW1027	春	研究指導	LAW888	筑紫 圭一	M1・M2対象指導科目
MLLW1022	春	研究指導	LAW888	出口 耕自	M1・M2対象指導科目
MLLW1033	春	研究指導	LAW888	堀口 健夫	M1・M2対象指導科目
MLLW1015	春	研究指導	LAW888	照沼 亮介	M1・M2対象指導科目
MLLW1019	春	研究指導	LAW888	江藤 淳一	M1・M2対象指導科目
MLLW1008	春	研究指導	LAW888	三浦 まり	M1・M2対象指導科目
MLLW1134	春	研究指導	LAW888	佐藤 結美	M1・M2対象指導科目
MLLW1205	秋	研究指導	LAW888	矢島 基美	M1・M2対象指導科目
MLLW1218	秋	研究指導	LAW888	駒田 泰土	M1・M2対象指導科目
MLLW1227	秋	研究指導	LAW888	筑紫 圭一	M1・M2対象指導科目
MLLW1222	秋	研究指導	LAW888	出口 耕自	M1・M2対象指導科目
MLLW1230	秋	研究指導	LAW888	堀口 健夫	M1・M2対象指導科目
MLLW1224	秋	研究指導	LAW888	照沼 亮介	M1・M2対象指導科目
MLLW1219	秋	研究指導	LAW888	江藤 淳一	M1・M2対象指導科目
MLLW1208	秋	研究指導	LAW888	三浦 まり	M1・M2対象指導科目
MLLW1234	秋	研究指導	LAW888	佐藤 結美	M1・M2対象指導科目

## 法律学専攻 博士後期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	20		
授業科目			
・必修科目	12		
└後期論文演習Ⅰ－A	2		D 1 対象
└後期論文演習Ⅰ－B	2		D 1 対象
└後期論文演習Ⅱ－A	2		D 2 対象
└後期論文演習Ⅱ－B	2		D 2 対象
└後期論文演習Ⅲ－A	2		D 3 対象
└後期論文演習Ⅲ－B	2		D 3 対象
・選択科目	8		
研究指導（必修）			D 1・D 2・D 3 対象, 単位なし, 毎学期履修登録すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

### 【博士論文審査基準】

博士学位論文の位置づけと評価基準

- 1) 博士の学位は, 博士後期課程において履修と研鑽を通じて, 専門的研究者としての能力水準を十分に具え, それ  
が提出論文に充分反映されている場合に, これを授与するものとする（課程「修了」の証明）。また, この学位は,  
爾後, 学界において研究者としての活動を継続・発展させていくに必要な能力を十分に具えていると思料される場  
合に, これを授与するものとする。
- 2) 博士の学位論文は, 主題に関する学界での到達点を適切に理解し, かつこれをさらに発展させるための斬新な視  
点ないし切り口・分析方法を十分に提示していること, 論文全体に一貫性・実証性・独創性が認められ, 構成力と  
表現力において優れていること等が必要である。

### 2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他): 他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
<必修科目>			
後期論文演習Ⅰ－A	2		
後期論文演習Ⅰ－B	2		
後期論文演習Ⅱ－A	2		
後期論文演習Ⅱ－B	2		
後期論文演習Ⅲ－A	2		
後期論文演習Ⅲ－B	2		
<選択科目>			
選択科目は法律学専攻前期課程の選択科目（【課題研究】除く）を履修すること（p. 173～p. 176参照）※重複履修可（他専攻開講科目を除く）			

### 3. 履修上の注意

- 1) 「後期論文演習Ⅰ-A」, 「後期論文演習Ⅰ-B」, 「後期論文演習Ⅱ-A」・「後期論文演習Ⅱ-B」, 「後期論文演習Ⅲ-A」, 「後期論文演習Ⅲ-B」の履修登録を行い, かつ各年度末には研究報告書を提出すること。
- 2) 「後期論文演習Ⅰ-A」, 「後期論文演習Ⅰ-B」, 「後期論文演習Ⅱ-A」, 「後期論文演習Ⅱ-B」, 「後期論文演習Ⅲ-A」, 「後期論文演習Ⅲ-B」(12単位)を含めて20単位以上を履修すること。
- 3) 「研究指導・後期論文演習」は, 指導教員の科目を履修すること。
- 4) 「研究指導」については, 在籍中(標準修業年限を超えて在籍する者も含む), 每学期履修登録をすること。
- 5) 後期課程の単位を取得したが学位論文を提出することなくその課程を満期退学しようとする者は, それまでの研究成果をまとめて論文として提出し, 研究科委員会の承認を受けること。

### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他): 他研究科教員 *: 非常勤教員	備考
<b>&lt;必修科目&gt;</b>						
DLLW3337	春	後期論文演習Ⅰ-A	LAW901	2	北村喜宣	D1対象
DLLW3437	秋	後期論文演習Ⅰ-B	LAW902	2	北村喜宣	D1対象(後期論文演習Ⅰ-Aを修得済みであること)
DLLW3713	春	後期論文演習Ⅱ-A	LAW903	2	奥田純一郎	D2対象(後期論文演習Ⅰ-Bを修得済みであること)
DLLW3812	秋	後期論文演習Ⅱ-B	LAW904	2	奥田純一郎	D2対象(後期論文演習Ⅱ-Aを修得済みであること)
DLLW3904	春	後期論文演習Ⅲ-A	LAW905	2	北村喜宣	D3対象(後期論文演習Ⅱ-Bを修得済みであること)
DLLW4004	秋	後期論文演習Ⅲ-B	LAW906	2	北村喜宣	D3対象(後期論文演習Ⅲ-Aを修得済みであること)
<b>&lt;選択科目&gt;</b>						
選択科目は法律学専攻前期課程の選択科目(【課題研究】除く)を履修すること(p.173~p.176参照)※重複履修可(他専攻開講科目を除く)						

### 5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名 ※(他): 他研究科教員 *: 非常勤教員	備考
DLLW3101	春	研究指導	LAW988	奥田純一郎	D1・D2・D3対象指導科目
DLLW3137	春	研究指導	LAW988	北村喜宣	D1・D2・D3対象指導科目
DLLW3138	春	研究指導	LAW988	桑原勇進	D1・D2・D3対象指導科目
DLLW3134	春	研究指導	LAW988	出口耕自	D1・D2・D3対象指導科目
DLLW3127	春	研究指導	LAW988	伊藤渉	D1・D2・D3対象指導科目
DLLW3119	春	研究指導	LAW988	甘利公人	D1・D2・D3対象指導科目
DLLW3201	秋	研究指導	LAW988	奥田純一郎	D1・D2・D3対象指導科目
DLLW3237	秋	研究指導	LAW988	北村喜宣	D1・D2・D3対象指導科目
DLLW3238	秋	研究指導	LAW988	桑原勇進	D1・D2・D3対象指導科目
DLLW3234	秋	研究指導	LAW988	出口耕自	D1・D2・D3対象指導科目
DLLW3227	秋	研究指導	LAW988	伊藤渉	D1・D2・D3対象指導科目
DLLW3219	秋	研究指導	LAW988	甘利公人	D1・D2・D3対象指導科目

# 経済学研究科

経済学専攻

経営学専攻

## 1. 経済学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

経済学・経営学に関する深い学識を基礎に、実的な应用能力を有する職業専門家、深い洞察力を備えた高い水準の研究者を育成する。

前期課程修了者には、専門知識を活かして、研究やコンサルティングに従事したり、企業実務の第一線で活躍する高度専門職業人となることが期待される。

後期課程修了者には、学術・研究機関において教育・研究に従事することが期待される。

## 2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

### 経済学専攻

#### 【博士前期課程】

本課程では、現代経済を分析する能力を養う「ミクロ経済学特講Ⅰ」「マクロ経済学特講Ⅰ」および「計量経済学特講Ⅰ」に加え、「論文演習Ⅰ〔基礎〕」の計8単位を必修としています。さらに専攻分野に応じて多くの選択科目が用意されており、自専攻科目、自研究科他専攻科目などから計22単位を履修します。学生は専攻する分野に応じ、指導教員から必要な研究指導を受けながら修士論文を書くことが求められており、その審査・試験に合格する必要があります。

#### 【博士後期課程】

本課程では、経済の理論・応用・歴史に属するさまざまな分野での専門家を育成することを目的としています。ここには、本専攻の博士前期課程を修了し引き続き研究を行う学生と、他大学の博士前期課程などの出身学生がいます。指導教育による専門的指導を目的とした「研究指導」が必修となっており、在学中は、毎学期履修することが求められています。学生には、学内外の学会、研究会などでの研究報告を行うこと、ならびに学会誌への投稿を行うことが推奨されます。そして最終的には、博士論文を提出することが求められます。

### 経営学専攻

#### 【博士前期課程】

本課程では、必修科目として論文演習Ⅰと研究指導を設け、各学生の研究テーマに応じて個別に履修指導をおこないます。会計、流通・マーケティング、経営戦略・経営管理の分野における多様なトピックを扱います。本学の教育理念に基づく小人数教育による双方向的指導を実施し、専門知識だけでなく教員と学生の人間としてのふれあいの中で、個々の能力と個性に即した成長を目指します。

講義内容は、理論構築の基礎となる調査研究方法論（統計や社会調査技法）から、理論的な基礎、現実の経営現象への応用まで幅広く、基礎と応用のバランスが取れた教育課程を編成しています。講義形式は、伝統的な文献講読タイプだけでなく、現実の事例に基づくケース・ディスカッションやデータ分析の実習など多様な形式を設け、問題探求力、分析能力、応用・実践能力、コミュニケーション能力を養います。

#### 【博士後期課程】

本課程では、経営学の理論を現実の応用へ橋渡しできるような高度な研究能力を涵養することを目指し、指導教員の研究指導にもとづき、学位論文の作成に向けた研究に専念します。国内や海外での学会での積極的な発表や論文の投稿を通じて知見を深めていくことが推奨されます。

### 3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

#### 経済学専攻

##### 【博士前期課程】

本課程では「広い視野と先見性を持ち、国際的な場で活躍するリーダーとなる人材を養成する」学部教育の理念のもと、経済を理論的、実証的、歴史的に分析する能力をもつ人材の養成を目指しています。具体的には、経済学についての基本的な知識を身につけたうえで、それぞれが選んだ分野での専門的研究を遂行することが要求されます。後者については、指導教官や学生間でのディスカッションを通じ知見を改善しつつ修士論文として仕上げていくことを大きな目標としています。当該課程に2年以上（優れた業績を上げた者については1年以上）在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査および最終試験に合格した学生に修士（経済学）の学位を授与します。

##### 【博士後期課程】

本課程では、自ら選んだ専攻分野で専門家としての能力を深め、高めることを大きな目標にしています。多くの場合、博士前期課程で研究した分野をさらに深め、かつ広げる努力をなすことが要請されます。日ごろから、海外の学術雑誌に掲載されている論文や注目を浴びている著作などを絶えず読むことで知見を深めるとともに、絶えず未知のデータや資料を収集していく姿勢が要求されます。実証的分野の場合、対象となるデータの収集と解析が、また歴史的分野の場合、一次資料を発掘しての分析・解明が重要な研究課題となります。そしてそれらをもとに論文を執筆していくことが要請されます。当初は指導教官や学生間でのディスカッション、続いてそれらをもとに外部で開催される研究会での報告、さらには学会での発表などを行うことで、論文の質を高めていく努力が奨励されます（最近では、海外の学会での報告も奨励されており、そのための資金も用意されています）。その先は、定評のある内外の学術雑誌への投稿ということになります。そして最終的には、博士論文の完成に至ることが要請されています。当該課程に3年以上在学し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、博士論文の審査および最終試験に合格した学生に博士（経済学）の学位を授与します。

#### 経営学専攻

本専攻では、以下のような学生に学位を授与します。

##### 【博士前期課程】

本課程では、会計、流通・マーケティング、経営戦略・経営管理の各分野におけるテーマについて、先行研究や関連文献を調査し、必要に応じてマーケット調査やアンケート調査などの社会調査を実施し、参考資料やデータを詳細に分析した知見から、世界の人々の生活の向上に役立ち、グローバルな視点での考察を加えて、世界の企業のさらなる繁栄に貢献する独創的、先進的な論文を作成することが要求されます。本課程に2年以上（優れた業績を上げた者については1年以上）在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査および最終試験に合格した学生に修士（経営学）の学位を授与します。

##### 【博士後期課程】

本課程では、研究者としての能力と学識を備えた人材を養成します。本課程に3年以上在学し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、博士論文の審査および最終試験に合格した者に博士（経営学）の学位を授与します。

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶必修科目	8		
└マイクロ経済学特講 I	2		
└マクロ経済学特講 I	2		
└計量経済学特講 I	2		
└論文演習 I (基礎)	2		
▶選択科目	22		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導 (必修)			単位なし, 毎学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【修士論文審査基準】

- 1) 指導・審査グループと協議の上, 研究課題が明確に設定されていること。
- 2) 研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
- 3) 先行研究が適切に引用され, 研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
- 4) 研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
- 5) 経済学の当該専門分野に関する深い理解に基づき, 社会で生じる事象や問題を考察・分析したものであること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
ミクロ経済学特講Ⅰ	2		
ミクロ経済学特講Ⅱ			2
マクロ経済学特講Ⅰ	2		
マクロ経済学特講Ⅱ			2
計量経済学特講Ⅰ	2		
計量経済学特講Ⅱ			2
論文演習Ⅰ（基礎）	2		
論文演習Ⅱ（応用）			2
プレゼンテーションの技術Ⅰ			2
プレゼンテーションの技術Ⅱ			2
公共経済学特講Ⅰ			2
公共経済学特講Ⅱ			2
国際貿易論特講Ⅰ			2
国際貿易論特講Ⅱ			2
財政学特講Ⅰ			2
財政学特講Ⅱ			2
産業組織論特講Ⅰ			2
産業組織論特講Ⅱ			2
環境経済学特講Ⅰ			2
環境経済学特講Ⅱ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
金融論特講			4
貨幣とマクロ経済特講Ⅰ			2
貨幣とマクロ経済特講Ⅱ			2
労働経済学特講Ⅰ			2
労働経済学特講Ⅱ			2
統計学特講Ⅰ			2
統計学特講Ⅱ			2
国際経済史特講			2
農業経済学特講			2
金融工学特講Ⅰ			2
金融工学特講Ⅱ			2
厚生経済学特講Ⅰ			2
厚生経済学特講Ⅱ			2
国際マクロ経済学特講Ⅰ			2
国際マクロ経済学特講Ⅱ			2
開発経済学特講Ⅰ			2
開発経済学特講Ⅱ			2
日本経済論特講Ⅰ			2
日本経済論特講Ⅱ			2
(他) カーボンマネジメント論			2
(他) 途上国の環境と開発			2

## 3. 履修上の注意

- 1) 修了要件に必要な必修科目 8 単位を含む 30 単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。
- 2) 同一名の授業科目の単位を重複して取得しても、修了に必要な単位として算入できるのは、1 科目分のみである。
- 3) 「研究指導（必修）」は、毎学期（春・秋）、履修すること。
- 4) 修士論文の履修登録については、論文を提出する学期の履修登録期間に必ず登録をすること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MEEC1010	春	ミクロ経済学特講 I	ECN501	2	青木 研	
MEEC1020	春	マクロ経済学特講 I	ECN502	2	濱野 正樹	
MEEC1030	春	計量経済学特講 I	ECN503	2	竹内 明香	
MEEC7130	春	公共経済学特講 I	ECN710	2	近藤 広紀	
MEEC7150	春	国際貿易論特講 I	ECN712	2	蓬田 守弘	
MEEC7170	春	財政学特講 I	ECN714	2	中里 透	
MEEC7220	春	貨幣とマクロ経済特講 I	ECN717	2	竹田 陽介	
MEEC7240	春	労働経済学特講 I	ECN719	2	出島 敬久	
MEEC7280	春	統計学特講 I	ECN721	2	來島 愛子	
MEEC7390	春	厚生経済学特講 II	ECN726	2	釜賀 浩平	
MEEC7400	春	環境経済学特講 I	ECN727	2	堀江 哲也	
MEEC7460	春	国際経済史特講	ECN733	2	倉田 正充	
MEEC7480	春	開発経済学特講 I	ECN735	2	高橋 和志	
MEEC7500	春	日本経済論特講 I	ECN737	2	南橋 尚明	
MGGE7440	春	カーボンマネジメント論	GES731	2	*糸原 茂人	(他) 地球環境学研究科
P185参照	春	論文演習 I (基礎)	ECN511	2	経済学専攻各指導教員	M1 対象
P185参照	春	プレゼンテーションの技術 I	ECN705	2	経済学専攻各指導教員	M2 対象
MEEC7010	秋	ミクロ経済学特講 II	ECN701	2	釜賀 浩平	
MEEC7020	秋	マクロ経済学特講 II	ECN702	2	中里 透	
MEEC7030	秋	計量経済学特講 II	ECN703	2	竹内 明香	
MEEC7140	秋	公共経済学特講 II	ECN711	2	近藤 広紀	
MEEC7160	秋	国際貿易論特講 II	ECN713	2	蓬田 守弘	
MEEC7190	秋	金融論特講	ECN716	4	川西 論	授業はすべて英語で行う
MEEC7230	秋	貨幣とマクロ経済特講 II	ECN718	2	竹田 陽介	
MEEC7250	秋	労働経済学特講 II	ECN720	2	出島 敬久	
MEEC7370	秋	産業組織論特講 II	ECN724	2	青木 研	
MEEC7410	秋	環境経済学特講 II	ECN728	2	堀江 哲也	
MEEC7440	秋	国際マクロ経済学特講 I	ECN731	2	濱野 正樹	
MEEC7470	秋	農業経済学特講	ECN734	2	倉田 正充	
MEEC7490	秋	開発経済学特講 II	ECN736	2	高橋 和志	
MEEC7510	秋	日本経済論特講 II	ECN738	2	南橋 尚明	
P185参照	秋	論文演習 II (応用)	ECN704	2	経済学専攻各指導教員	M1 対象
P185参照	秋	プレゼンテーションの技術 II	ECN706	2	経済学専攻各指導教員	M2 対象
MEEC9010	秋	修士論文	ECN899	0	経済学専攻各指導教員	
MEEC7180	休講	財政学特講 II	ECN715	2	中里 透	
MEEC7290	休講	統計学特講 II	ECN722	2	來島 愛子	
MEEC7360	休講	産業組織論特講 I	ECN723	2	青木 研	
MEEC7380	休講	厚生経済学特講 I	ECN725	2	釜賀 浩平	
MEEC7420	休講	金融工学特講 I	ECN729	2	竹内 明香	
MEEC7430	休講	金融工学特講 II	ECN730	2	竹内 明香	
MEEC7450	休講	国際マクロ経済学特講 II	ECN732	2	濱野 正樹	
MGGE7200	休講	途上国の環境と開発	GES719	2	(他) プレミアムジョブセット	(他) 地球環境学研究科, 隔年開講

論文演習（Ⅰ・Ⅱ），プレゼンテーションの技術（Ⅰ・Ⅱ） 登録コード一覧

科目名・対象／ 開講期 指導教員	論文演習Ⅰ（基礎） M1／春 登録コード	論文演習Ⅱ（応用） M1／秋 登録コード	プレゼンテーションの技術Ⅰ M2／春 登録コード	プレゼンテーションの技術Ⅱ M2／秋 登録コード
竹田 陽介	MEEC1101	MEEC7701	MEEC7801	MEEC7901
出島 敬久	MEEC1102	MEEC7702	MEEC7802	MEEC7902
青木 研	MEEC1104	MEEC7704	MEEC7804	MEEC7904
中里 透	MEEC1105	MEEC7705	MEEC7805	MEEC7905
川西 諭	MEEC1106	MEEC7706	MEEC7806	MEEC7906
蓬田 守弘	MEEC1107	MEEC7707	MEEC7807	MEEC7907
近藤 広紀	MEEC1108	MEEC7708	MEEC7808	MEEC7908
來島 愛子	MEEC1109（休講）	MEEC7709（休講）	MEEC7809（休講）	MEEC7909（休講）
竹内 明香	MEEC1110	MEEC7710	MEEC7810	MEEC7910
釜賀 浩平	MEEC1112	MEEC7712	MEEC7812	MEEC7912
濱野 正樹	MEEC1113	MEEC7713	MEEC7813	MEEC7913
倉田 正充	MEEC1114	MEEC7714	MEEC7814	MEEC7914
高橋 和志	MEEC1115	MEEC7715	MEEC7815	MEEC7915
堀江 哲也	MEEC1116	MEEC7716	MEEC7816	MEEC7916
南橋 尚明	MEEC1117	MEEC7717	MEEC7817	MEEC7917

5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	備考
下記参照	春	研究指導	ECN888	0	経済学専攻各指導教員	
下記参照	秋	研究指導	ECN888	0	経済学専攻各指導教員	

研究指導 登録コード一覧

開講期 指導教員	春学期	秋学期
出島 敬久	MEEC1511	MEEC1512
竹田 陽介	MEEC1531	MEEC1532
青木 研	MEEC1551	MEEC1552
中里 透	MEEC1561	MEEC1562
川西 諭	MEEC1571	MEEC1572
蓬田 守弘	MEEC1581	MEEC1582
近藤 広紀	MEEC1591	MEEC1592
來島 愛子	MEEC1601（休講）	MEEC1602（休講）
竹内 明香	MEEC1611	MEEC1612
釜賀 浩平	MEEC1631	MEEC1632
濱野 正樹	MEEC1641	MEEC1642
高橋 和志	MEEC1651	MEEC1652
堀江 哲也	MEEC1661	MEEC1662
南橋 尚明	MEEC1671	MEEC1672

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導 (必修)			【10年次生以前】単位なし, 修業年限3年を満たすまでは, 毎学期履修すること 【11年次生以降】単位なし, 修業年数にかかわらず, 在学中は毎学期履修すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

- 1) 学術性の高い研究課題が設定されていること。
- 2) 研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
- 3) 先行研究が適切に引用され, 研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
- 4) 研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
- 5) 経済学の当該専門分野において, 独自の学術的貢献を有する研究内容であること。
- 6) 執筆者が自立的研究者としての研究遂行能力を有することを証するものであること。

2. 履修上の注意

指導教員の研究指導を受け, 博士論文を作成・提出することが必要である。

研究指導について

【10年次生以前】修業年限3年を満たすまでは毎学期(春・秋)履修登録すること。なお2010年度以前開講の研究指導については, 毎年(通年)履修登録すること。

【11年次生以降】在学期間中は研究指導を毎学期(春・秋)履修登録すること。

## 3. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	備考
下記参照	春	研究指導	ECN988	0	経済学専攻各指導教員	
下記参照	秋	研究指導	ECN988	0	経済学専攻各指導教員	

## 研究指導 登録コード一覧

指導教員	開講期	春学期	秋学期
出島 敬久		DEEC3011	DEEC3012
青木 研		DEEC3021	DEEC3022
川西 諭		DEEC3041	DEEC3042
近藤 広紀		DEEC3051	DEEC3052
來島 愛子		DEEC3061 (休講)	DEEC3062 (休講)
中里 透		DEEC3071	DEEC3072
竹田 陽介		DEEC3081	DEEC3082
蓬田 守弘		DEEC3101	DEEC3102
竹内 明香		DEEC3111	DEEC3112
釜賀 浩平		DEEC3131	DEEC3132
濱野 正樹		DEEC3141	DEEC3142
高橋 和志		DEEC3151	DEEC3152
堀江 哲也		DEEC3161	DEEC3162
南橋 尚明		DEEC3171	DEEC3172

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶ 必修科目			
└ 論文演習 I	2		
▶ 選択科目	28		
└ 自専攻科目			
└ 自研究科他専攻科目			
└ 委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし, 每学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【修士論文審査基準】

- 1) 指導・審査グループと協議の上, 研究課題が明確に設定されていること。
- 2) 研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
- 3) 先行研究が適切に引用され, 研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
- 4) 研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
- 5) 経営学の当該専門分野に関する深い理解に基づき, 社会で生じる事象や問題を考慮・分析したものであること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ	2		
論文演習Ⅱ			2
論文演習Ⅲ			2
論文演習Ⅳ			2
財務会計論特講Ⅰ			2
財務会計論特講Ⅱ			2
財務会計論研究Ⅰ			2
財務会計論研究Ⅱ			2
会計学特講Ⅰ			2
会計学研究Ⅰ			2
環境会計論特講			2
環境会計論研究			2
管理会計論特講Ⅰ			2
管理会計論特講Ⅱ			2
管理会計論研究Ⅰ			2
管理会計論研究Ⅱ			2
経営財務論特講Ⅰ			2
経営財務論特講Ⅱ			2
経営財務論研究Ⅰ			2
経営財務論研究Ⅱ			2
経営管理論特講Ⅰ			2
経営管理論特講Ⅱ			2
経営管理論研究Ⅰ			2
経営管理論研究Ⅱ			2
経営戦略論特講Ⅰ			2
経営戦略論特講Ⅱ			2
経営戦略論研究Ⅰ			2
経営戦略論研究Ⅱ			2
人事管理論特講Ⅰ			2
人事管理論特講Ⅱ			2
人事管理論研究Ⅰ			2
人事管理論研究Ⅱ			2
経営組織論特講Ⅰ			2
経営組織論特講Ⅱ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
経営組織論研究Ⅰ			2
経営組織論研究Ⅱ			2
マーケティング戦略論特講Ⅰ			2
マーケティング戦略論特講Ⅱ			2
マーケティング戦略論研究Ⅰ			2
マーケティング戦略論研究Ⅱ			2
経済・経営倫理特講Ⅰ			2
経済・経営倫理特講Ⅱ			2
経済・経営倫理研究Ⅰ			2
経済・経営倫理研究Ⅱ			2
国際経営論特講Ⅰ			2
国際経営論特講Ⅱ			2
国際経営論研究Ⅰ			2
国際経営論研究Ⅱ			2
経営科学特講Ⅰ			2
経営科学特講Ⅱ			2
経営科学研究Ⅰ			2
経営科学研究Ⅱ			2
消費者行動論特講Ⅰ			2
消費者行動論特講Ⅱ			2
消費者行動論研究Ⅰ			2
消費者行動論研究Ⅱ			2
インターネット・マーケティング特講Ⅰ			2
インターネット・マーケティング特講Ⅱ			2
インターネット・マーケティング研究Ⅰ			2
インターネット・マーケティング研究Ⅱ			2
製品開発論特講Ⅰ			2
製品開発論特講Ⅱ			2
製品開発論研究Ⅰ			2
製品開発論研究Ⅱ			2
(他) カーボンマネジメント論			2

## 3. 履修上の注意

- 1) 修了要件に必要な30単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。
- 2) 同一名の授業科目の単位を重複して取得しても、修了に必要な単位として算入できるのは、1科目分のみである。
- 3) 各教員が特講と研究を開講しているが、研究は特講を修得した者が履修できることとする。
- 4) 研究指導については、毎学期、履修すること。

## 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
P191参照	春	論文演習Ⅰ	MMI501	2	経営学専攻各指導教員	M1対象
P191参照	秋	論文演習Ⅱ	MMI502	2	経営学専攻各指導教員	M1対象
P191参照	春	論文演習Ⅲ	MMI601	2	経営学専攻各指導教員	M2対象
P191参照	秋	論文演習Ⅳ	MMI602	2	経営学専攻各指導教員	M2対象
MEMG7010	春	財務会計論特講Ⅰ	MAC515	2	西澤 茂	「財務会計論研究Ⅰ」と合併
MEMG7030	春	財務会計論研究Ⅰ	MAC615	2	西澤 茂	M2対象, 「財務会計論特講Ⅰ」と合併
MEMG7050	春	会計学特講Ⅰ	MAC511	2	上妻 義直	「会計学研究Ⅰ」と合併
MEMG7070	春	会計学研究Ⅰ	MAC611	2	上妻 義直	M2対象, 「会計学特講Ⅰ」と合併
MEMG7370	休講	経済・経営倫理特講Ⅰ	MMN521	2	(他)ブナカワ ジョジョ	「経済・経営倫理研究Ⅰ」と合併, 隔年開講
MEMG7390	休講	経済・経営倫理研究Ⅰ	MMN621	2	(他)ブナカワ ジョジョ	M2対象, 「経済・経営倫理特講Ⅰ」と合併, 隔年開講
MEMG7170	春	経営財務論特講Ⅰ	MMN515	2	石井 昌宏	「経営財務論研究Ⅰ」と合併
MEMG7190	春	経営財務論研究Ⅰ	MMN615	2	石井 昌宏	M2対象, 「経営財務論特講Ⅰ」と合併
MEMG7210	春	経営管理論特講Ⅰ	MMN513	2	山田 幸三	「経営管理論研究Ⅰ」と合併
MEMG7230	春	経営管理論研究Ⅰ	MMN613	2	山田 幸三	M2対象, 「経営管理論特講Ⅰ」と合併
MEMG7290	春	人事管理論特講Ⅰ	MMN525	2	細萱 伸子	「人事管理論研究Ⅰ」と合併
MEMG7310	春	人事管理論研究Ⅰ	MMN625	2	細萱 伸子	M2対象, 「人事管理論特講Ⅰ」と合併
MEMG7410	休講	国際経営論特講Ⅰ	MMN523	2	竹之内 秀行	「国際経営論研究Ⅰ」と合併
MEMG7430	休講	国際経営論研究Ⅰ	MMN623	2	竹之内 秀行	M2対象, 「国際経営論特講Ⅰ」と合併
MEMG7450	休講	経営科学特講Ⅰ	MMN511	2	荒木 勉	「経営科学研究Ⅰ」と合併
MEMG7470	休講	経営科学研究Ⅰ	MMN611	2	荒木 勉	M2対象, 「経営科学特講Ⅰ」と合併
MEMG7530	春	消費者行動論特講Ⅰ	MMR513	2	杉本 徹雄	「消費者行動論研究Ⅰ」と合併
MEMG7550	春	消費者行動論研究Ⅰ	MMR613	2	杉本 徹雄	M2対象, 「消費者行動論特講Ⅰ」と合併
MEMG7610	春	マーケティング戦略論特講Ⅰ	MMR515	2	杉谷 陽子	「マーケティング戦略論研究Ⅰ」と合併
MEMG7630	春	マーケティング戦略論研究Ⅰ	MMR615	2	杉谷 陽子	M2対象, 「マーケティング戦略論特講Ⅰ」と合併
MEMG7690	春	インターネット・マーケティング特講Ⅰ	MMR511	2	新井 範子	「インターネット・マーケティング研究Ⅰ」と合併
MEMG7710	春	インターネット・マーケティング研究Ⅰ	MMR611	2	新井 範子	M2対象, 「インターネット・マーケティング特講Ⅰ」と合併
MEMG7740	春	製品開発論特講Ⅰ	MMN527	2	小阪 玄次郎	「製品開発論研究Ⅰ」と合併
MEMG7760	春	製品開発論研究Ⅰ	MMN627	2	小阪 玄次郎	M2対象, 「製品開発論特講Ⅰ」と合併
MGGE7440	春	カーボンマネジメント論	GES731	2	*糸原 茂人	(他)地球環境学研究科
MEMG7250	春	経営戦略論特講Ⅰ	MMN517	2	網倉 久永	「経営戦略論研究Ⅰ」と合併
MEMG7270	春	経営戦略論研究Ⅰ	MMN617	2	網倉 久永	M2対象, 「経営戦略論特講Ⅰ」と合併
MEMG7090	春	管理会計論特講Ⅰ	MAC513	2	王 志	「管理会計論研究Ⅰ」と合併
MEMG7110	春	管理会計論研究Ⅰ	MAC613	2	王 志	M2対象, 「管理会計論特講Ⅰ」と合併
MEMG7020	秋	財務会計論特講Ⅱ	MAC516	2	西澤 茂	「財務会計論研究Ⅱ」と合併
MEMG7040	秋	財務会計論研究Ⅱ	MAC616	2	西澤 茂	M2対象, 「財務会計論特講Ⅱ」と合併
MEMG7060	秋	環境会計論特講	MAC512	2	上妻 義直	「環境会計論研究」と合併
MEMG7080	秋	環境会計論研究	MAC612	2	上妻 義直	M2対象, 「環境会計論特講」と合併
MEMG7180	秋	経営財務論特講Ⅱ	MMN516	2	石井 昌宏	「経営財務論研究Ⅱ」と合併
MEMG7200	秋	経営財務論研究Ⅱ	MMN616	2	石井 昌宏	M2対象, 「経営財務論特講Ⅱ」と合併
MEMG7220	秋	経営管理論特講Ⅱ	MMN514	2	山田 幸三	「経営管理論研究Ⅱ」と合併
MEMG7240	秋	経営管理論研究Ⅱ	MMN614	2	山田 幸三	M2対象, 「経営管理論特講Ⅱ」と合併
MEMG7300	秋	人事管理論特講Ⅱ	MMN526	2	細萱 伸子	「人事管理論研究Ⅱ」と合併
MEMG7320	秋	人事管理論研究Ⅱ	MMN626	2	細萱 伸子	M2対象, 「人事管理論特講Ⅱ」と合併
MEMG7340	秋	経営組織論特講Ⅱ	MMN520	2	小林 順治	「経営組織論研究Ⅱ」と合併

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MEMG7360	秋	経営組織論研究Ⅱ	MMN620	2	小林 順 治	M2対象, 「経営組織論特講Ⅱ」と合併
MEMG7460	休講	経営科学特講Ⅱ	MMN512	2	荒木 勉	「経営科学研究Ⅱ」と合併
MEMG7480	休講	経営科学研究Ⅱ	MMN612	2	荒木 勉	M2対象, 「経営科学特講Ⅱ」と合併
MEMG7540	秋	消費者行動論特講Ⅱ	MMR514	2	杉本 徹 雄	「消費者行動論研究Ⅱ」と合併
MEMG7560	秋	消費者行動論研究Ⅱ	MMR614	2	杉本 徹 雄	M2対象, 「消費者行動論特講Ⅱ」と合併
MEMG7620	休講	マーケティング戦略論特講Ⅱ	MMR516	2	杉谷 陽 子	「マーケティング戦略論研究Ⅱ」と合併
MEMG7640	休講	マーケティング戦略論研究Ⅱ	MMR616	2	杉谷 陽 子	M2対象, 「マーケティング戦略論特講Ⅱ」と合併
MEMG7700	秋	インターネット・マーケティング特講Ⅱ	MMR512	2	新井 範 子	「インターネット・マーケティング研究Ⅱ」と合併
MEMG7720	秋	インターネット・マーケティング研究Ⅱ	MMR612	2	新井 範 子	M2対象, 「インターネット・マーケティング特講Ⅱ」と合併
MEMG7750	秋	製品開発論特講Ⅱ	MMN528	2	小 阪 玄次郎	「製品開発論研究Ⅱ」と合併
MEMG7770	秋	製品開発論研究Ⅱ	MMN628	2	小 阪 玄次郎	M2対象, 「製品開発論特講Ⅱ」と合併
MEMG9010	秋	修士論文	MMI899	0	経営学専攻各指導教員	
MEMG7330	休講	経営組織論特講Ⅰ	MMN519	2	小林 順 治	「経営組織論研究Ⅰ」と合併
MEMG7350	休講	経営組織論研究Ⅰ	MMN619	2	小林 順 治	M2対象, 「経営組織論特講Ⅰ」と合併
MEMG7380	休講	経済・経営倫理特講Ⅱ	MMN522	2	(他)ブレイク ジョブ	「経済・経営倫理研究Ⅱ」と合併, 隔年開講
MEMG7400	休講	経済・経営倫理研究Ⅱ	MMN622	2	(他)ブレイク ジョブ	M2対象, 「経済・経営倫理特講Ⅱ」と合併, 隔年開講
MEMG7100	秋	管理会計論特講Ⅱ	MAC514	2	王 志	「管理会計論研究Ⅱ」と合併
MEMG7120	秋	管理会計論研究Ⅱ	MAC614	2	王 志	M2対象, 「管理会計論特講Ⅱ」と合併
MEMG7420	秋	国際経営論特講Ⅱ	MMN524	2	竹之内 秀 行	「国際経営論研究Ⅱ」と合併
MEMG7440	秋	国際経営論研究Ⅱ	MMN624	2	竹之内 秀 行	M2対象, 「国際経営論特講Ⅱ」と合併
MEMG7260	秋	経営戦略論特講Ⅱ	MMN518	2	網 倉 久 永	「経営戦略論研究Ⅱ」と合併
MEMG7280	秋	経営戦略論研究Ⅱ	MMN618	2	網 倉 久 永	M2対象, 「経営戦略論特講Ⅱ」と合併

## 論文演習 (Ⅰ～Ⅳ) 登録コード一覧

科目名・対象/ 開講期 指導教員	論文演習Ⅰ M1/春	論文演習Ⅱ M1/秋	論文演習Ⅲ M2/春	論文演習Ⅳ M2/秋
	登録コード	登録コード	登録コード	登録コード
網 倉 久 永	MEMG1100	MEMG7850	MEMG7890	MEMG7930
新 井 範 子	MEMG1101	MEMG7851	MEMG7891	MEMG7931
細 萱 伸 子	MEMG1103	MEMG7853	MEMG7893	MEMG7933
石 井 昌 宏	MEMG1104	MEMG7854	MEMG7894	MEMG7934
西 澤 茂	MEMG1108	MEMG7858	MEMG7898	MEMG7938
杉 本 徹 雄	MEMG1109	MEMG7859	MEMG7899	MEMG7939
杉 谷 陽 子	MEMG1110	MEMG7860(休講)	MEMG7900	MEMG7940(休講)
竹之内 秀行	MEMG1111(休講)	MEMG7861	MEMG7901(休講)	MEMG7941
山 田 幸 三	MEMG1112	MEMG7862	MEMG7902	MEMG7942
小 阪 玄 次 郎	MEMG1113	MEMG7863	MEMG7903	MEMG7943
王 志	MEMG1114	MEMG7864	MEMG7904	MEMG7944

## 5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
下記参照	春	研究指導	MMI888	経営学専攻各指導教員	
下記参照	秋	研究指導	MMI888	経営学専攻各指導教員	

### 研究指導 登録コード一覧

指導教員 \ 開講期	春学期	秋学期
網倉久永	MEMG1211	MEMG1212
新井範子	MEMG1221	MEMG1222
細萱伸子	MEMG1241	MEMG1242
石井昌宏	MEMG1251	MEMG1252
西澤茂	MEMG1291	MEMG1292
杉本徹雄	MEMG1301	MEMG1302
杉谷陽子	MEMG1311	MEMG1312(休講)
竹之内秀行	MEMG1321	MEMG1322
山田幸三	MEMG1331	MEMG1332
小阪玄次郎	MEMG1341	MEMG1342
王 志	MEMG1351	MEMG1352

## 経営学専攻 博士後期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導 (必修)			【10年次生以前】単位なし, 修業年限3年を満たすまでは, 毎学期履修すること 【11年次生以降】単位なし, 修業年限にかかわらず, 在学中は毎学期履修すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

#### 【博士論文審査基準】

- 1) 学術性の高い研究課題が設定されていること。
- 2) 研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
- 3) 先行研究が適切に引用され, 研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
- 4) 研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
- 5) 経営学の当該専門分野において, 独自の学術的貢献を有する研究内容であること。
- 6) 執筆者が自立的研究者としての研究遂行能力を有することを証するものであること。

### 2. 履修上の注意

指導教員の研究指導を受け, 博士論文を作成・提出することが必要である。

研究指導について

【10年次生以前】修業年限3年を満たすまでは毎学期(春・秋)履修登録すること。なお2010年度以前開講の研究指導については, 毎年(通年)履修登録すること。

【11年次生以降】在学期間中は研究指導を毎学期(春・秋)履修登録すること。

### 3. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	備考
下記参照	春	研究指導	MMI988	0	経営学専攻各指導教員	
下記参照	秋	研究指導	MMI988	0	経営学専攻各指導教員	

#### 研究指導 登録コード一覧

指導教員	開講期	春学期	秋学期
網倉 久永		DEMG3011	DEMG3012
新井 範子		DEMG3021	DEMG3022
細萱 伸子		DEMG3041	DEMG3042
石井 昌宏		DEMG3051	DEMG3052
西澤 茂		DEMG3091	DEMG3092
杉本 徹雄		DEMG3101	DEMG3102
杉谷 陽子		DEMG3111	DEMG3112(休講)
竹之内 秀行		DEMG3121	DEMG3122
山田 幸三		DEMG3131	DEMG3132
小阪 玄次郎		DEMG3141	DEMG3142
王 志		DEMG3151	DEMG3152

# 言語科学研究科

## 1. 言語科学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

理論言語学、個別言語学、及び応用言語学に関して国際的視野で独創的研究を行える研究者を養成する。また、言語聴覚障害学の基礎および臨床における研究者を養成し、さらに、英語による授業を通じて、英語教育に携わる教師を養成する。理論と実践が伴った国内外で活躍できる日本語教師も養成する。

## 2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

### 言語学専攻

#### 【博士前期課程】

4つの専門領域（一般言語学、言語聴覚研究、英語教授法、日本語教育学）で、各々に独自のカリキュラムを編成しています。領域により必修や選択必修科目の履修は異なりますが、共通で履修することができる科目も多くあります。いずれの領域でも2年次前半で修士論文計画を提出し、論文作成に着手することになります。

#### 【博士後期課程】

本課程では、主として指導教員から研究指導を受けることになります。必修科目や定められた履修単位数はありませんが、言語学専攻で開講されている科目を登録履修することができます。

## 3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

### 言語学専攻

#### 【博士前期課程】

言語学の幅広い分野から自らの専門領域を確立させ、専門性を活かして社会に貢献することのできる学生を養成することを目指します。初年度より各々の分野で所定の科目履修をすることにより、言語研究の現状と方法論を学びます。2年次には関連科目の履修で知識を広め、修士論文を計画し、完成させます。この過程を経て、学究的な思考方法を学び、論文にまとめる能力を身につけます。

#### 【博士後期課程】

指導教員の助言を受けながら学位論文を完成させます。博士前期課程で身につけた専門領域での方法論と知識をもとに、オリジナリティのある研究を計画し、論文にまとめます。論文完成時には、独力で高度の研究能力を遂行することができる学究的能力を身につけていることになります。

## 言語学専攻 博士前期課程

## 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

## 【16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶選択必修科目	8		
└統辞論基礎	4		
└音声学・音韻論基礎	4		
▶選択科目	22		
└意味論基礎			選択科目だが, 理論言語学を専攻する者は必ず履修すること
└自専攻自コース科目			
└自専攻他コース科目			
研究指導(必修)			単位なし, 2年次以降に毎学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

## 【15年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶選択必修科目	12		
└統辞論基礎	4		
└音声学・音韻論基礎	4		
└意味論基礎	4		
▶選択科目	18		
└自専攻自コース科目			
└自専攻他コース科目			
研究指導(必修)			単位なし, 2年次以降に毎学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

## 【修士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が言語研究に寄与し, 独創性を有すること。
- 2) 研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
- 3) 先行研究を踏まえ, 十分な論証がなされていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;一般言語学&gt;</b>			
統辞論基礎		4	
音声学・音韻論基礎		4	
意味論基礎			4
理論言語学A-1			2
理論言語学A-2			2
理論言語学B			4
理論言語学C			4
実験音声学特講・演習Ⅰ-A			2
実験音声学特講・演習Ⅰ-B			2
実験音声学特講・演習Ⅱ-A			2
実験音声学特講・演習Ⅱ-B			2
文法理論			4
意味論1			2
意味論2			2
Psycholinguistics ※注1			4
コーパス言語学1			2
コーパス言語学2			2
Sociolinguistics ※注1			4
日本語言語学A (現代日本語構造論)			4
日本語言語学B (日本語学特講)			4
言語学特殊講義A (GB概説)			4
言語学特殊講義B-1 (音韻論と言語障害)			2
言語学特殊講義B-2 (音韻論と言語障害)			2
言語学特殊講義C (生物言語学の展開)			4
現代言語学諸問題A (音韻論)			4
現代言語学諸問題B (文法理論)			4
現代言語学諸問題C (日本語言語学)			4
現代言語学諸問題D (意味論)			4
<b>&lt;応用言語学&gt;</b>			
実験統計法1			2
実験統計法2			2
Second Language Acquisition (English) ※注1			4
言語テスト1			2
言語テスト2			2
TEFL Methodology ※注1			4
Applied Linguistics (Focus on Form) ※注1			4
Bilingual Education ※注1			4
フランス語教授法1			2
フランス語教授法2			2
Semantics and Vocabulary Learning ※注1			2
Affective Factors in TESOL ※注1			2
Sociocultural Theory & SLA ※注1			2
Qualitative Research Methods ※注1			2
Language and Power ※注1			2
World Englishes ※注1			4

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
外国語教育評価入門			2
Thesis Writing ※注1			2
Classroom Discourse ※注1			2
Intercultural Interaction ※注1			2
Analyzing Spoken Data ※注1			2
<b>&lt;個別外国語研究&gt;</b>			
ドイツ語意味論1			2
ドイツ語意味論2			2
ドイツ語統語論1			2
ドイツ語統語論2			2
ドイツ語文体論1			2
ドイツ語文体論2			2
ドイツ語音韻論1			2
ドイツ語音韻論2			2
ドイツ語教育1			2
ドイツ語教育2			2
フランス語文法論1			2
フランス語文法論2			2
フランス語文体論1			2
フランス語文体論2			2
フランス語：文体から意味へ1			2
フランス語：文体から意味へ2			2
フランス語通訳論1			2
フランス語通訳論2			2
イスパニア語史1			2
イスパニア語史2			2
イスパニア語文法論1			2
イスパニア語文法論2			2
イスパニア語のバリエーション1 (言語データ処理の技法)			2
イスパニア語のバリエーション2 (言語データ処理の技法)			2
イスパニア語研究1			2
イスパニア語研究2			2
イスパニア語応用言語学1			2
イスパニア語応用言語学2			2
ロシア語史1			2
ロシア語史2			2
ロシア語文法論1			2
ロシア語文法論2			2
ロシア語翻訳論1			2
ロシア語翻訳論2			2
ロシア語文体論1			2
ロシア語文体論2			2
ロシア語統語論1			2
ロシア語統語論2			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ポルトガル語の拡がりと変異1			2
ポルトガル語の拡がりと変異2			2
ポルトガル語文法論1			2
ポルトガル語文法論2			2
ポルトガル語比較文体論1			2
ポルトガル語比較文体論2			2
ポルトガル語翻訳論1			2
ポルトガル語翻訳論2			2
ポルトガル語史1			2

※注1：英語教授法コース（TESOL）開講科目。

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ポルトガル語史2			2
日本語研究A-1			2
日本語研究A-2			2
<b>&lt;個別言語学特殊講義&gt;</b>			
音韻論特講1			2
音韻論特講2			2
文法理論演習			4
意味論演習			4

### 3. 履修上の注意

- 15年次生以前：選択必修の3科目を含め、30単位以上を履修すること。選択必修科目（「統辞論基礎」「意味論基礎」「音声学・音韻論基礎」）は、修了要件上の必修科目であり、入学1年次に履修することが望ましい。
- 16年次生：選択必修の2科目を含め、30単位以上を履修すること。選択必修科目（「統辞論基礎」「音声学・音韻論基礎」）は、修了要件上の必修科目であり、入学1年次に履修することが望ましい。また、「意味論基礎」は選択科目であるが、理論言語学を専攻する者は必ず履修すること。
- 1年次終了までに指導教員を決め、履修計画および修士論文の作成に対する指導を受けること。
- 2年次春学期に「修士論文計画案」を提出し、論文審査委員（主査1名、副査2名以上）による面接を受けること。その結果を受けて、論文の作成にかかり、所定の期限に提出後、学位論文審査を受けること。

### ■学部開講関連科目一覧（参考）

授業科目名	担当者 *：非常勤教員	開講学科等
言語処理入門	RUIZ TINOCO Antonio	外国語学部
休 日本語史1	本 橋 辰 至	外国語学部
休 日本語史2	本 橋 辰 至	外国語学部
言語学特殊講義1（ロマンス語研究）	* 小 川 定 義	外国語学部
言語学特殊講義2（ロマンス語研究）	* 小 川 定 義	外国語学部
休 ヨーロッパの社会と言語A	木村 護郎クリストフ	外国語学部
ヨーロッパの社会と言語B	* 石 部 尚 登	外国語学部
ヨーロッパ言語社会論	木村 護郎クリストフ	外国語学部
フランス語圏の社会と言語	* 古 石 篤 子	外国語学部

※科目の詳細（開講期、曜日、時限等）については、学部のLoyolaの「時間割表」および「履修要覧」で確認すること。

※上記の科目は、履修することは可能だが、修了要件に算入することは出来ない。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MFLG6040	春	統辞論基礎	LNG503	4	福井直樹	前期課程対象
MFLG6030	春	音声学・音韻論基礎	LNG502	4	新倉真矢子	前期課程対象
MFLG7040	春	実験音声学特講・演習Ⅰ-A	LNG704	2	*田嶋圭一	
MFLG7060	春	実験音声学特講・演習Ⅱ-A	LNG706	2	*藤本雅子	
MFLG7080	春	文法理論	LNG708	4	福井直樹	
MFLG7100	春	コーパス言語学1	LNG709	2	RUIZ TINOCO Antonio	
MFLG7120	春	日本語言語学A (現代日本語構造論)	LNG711	4	加藤孝臣	
MFLG7140	春	言語学特殊講義A (GB概説)	LNG713	4	*石井透	旧「言語学特殊講義A(GB概論)」
MFLG7170	春	言語学特殊講義B-1 (音韻論と言語障害)	LNG715	2	*都田青子	前期課程対象
MFLG7190	春	意味論1	LNG717	2	*中村嗣郎	隔年開講
MFLG7270	春	実験統計法1	LNG724	2	渡部良典	
MFLG7320	春	フランス語教授法1	LGF701	2	原田早苗	隔年開講, 授業はすべてフランス語で行う
MFLG7420	春	ドイツ語意味論1	LGG701	2	高橋由美子	授業はすべてドイツ語で行う
MFLG7440	春	ドイツ語統語論1	LGG711	2	高橋亮介	
MFLG7500	春	フランス語文法論1	LGF711	2	TUCHAIS Simon	隔年開講, 授業はすべてフランス語で行う
MFLG7520	春	フランス語文体論1	LGF721	2	COUCHOT Hervé	隔年開講, 授業はすべてフランス語で行う
MFLG7560	春	イスパニア語史1	LGS701	2	AMAT Edelmira	隔年開講, 授業はすべてイスパニア語で行う
MFLG7580	春	イスパニア語文法論1	LGS711	2	RUIZ TINOCO Antonio	前期課程対象, 授業はすべてイスパニア語で行う
MFLG7620	春	イスパニア語研究1	LGS731	2	西村君代	隔年開講
MFLG7640	春	イスパニア語応用言語学1	LGS741	2	*上田博人	隔年開講
MFLG7700	春	ロシア語翻訳論1	LGR721	2	LATYSHEVA Svetlana	隔年開講, 授業はすべてロシア語で行う
MFLG7720	春	ロシア語統語論1	LGR731	2	秋山真一	隔年開講
MFLG7780	春	ポルトガル語翻訳論1	LGP711	2	TOIDA Helena	
MFLG7791	春	ポルトガル語史1	LGP721	2	*黒澤直俊	
MFLG7800	春	ポルトガル語文法論1	LGP731	2	市之瀬敦	隔年開講
MFLG7900	春	音韻論特講1	LNG731	2	新倉真矢子	
MFLG9311	春	修士論文	LNG899	0	言語学専攻各指導教員	M2対象(注1)
MFLG6020	秋	意味論基礎	LNG501	4	加藤孝臣	前期課程対象(注2)
MFLG7050	秋	実験音声学特講・演習Ⅰ-B	LNG705	2	*田嶋圭一	
MFLG7070	秋	実験音声学特講・演習Ⅱ-B	LNG707	2	*藤本雅子	
MFLG7110	秋	コーパス言語学2	LNG710	2	RUIZ TINOCO Antonio	
MFLG7180	秋	言語学特殊講義B-2 (音韻論と言語障害)	LNG716	2	*都田青子	前期課程対象
MFLG7200	秋	意味論2	LNG718	2	*中村嗣郎	隔年開講
MFLG7210	秋	現代言語学諸問題A (音韻論)	LNG719	4	北原真冬	
MFLG7280	秋	実験統計法2	LNG725	2	渡部良典	
MFLG7330	秋	フランス語教授法2	LGF702	2	原田早苗	隔年開講, 授業はすべてフランス語で行う
MFLG7430	秋	ドイツ語意味論2	LGG702	2	高橋由美子	授業はすべてドイツ語で行う
MFLG7480	秋	ドイツ語音韻論1	LGG731	2	新倉真矢子	
MFLG7490	秋	ドイツ語音韻論2	LGG732	2	新倉真矢子	
MFLG7492	秋	ドイツ語教育2	LGG742	2	LIPSKY Angela	授業はすべてドイツ語で行う
MFLG7510	秋	フランス語文法論2	LGF712	2	TUCHAIS Simon	隔年開講, 授業はすべてフランス語で行う
MFLG7530	秋	フランス語文体論2	LGF722	2	COUCHOT Hervé	隔年開講, 授業はすべてフランス語で行う
MFLG7570	秋	イスパニア語史2	LGS702	2	AMAT Edelmira	隔年開講, 授業はすべてイスパニア語で行う
MFLG7590	秋	イスパニア語文法論2	LGS712	2	RUIZ TINOCO Antonio	前期課程対象, 授業はすべてイスパニア語で行う
MFLG7630	秋	イスパニア語研究2	LGS732	2	西村君代	隔年開講

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MFLG7650	秋	イスパニア語応用言語学2	LGS742	2	*上田 博人	隔年開講
MFLG7710	秋	ロシア語翻訳論2	LGR722	2	LATYSHEVA Svetlana	隔年開講
MFLG7730	秋	ロシア語統語論2	LGR732	2	秋山 真一	隔年開講
MFLG7790	秋	ポルトガル語翻訳論2	LGP712	2	TOIDA Helena	
MFLG7810	秋	ポルトガル語文法論2	LGP732	2	市之瀬 敦	隔年開講
MFLG7910	秋	音韻論特講2	LNG732	2	新倉 真矢子	
MFLG9310	秋	修士論文	LNG899	0	言語学専攻各指導教員	M2対象
MFLG7010	休講	理論言語学A-1	LNG701	2		旧「理論言語学A」
MFLG7020	休講	理論言語学A-2	LNG702	2		旧「理論言語学A」
MFLG7310	休講	理論言語学B	LNG728	4		旧「理論言語学B-1」「理論言語学B-2」
MFLG7030	休講	理論言語学C	LNG703	4		
MFLG7130	休講	日本語言語学B（日本語学特講）	LNG712	4		隔年開講
MFLG7150	休講	言語学特殊講義C （生物言語学の展開）	LNG714	4		隔年開講
MFLG7220	休講	現代言語学諸問題B（文法理論）	LNG720	4		
MFLG7230	休講	現代言語学諸問題C（日本語言語学）	LNG721	4		
MFLG7240	休講	現代言語学諸問題D（意味論）	LNG722	4		
MFLG7260	休講	外国語教育評価入門	LNG723	2		隔年開講
MFLG7290	休講	言語テスト1	LNG726	2		授業はすべて英語で行う
MFLG7300	休講	言語テスト2	LNG727	2		授業はすべて英語で行う
MFLG7450	休講	ドイツ語統語論2	LGG712	2		
MFLG7460	休講	ドイツ語文体論1	LGG721	2		授業はすべてドイツ語で行う
MFLG7470	休講	ドイツ語文体論2	LGG722	2		授業はすべてドイツ語で行う
MFLG7491	休講	ドイツ語教育1	LGG741	2		授業はすべてドイツ語で行う
MFLG7531	休講	フランス語：文体から意味へ1	LGF731	2		隔年開講
MFLG7532	休講	フランス語：文体から意味へ2	LGF732	2		隔年開講
MFLG7542	休講	フランス語通訳論1	LGF741	2		隔年開講
MFLG7543	休講	フランス語通訳論2	LGF742	2		隔年開講
MFLG7600	休講	イスパニア語のバリエーション1 （言語データ処理の技法）	LGS721	2		隔年開講，旧「イスパニア語のバリエーション1」
MFLG7610	休講	イスパニア語のバリエーション2 （言語データ処理の技法）	LGS722	2		隔年開講，旧「イスパニア語のバリエーション2」
MFLG7660	休講	ロシア語史1	LGR701	2		隔年開講
MFLG7670	休講	ロシア語史2	LGR702	2		隔年開講
MFLG7680	休講	ロシア語文法論1	LGR711	2		隔年開講
MFLG7690	休講	ロシア語文法論2	LGR712	2		隔年開講
MFLG7740	休講	ロシア語文体論1	LGR741	2		前期課程対象，隔年開講
MFLG7750	休講	ロシア語文体論2	LGR742	2		前期課程対象，隔年開講
MFLG7760	休講	ポルトガル語の拡がりと変異1	LGP701	2		前期課程対象，隔年開講
MFLG7770	休講	ポルトガル語の拡がりと変異2	LGP702	2		前期課程対象，隔年開講
MFLG7792	休講	ポルトガル語史2	LGP722	2		
MFLG7820	休講	ポルトガル語比較文体論1	LGP741	2		隔年開講，授業はすべてポルトガル語で行う
MFLG7830	休講	ポルトガル語比較文体論2	LGP742	2		隔年開講，授業はすべてポルトガル語で行う
MFLG7860	休講	日本語研究A-1	LNG729	2		
MFLG7870	休講	日本語研究A-2	LNG730	2		
MFLG7934	休講	意味論演習	LNG733	4		前期課程対象，旧「意味論演習1」「同2」
MFLG7940	休講	文法理論演習	LNG734	4		

注1：Loyolaで登録することはできないので，登録に際しては学事センターで手続きすること。

注2：履修に際しては，P.199の「3. 履修上の注意」の1）を参照すること。

## 5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
MFLG1011	春	研究指導	LNG888	吉田 研作	
MFLG1031	春	研究指導	LNG888	高橋 由美子	
MFLG1061	春	研究指導	LNG888	BRITTO Francis	
MFLG1091	春	研究指導	LNG888	RUIZ TINOCO Antonio	
MFLG1101	春	研究指導	LNG888	福井 直樹	
MFLG1121	春	研究指導	LNG888	渡部 良典	
MFLG1131	春	研究指導	LNG888	井上 幸義	
MFLG1141	春	研究指導	LNG888	市之瀬 敦	
MFLG1151	春	研究指導	LNG888	原田 早苗	
MFLG1161	春	研究指導	LNG888	和泉 伸一	
MFLG1171	春	研究指導	LNG888	小柳 かおる	
MFLG1181	春	研究指導	LNG888	本橋 辰至	
MFLG1191	春	研究指導	LNG888	NEVES Mauro	
MFLG1211	春	研究指導	LNG888	新倉 真矢子	
MFLG1221	春	研究指導	LNG888	西村 君代	
MFLG1231	春	研究指導	LNG888	坂本 光代	
MFLG1241	春	研究指導	LNG888	清水 崇文	
MFLG1261	春	研究指導	LNG888	TOIDA Helena	
MFLG1271	春	研究指導	LNG888	村田 真一	
MFLG1281	春	研究指導	LNG888	水林 章	
MFLG1291	春	研究指導	LNG888	COUCHOT Hervé	
MFLG1311	春	研究指導	LNG888	AMAT Edelmira	
MFLG1321	春	研究指導	LNG888	FAIRBROTHER Lisa	
MFLG1331	春	研究指導	LNG888	TUCHAIS Simon	
MFLG1341	春	研究指導	LNG888	LIPSKY Angela	
MFLG1351	春	研究指導	LNG888	原 惠子	
MFLG1361	春	研究指導	LNG888	原 求作	
MFLG1371	春	研究指導	LNG888	福崎 裕子	
MFLG1381	春	研究指導	LNG888	高橋 亮介	
MFLG1391	春	研究指導	LNG888	吉畑 博代	
MFLG1411	春	研究指導	LNG888	加藤 孝臣	
MFLG1421	春	研究指導	LNG888	峯 布由紀	
MFLG1431	春	研究指導	LNG888	秋山 真一	
MFLG1012	秋	研究指導	LNG888	吉田 研作	
MFLG1032	秋	研究指導	LNG888	高橋 由美子	
MFLG1062	秋	研究指導	LNG888	BRITTO Francis	
MFLG1092	秋	研究指導	LNG888	RUIZ TINOCO Antonio	
MFLG1102	秋	研究指導	LNG888	福井 直樹	
MFLG1122	秋	研究指導	LNG888	渡部 良典	
MFLG1132	秋	研究指導	LNG888	井上 幸義	
MFLG1142	秋	研究指導	LNG888	市之瀬 敦	
MFLG1152	秋	研究指導	LNG888	原田 早苗	
MFLG1162	秋	研究指導	LNG888	和泉 伸一	
MFLG1172	秋	研究指導	LNG888	小柳 かおる	
MFLG1182	秋	研究指導	LNG888	本橋 辰至	
MFLG1192	秋	研究指導	LNG888	NEVES Mauro	
MFLG1212	秋	研究指導	LNG888	新倉 真矢子	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
MFLG1222	秋	研究指導	LNG888	西村君代	
MFLG1232	秋	研究指導	LNG888	坂本光代	
MFLG1242	秋	研究指導	LNG888	清水崇文	
MFLG1262	秋	研究指導	LNG888	TOIDA Helena	
MFLG1272	秋	研究指導	LNG888	村田真一	
MFLG1282	秋	研究指導	LNG888	水林章	
MFLG1292	秋	研究指導	LNG888	COUCHOT Hervé	
MFLG1312	秋	研究指導	LNG888	AMAT Edelmira	
MFLG1322	秋	研究指導	LNG888	FAIRBROTHER Lisa	
MFLG1332	秋	研究指導	LNG888	TUCHAIS Simon	
MFLG1342	秋	研究指導	LNG888	LIPSKY Angela	
MFLG1352	秋	研究指導	LNG888	原惠子	
MFLG1362	秋	研究指導	LNG888	原求作	
MFLG1372	秋	研究指導	LNG888	福崎裕子	
MFLG1382	秋	研究指導	LNG888	高橋亮介	
MFLG1392	秋	研究指導	LNG888	吉畑博代	
MFLG1412	秋	研究指導	LNG888	加藤孝臣	
MFLG1422	秋	研究指導	LNG888	峯布由紀	
MFLG1432	秋	研究指導	LNG888	秋山真一	
MFLG1442	秋	研究指導	LNG888	北原真冬	

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶選択必修科目 (必修)	6		
└言語聴覚障害学特論	2		
└言語聴覚障害研究法B (実験計画法)	2		
└言語聴覚障害研究法D (文献講読)	2		
▶選択必修科目	2		「コミュニケーション科学研究法A」「同B」のうち, 1科目は必ず履修すること
▶選択科目	22		
└自専攻自コース科目			
└自専攻他コース科目			
研究指導(必修)			単位なし, 2年次以降に毎学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【修士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が言語研究に寄与し, 独創性を有すること。
- 2) 研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
- 3) 先行研究を踏まえ, 十分な論証がなされていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
言語聴覚障害学特論	2		
失語・高次脳機能障害学特論A			2
失語・高次脳機能障害学特論B			2
聴覚障害学特論A			2
聴覚障害学特論B			2
聴覚障害学特論C（補聴器）			2
聴覚障害学特論D（人工内耳）			2
小児言語発達学特論			2
言語聴覚学特論A（成人のコミュニケーション障害）			2
言語聴覚学特論B（小児のコミュニケーション障害）			2
言語聴覚障害研究法A（心理統計）			2
言語聴覚障害研究法B（実験計画法）	2		
言語聴覚障害研究法C（データ分析）			2
言語聴覚障害研究法D（文献講読）	2		
コミュニケーション障害分析法A（治療診断学・成人）			2
コミュニケーション障害分析法B（治療診断学・小児）			2
言語障害研究特殊講義A（機能的構音障害）			2
言語障害研究特殊講義B（器質性構音障害）			2
言語障害研究特殊講義C（発声発語の生理学）			2
言語障害研究特殊講義D（音声障害）			2
言語障害研究特殊講義E（吃音）			2
言語障害研究特殊講義F（学習障害）			2
言語障害研究特殊講義G（成人の運動性構音障害・摂食・嚥下障害）			2
言語障害研究特殊講義H（小児の運動性構音障害・摂食・嚥下障害）			2
臨床医学特論A（神経内科学）			2
臨床医学特論B（精神医学・リハビリテーション医学・コミュニケーション障害と心理臨床）			2
臨床医学特論C（耳科学・形成外科学・歯科口腔外科学）			2
臨床医学特論D（神経系の基礎と病態・内科学）			2
臨床医学特論E（発達障害医学・脳性麻痺）			2

※注1：心理学専攻開講科目。

※注2：言語学専攻開講科目。

※注3：英語教授法コース（TESOL）開講科目。

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
言語聴覚病理学特論（医学概論・解剖学・生理学・病理学）			2
高次脳機能障害学演習A			2
高次脳機能障害学演習B			2
言語発達障害学演習A			2
言語発達障害学演習B			2
聴覚障害学演習A			2
聴覚障害学演習B			2
発声発語障害学演習A			2
発声発語障害学演習B			2
発声発語障害学演習C			2
発声発語障害学演習D			2
コミュニケーション科学研究法A		2	
コミュニケーション科学研究法B		2	
統辞論基礎 ※注2			4
意味論基礎 ※注2			4
音声学・音韻論基礎 ※注2			4
実験音声学特講・演習Ⅰ－A ※注2			2
実験音声学特講・演習Ⅰ－B ※注2			2
実験音声学特講・演習Ⅱ－A ※注2			2
実験音声学特講・演習Ⅱ－B ※注2			2
Psycholinguistics ※注3			4
Second Language Acquisition (English) ※注3			4
(他) 心理測定学特殊研究Ⅰ ※注1			2
(他) 心理測定学特殊研究Ⅱ ※注1			2
(他) 認知心理学特殊研究Ⅰ ※注1			2
(他) 認知心理学特殊研究Ⅱ ※注1			2
(他) 生理心理学特殊研究Ⅰ ※注1			2
(他) 生理心理学特殊研究Ⅱ ※注1			2
(他) 発達心理学特殊研究Ⅰ ※注1			2
(他) 発達心理学特殊研究Ⅱ ※注1			2

### 3. 履修上の注意

- 1) 必修科目の3科目と、選択必修科目のうち、どちらか1科目を含む、30単位以上を履修すること。言語聴覚士国家試験の受験資格の取得を希望する場合は、在籍期間中に、厚生労働大臣の指定する科目（平成10年8月厚生省告示227号）を履修すること。なお、言語聴覚士の国家試験受験資格を得るためには2年半の在籍が必要となる。
- 2) 1年次終了までに指導教員を決め、履修計画及び、修士論文の作成に対する指導を受けること。
- 3) 2年次春学期に「修士論文計画書」を提出し、論文審査委員（主査1名、副査2名以上）による面接を受けること。その結果を受けて、論文の作成にかかり、所定の期限に提出後、学位論文審査を受けること。

#### ■学部開講関連科目一覧（参考）

授 業 科 目 名		担 当 者 *：非常勤教員	開講学科等	
休	言語学概論1	加 藤 孝 臣	外国語学部	
	言語学概論2	加 藤 孝 臣	外国語学部	
	言語聴覚障害学概論	コ) 吉 畑 博 代	外国語学部	
	言語聴覚障害学特殊講義A（失語症）	吉 畑 博 代	外国語学部	
	言語聴覚障害学特殊講義B（言語発達遅滞）	原・*石田・*青木・*大伴	外国語学部	
	学習心理学I	廣 瀬 英 子	心理学科	
	発達心理学I	荻 野 美 佐 子	心理学科	
	発達心理学II	荻 野 美 佐 子	心理学科	
	認知心理学I	道 又 爾	心理学科	
	認知心理学II	道 又 爾	心理学科	
	人格心理学I	吉 村 聡	心理学科	
	人格心理学II	吉 村 聡	心理学科	
	カウンセリング概論I	毛 利 伊 吹	心理学科	
	カウンセリング概論II	毛 利 伊 吹	心理学科	
	休	心理臨床学I	横 山 恭 子	心理学科
		心理臨床学II	横 山 恭 子	心理学科
	休	社会福祉概論	栃 本 一 三 郎	社会福祉学科
社会福祉原論		栃 本 一 三 郎	社会福祉学科	
社会保障論I		大 塚 晃	社会福祉学科	
精神保健福祉論		藤 井 達 也	社会福祉学科	
障害者福祉論I		大 塚 晃	社会福祉学科	
休		障害者福祉論II	大 塚 晃	社会福祉学科

※科目の詳細（開講期、曜日、時限等）については、学部のLoyolaの「時間割表」および「履修要覧」で確認すること。

※上記の科目は、履修することは可能だが、修了要件に算入することはできない。

※履修希望者は、p.11を参照。

## 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※*:非常勤教員	備考
MFLC1010	春	言語聴覚障害学特論	LGC501	2	原 恵 子	M1対象
MFLC6010	春	コミュニケーション科学研究法A	LGC601	2	吉 畑 博 代	M2対象
MFLC6020	春	コミュニケーション科学研究法B	LGC602	2	原 恵 子	M2対象
MFLC7010	春	失語・高次脳機能障害学特論A	LGC503	2	吉 畑 博 代	M1対象
MFLC7040	春	聴覚障害学特論B	LGC703	2	*進 藤 美津子	隔年開講
MFLC7090	春	言語聴覚障害研究法C (データ分析)	LGC605	2	*山 本 崇 博	M2対象
MFLC7120	春	言語障害研究特殊講義A (機能性構音障害)	LGC508	2	*浅 野 和 海	
MFLC7170	春	高次脳機能障害学演習A	LGC510	2	吉 畑 博 代	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M1対象
MFLC7190	春	言語発達障害学演習A	LGC606	2	原 恵 子	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M2対象
MFLC7210	春	聴覚障害学演習A	LGC721	2	*進 藤 美津子	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可
MFLC7230	春	発声発語障害学演習A	LGC607	2	*関 谷 麻美子	集中実習を含む, 言語聴覚研究コースの学生のみ履修可
MFLC7250	春	発声発語障害学演習C	LGC515	2	*織 田 千 尋	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可
MFLC7041	春	聴覚障害学特論C (補聴器)	LGC704	2	*中 川 辰 雄	隔年開講, 春学期集中
MFLC7141	春	言語障害研究特殊講義E (吃音)	LGC711	2	*酒 井 奈緒美	隔年開講, 春学期集中
MFLC7151	春	言語障害研究特殊講義H (小児の運動性構音障害・摂食・嚥下障害)	LGC714	2	*高 見 葉 津	隔年開講, 春学期集中
MFLC7161	春	臨床医学特論C (耳科学・形成外科学・歯科口腔外科学)	LGC717	2	*小 林 一 女 *大久保 文 雄 *石 井 宏 昭	隔年開講, 輪講, 春学期集中
MFLC7165	春	臨床医学特論D (神経系の基礎と病態・内科学)	LGC719	2	*岡 田 大 助 *吉 澤 浩 志 *豊 島 裕 子	隔年開講, 輪講, 春学期集中
MFLC7166	春	臨床医学特論E (発達障害医学・脳性麻痺)	LGC720	2	*今 井 祐 之 *栗 原 亞 紀	隔年開講, 輪講, 春学期集中
MFLC7164	春	言語聴覚病理学特論 (医学概論・解剖学・生理学・病理学)	LGC718	2	*木 村 直 史 *羽 野 寛 *柳 澤 裕 之 *橋 本 直 詞	隔年開講, 輪講, 春学期集中
MFLC1020	秋	言語聴覚障害研究法B (実験計画法)	LGC502	2	吉 畑 博 代	M1対象
MFLC7020	秋	失語・高次脳機能障害学特論B	LGC504	2	コーディネータ 吉 畑 博 代	輪講, 一部集中, M1対象
MFLC7052	秋	小児言語発達学特論	LGC706	2	原 恵 子	隔年開講
MFLC7060	秋	言語聴覚学特論A (成人のコミュニケーション障害)	LGC603	2	吉 畑 博 代	M2対象
MFLC7070	秋	言語聴覚学特論B (小児のコミュニケーション障害)	LGC604	2	原 恵 子	M2対象
MFLC7080	秋	言語聴覚障害研究法A (心理統計)	LGC505	2	*山 本 崇 博	M1対象
MFLC7100	秋	コミュニケーション障害分析法A (治療診断学・成人)	LGC506	2	吉 畑 博 代	M1対象
MFLC7110	秋	コミュニケーション障害分析法B (治療診断学・小児)	LGC507	2	原 恵 子	M1対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※*:非常勤教員	備考
MFLC7130	秋	言語障害研究特殊講義B (器質性構音障害)	LGC509	2	*浅野和海 *山下夕香里	輪講, 一部集中
MFLC7180	秋	高次脳機能障害学演習B	LGC511	2	吉畑博代	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M1対象
MFLC7200	秋	言語発達障害学演習B	LGC512	2	原 惠子	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M1対象
MFLC7220	秋	聴覚障害学演習B	LGC513	2	*進藤美津子	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可
MFLC7240	秋	発声発語障害学演習B	LGC514	2	*関谷麻美子	集中実習を含む, 言語聴覚研究コースの学生のみ履修可
MFLC7260	秋	発声発語障害学演習D	LGC516	2	*西脇恵子	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可
MFLC1030	休講	言語聴覚障害研究法D (文献講読)	LGC701	2		隔年開講
MFLC7030	休講	聴覚障害学特論A	LGC702	2		隔年開講
MFLC7051	休講	聴覚障害学特論D(人工内耳)	LGC705	2		隔年開講
MFLC7131	休講	言語障害研究特殊講義C (発声発語の生理学)	LGC709	2		隔年開講
MFLC7132	休講	言語障害研究特殊講義D (音声障害)	LGC710	2		隔年開講
MFLC7142	休講	言語障害研究特殊講義F (学習障害)	LGC712	2		隔年開講
MFLC7150	休講	言語障害研究特殊講義G(成人の 運動性構音障害・摂食・嚥下障害)	LGC713	2		隔年開講
MFLC7152	休講	臨床医学特論A(神経内科学)	LGC715	2		隔年開講
MFLC7153	休講	臨床医学特論B(精神医学・リハビリテーション医学・コミュニケーション障害と心理臨床)	LGC716	2		隔年開講, 輪講

※備考欄で特に記載がない場合は前期課程の学生を対象。

※修士論文についてはp. 200~201参照。

※研究指導一覧表についてはp. 202~203参照。

## 言語学専攻 博士前期課程 英語教授法コース (TESOL)

## 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶選択必修科目 (必修)	8		
└Introduction to Linguistics	2		
└Introduction to TEFL in Japan	2		
└Second Language Acquisition (English)	4		
▶選択科目	22		
└自専攻自コース科目	12		
└Core Courses	4		
└Integrative Seminar in TESOL 1 (Core Topics)	4		
└Integrative Seminar in TESOL 2 (Related Topics)	4		
└Special Topics in Linguistics			
└自専攻他コース科目			
研究指導(必修)			単位なし, 2年次以降に毎学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

## 【修士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が言語研究に寄与し, 独創性を有すること。
- 2) 研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
- 3) 先行研究を踏まえ, 十分な論証がなされていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;Core Courses&gt;</b>			
Introduction to Linguistics		2	
Introduction to TEFL in Japan		2	
Second Language Acquisition (English)		4	
Teaching Pronunciation			2
Listening and Speaking			2
Reading and Writing			2
Classroom Research			2
Affective Factors in TESOL			2
Semantics and Vocabulary Learning			2
Curriculum and Syllabus Design			2
Materials Development			2
Principles and Practice of CLIL			2
Thesis Writing			2
<b>&lt;Integrative Seminar in TESOL 1 (Core Topics)&gt;</b>			
Applied Linguistics (Focus on Form)			4
Action Research			4
TEFL Methodology			4
言語テスト 1 ※注1			2
言語テスト 2 ※注1			2
Classroom Discourse			2
<b>&lt;Integrative Seminar in TESOL 2 (Related Topics)&gt;</b>			
Bilingual Education			4
Intercultural Interaction			2
Analyzing Spoken Data			2
Psycholinguistics			4
Sociolinguistics			4
Sociocultural Theory & SLA			2
Qualitative Research Methods			2
Language and Power			2
実験統計法1 ※注1			2
実験統計法2 ※注1			2
フランス語教授法1 ※注1			2
フランス語教授法2 ※注1			2
Theories of Teaching English to Young Children			2

※注1：言語学専攻開講科目。

※注2：日本語教育学コース開講科目。

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
Practicum in Teaching English to Children 1			2
Practicum in Teaching English to Children 2			2
日本語教育文法 I ※注2			2
日本語教育文法 II ※注2			2
第二言語習得 I ※注2			2
第二言語習得 II ※注2			2
言語・文化・社会 ※注2			2
日本語教授法概論 ※注2			2
日本語教育文法演習 ※注2			2
日本語教授法特講 ※注2			2
第二言語習得演習 ※注2			2
中間言語語用論概論 ※注2			2
中間言語語用論演習 ※注2			2
談話分析 ※注2			2
日本語評価法 ※注2			2
日本語教授法（初級） ※注2			2
日本語教授法（中上級） ※注2			2
日本語音声学 ※注2			2
日本語教材・教具論 ※注2			2
日本語社会言語学 ※注2			2
バイリンガル教育と多文化共生 ※注2			2
研究法入門 ※注2			2
異文化コミュニケーション ※注2			2
日本語研究 I ※注2			2
日本語研究 II ※注2			2
<b>&lt;Special Topics in Linguistics&gt;</b>			
Functional Grammar 1			2
Functional Grammar 2			2
World Englishes			4
音声学・音韻論基礎 ※注1			4
統辞論基礎 ※注1			4
意味論基礎 ※注1			4
コーパス言語学1 ※注1			2
コーパス言語学2 ※注1			2

### 3. 履修上の注意

1) 30 単位以上を履修すること。

なお、上記 30 単位の中には、次の選択必修科目が含まれていなければいけない。

Introduction to Linguistics, Introduction to TEFL in Japan, Second Language Acquisition (English), これら 3 科目は、修了要件上の必修科目であり、1 年次に履修することが望ましい。

また、Core Courses から少なくとも 12 単位、Integrative Seminar in TESOL 1 (Core Topics) から少なくとも 4 単位、Integrative Seminar in TESOL 2 (Related Topics) から少なくとも 4 単位履修すること。

2) 1 年次終了までに指導教員を決め、履修計画及び、修士論文・プロジェクトの作成に対する指導を受けること。

3) 2 年次春学期に「修士論文計画書」を提出し、論文審査委員（主査 1 名、副査 2 名以上）による面接を受けること。

その結果を受けて、論文の作成にかかり、所定の期限に提出後、学位論文審査を受けること。

4) 「Practicum in Teaching English to Children 1・2」は、10 月から 11 月に「1」の授業を行い、11 月から 1 月に「2」の授業を行うが、履修する学生は秋学期の履修登録期間に両方の科目を履修すること。なお、「1」を履修中止する場合、「秋学期前半科目履修中止期間」に Loyola にて手続きを行うこと。

#### 4. 開講科目一覧表 ※授業はすべて英語で行う

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MFLT6010	春	INTRODUCTION TO LINGUISTICS	LGT501	2	藤田 保	M1対象
MFLT6020	春	INTRODUCTION TO TEFL IN JAPAN	LGT502	2	渡部 良典	M1対象
MFLT6041	春	SECOND LANGUAGE ACQUISITION (ENGLISH)	LGT503	4	和泉 伸一	M1対象
MFLT7020	春	LISTENING AND SPEAKING	LGT702	2	佐藤 敬典	
MFLT7040	春	CLASSROOM RESEARCH	LGT704	2	渡部 良典	
MFLT7080	春	THESIS WRITING	LGT728	2	MACINTYRE Robert	
MFLT7120	春	ANALYZING SPOKEN DATA	LGT709	2	FAIRBROTHER Lisa	隔年開講
MFLT7230	春	QUALITATIVE RESEARCH METHODS	LGT720	2	坂本 光代	
MFLT7260	春	PRINCIPLES AND PRACTICE OF CLIL	LGT723	2	逸見 シャンタール	
MFLT7270	春	WORLD ENGLISHES	LGT724	4	BRITTO Francis	隔年開講
MFLT7010	秋	TEACHING PRONUNCIATION	LGT701	2	佐藤 敬典	
MFLT7030	秋	READING AND WRITING	LGT703	2	渡部 良典	
MFLT7100	秋	APPLIED LINGUISTICS (FOCUS ON FORM)	LGT708	4	和泉 伸一	
MFLT7130	秋	ACTION RESEARCH	LGT710	4	渡部 良典	
MFLT7170	秋	INTERCULTURAL INTERACTION	LGT714	2	FAIRBROTHER Lisa	
MFLT7200	秋	SOCIOCULTURAL THEORY & SLA	LGT717	2	坂本 光代	
MFLT7240	秋	LANGUAGE AND POWER	LGT721	2	坂本 光代	隔年開講
MFLT7250	秋	MATERIALS DEVELOPMENT	LGT722	2	(他)池田 真	
MFLT7330	秋	THEORIES OF TEACHING ENGLISH TO YOUNG CHILDREN	LGT725	2	藤田 保	
MFLT7340	秋・前半	PRACTICUM IN TEACHING ENGLISH TO CHILDREN 1	LGT726	2	*狩野 晶子	(注1)
MFLT7350	秋・後半	PRACTICUM IN TEACHING ENGLISH TO CHILDREN 2	LGT727	2	*狩野 晶子	(注1)
MFLT7050	休講	AFFECTIVE FACTORS IN TESOL	LGT705	2		隔年開講
MFLT7060	休講	SEMANTICS & VOCABULARY LEARNING	LGT706	2		隔年開講
MFLT7070	休講	CURRICULUM AND SYLLABUS DESIGN	LGT707	2		
MFLT7140	休講	TEFL METHODOLOGY	LGT711	4		
MFLT7150	休講	CLASSROOM DISCOURSE	LGT712	2		隔年開講
MFLT7160	休講	BILINGUAL EDUCATION	LGT713	4		隔年開講
MFLT7180	休講	PSYCHOLINGUISTICS	LGT715	4		隔年開講
MFLT7190	休講	SOCIOLINGUISTICS	LGT716	4		隔年開講
MFLT7210	休講	FUNCTIONAL GRAMMAR 1	LGT718	2		前期課程対象
MFLT7220	休講	FUNCTIONAL GRAMMAR 2	LGT719	2		前期課程対象

※注1：履修に際しては、P.211の「3. 履修上の注意」の4)を参照すること。

※修士論文についてはp.200～201参照。

※研究指導一覧表についてはp.202～203参照。

## 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶ 選択必修科目 (必修)	8		
└ 日本語教育文法 I	2		
└ 第二言語習得 I	2		
└ 言語・文化・社会	2		
└ 日本語教授法概論	2		
▶ (B) 選択必修科目群	16		(B) 選択必修科目群から16単位を超えて履修をした場合, その単位は選択科目として取り扱う
▶ 選択科目	6		
└ 自専攻自コース科目			
└ 自専攻他コース科目			
研究指導(必修)			単位なし, 2年次以降に毎学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

### 【修士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が言語研究に寄与し, 独創性を有すること。
- 2) 研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
- 3) 先行研究を踏まえ, 十分な論証がなされていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt; (A) 必修科目群 &gt;</b>			
日本語教育文法 I		2	
第二言語習得 I		2	
言語・文化・社会		2	
日本語教授法概論		2	
<b>&lt; (B) 選択必修科目群 &gt;</b>			
日本語教育文法 II			2
第二言語習得 II			2
日本語教育文法演習			2
日本語教授法特講			2
第二言語習得演習			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
中間言語語用論概論			2
中間言語語用論演習			2
談話分析			2
日本語評価法			2
日本語教授法 (初級)			2
日本語教授法 (中上級)			2
日本語音声学			2
日本語教材・教具論			2
日本語社会言語学			2
バイリンガル教育と多文化共生			2
研究法入門			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
異文化コミュニケーション			2
日本語研究 I			2
日本語研究 II			2
<b>&lt; (C) 選択科目群 &gt;</b>			
Introduction to Linguistics ※注2			2
Introduction to TEFL in Japan ※注2			2
Second Language Acquisition (English) ※注2			4
Teaching Pronunciation ※注2			2
Listening and Speaking ※注2			2
Reading and Writing ※注2			2
Classroom Research ※注2			2
Affective Factors in TESOL ※注2			2
Semantics and Vocabulary Learning ※注2			2
Curriculum and Syllabus Design ※注2			2
Materials Development ※注2			2
Principles and Practice of CLIL ※注2			2
Thesis Writing ※注2			2
Applied Linguistics (Focus on Form) ※注2			4
Action Research ※注2			4
TEFL Methodology ※注2			4
Classroom Discourse ※注2			2
Bilingual Education ※注2			4
Intercultural Interaction ※注2			2

※注1：言語学専攻開講科目。

※注2：英語教授法コース（TESOL）開講科目。

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
Analyzing Spoken Data ※注2			2
Psycholinguistics ※注2			4
Sociolinguistics ※注2			4
Sociocultural Theory & SLA ※注2			2
Qualitative Research Methods ※注2			2
Language and Power ※注2			2
Theories of Teaching English to Young Children ※注2			2
Practicum in Teaching English to Children 1 ※注2			2
Practicum in Teaching English to Children 2 ※注2			2
Functional Grammar 1 ※注2			2
Functional Grammar 2 ※注2			2
World Englishes ※注2			4
統辞論基礎 ※注1			4
意味論基礎 ※注1			4
音声学・音韻論基礎 ※注1			4
実験統計法1 ※注1			2
実験統計法2 ※注1			2
言語テスト1 ※注1			2
言語テスト2 ※注1			2
外国語教育評価入門 ※注1			2

### 3. 履修上の注意

1) 30 単位以上を履修すること。

なお、上記 30 単位の中には、(A)履修群の 8 単位、(B)履修群の 16 単位以上が含まれていなければいけない。  
また、学部での日本語教育の知識が不十分な学生については、必要に応じて学部の日本語教育関連コースの科目の履修を義務付ける場合がある。

2) 1 年次終了までに指導教員を決め、履修計画及び、修士論文の作成に対する指導を受けること。

3) 2 年次春学期に「修士論文計画書」を提出し、論文審査委員（主査1名、副査2名以上）による面接を受けること。

その結果を受けて、論文の作成にかかり、所定の期限に提出後、学位論文審査を受けること。

## ■学部開講関連科目一覧（参考）

授 業 科 目 名		担 当 者	開講学科等
休	日本語教育入門1	清 水 崇 文	外国語学部
	日本語教育入門2	清 水 崇 文	外国語学部
休	日本語教育学A（文法）1	村 田 水 恵	外国語学部
	日本語教育学A（文法）2	村 田 水 恵	外国語学部
	日本語教育学B（言語習得）1	小 柳 かおる	外国語学部
休	日本語教育学B（言語習得）2	小 柳 かおる	外国語学部
	日本語教育学C（社会言語学）1	清 水 崇 文	外国語学部
	日本語教育学C（社会言語学）2	清 水 崇 文	外国語学部
	日本語教授法A（初級）1	峯 布 由 紀	外国語学部
	日本語教授法A（初級）2	峯 布 由 紀	外国語学部
	日本語教授法B（中上級）1	峯 布 由 紀	外国語学部
	日本語教授法B（中上級）2	峯 布 由 紀	外国語学部
	日本語教授法C（技能別）1	小 柳 かおる	外国語学部
	日本語教授法C（技能別）2	小 柳 かおる	外国語学部

※科目の詳細（開講期、曜日、時限等）については、学部のLoyolaの「時間割表」および「履修要覧」で確認すること。

※上記の科目は、履修することは可能だが、修了要件に算入することは出来ない。

## 4. 開講科目一覧表

登 録 コード	開 講 期	科 目 名	ナンバ リング	単 位 数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	備 考
MFLJ6010	春	日本語教育文法Ⅰ	LGJ501	2	峯 布由紀	
MFLJ6020	春	第二言語習得Ⅰ	LGJ502	2	小 柳 かおる	
MFLJ6040	春	日本語教授法概論	LGJ504	2	峯 布由紀	
MFLJ7040	春	日本語教授法特講	LGJ704	2	小 柳 かおる	
MFLJ7090	春	日本語評価法	LGJ709	2	小 柳 かおる	
MFLJ7100	春	日本語教授法（初級）	LGJ710	2	*ペレラ 柴田 奈津子	
MFLJ7140	春	日本語社会言語学	LGJ714	2	*齋 藤 純 子	
MFLJ7160	春	研究法入門	LGJ716	2	*向 山 陽 子	
MFLJ6030	秋	言語・文化・社会	LGJ503	2	清 水 崇 文	
MFLJ7010	秋	日本語教育文法Ⅱ	LGJ701	2	峯 布由紀	
MFLJ7020	秋	第二言語習得Ⅱ	LGJ702	2	小 柳 かおる	
MFLJ7050	秋	第二言語習得演習	LGJ705	2	小 柳 かおる	
MFLJ7070	秋	中間言語語用論演習	LGJ707	2	清 水 崇 文	
MFLJ7080	秋	談話分析	LGJ708	2	清 水 崇 文	
MFLJ7110	秋	日本語教授法（中上級）	LGJ711	2	*向 山 陽 子	
MFLJ7120	秋	日本語音声学	LGJ712	2	坂 本 恵 美	
MFLJ7130	秋	日本語教材・教具論	LGJ713	2	*ペレラ 柴田 奈津子	
MFLJ7170	秋	異文化コミュニケーション	LGJ717	2	清 水 崇 文	
MFLJ7180	秋	日本語研究Ⅰ	LGJ718	2	峯 布 由 紀	隔年開講
MFLJ7030	休講	日本語教育文法演習	LGJ703	2		
MFLJ7060	休講	中間言語語用論概論	LGJ706	2		
MFLJ7150	休講	バイリンガル教育と多文化共生	LGJ715	2		隔年開講
MFLJ7190	休講	日本語研究Ⅱ	LGJ719	2		隔年開講

※修士論文についてはp. 200～201参照。

※研究指導一覧表についてはp. 202～203参照。

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数			
▶選択科目			
研究指導 (必修)			単位なし, 11年次生以降は毎学期, 10年次生以前は3年次までに計2回, 履修すること ※10年度までは「論文指導 (単位なし)」
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が言語研究に寄与し, 独創性を有すること。
- 2) 研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
- 3) 国内外の先行研究を踏まえ, 十分な論証がなされていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。
- 5) 自立した研究者として研究活動を遂行するに足る能力と学識が示されたものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
コミュニケーション障害特殊講義			2
コミュニケーション障害分析法 (治療診断学)			2

3. 履修上の注意

- 1) 修了に必要な履修単位数の条件はない。
- 2) 1年次に指導教員を決め, 研究上の指導を受けること。  
2年次に博士論文資格試験を受験すること。詳細は言語学専攻事務室に問い合わせること。
- 3) 「研究指導」については, 11年次生以降は指導教員の「研究指導」を毎学期履修すること。10年次生以前については必ず同一教員の「研究指導」を春学期, 秋学期の1回ずつ計2回, 3年次までに履修すること。
- 4) 博士論文提出前に, 合計2編以上の論文をしかるべき学術雑誌 (査読付き) に発表すること。そのうち少なくとも1編は単著であること。
- 5) 博士論文 (課程博士) の作成, 提出について
  - (a) 指導教員の指導の下で作成準備にかかり, 適当な時期に, 論文審査委員会 (主査1名, 副査2名以上) を構成する。
  - (b) 在学中に論文を提出し, 審査を受け, 最終試験 (公開試問) を受ける。  
なお, 2001~2013年度の入学者については, 満期退学後3年以内に論文を提出した場合には, 課程博士として学位論文審査および最終試験を受けることができる特例の適用を受けることができる。本特例の適用を受けようとする者は, 「満期退学願」提出時に「課程博士学位論文提出申請書」を提出すること。  
本特例の詳細については, 学事センター (学籍・証明書) 窓口にお問い合わせのこと。

また、「論文博士」の提出手続きについても学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせのこと。

6) 本修了要件（上記1）～5）は、2003年度入学者から施行する。

7) 2009年度以降に入学し、課程博士の取得を希望する者は専攻事務室で手順書を入手すること。

言語聴覚障害学を専攻する者は以下を参照すること。

- 1) 修了に必要な履修単位数の条件はない。
- 2) 1年次に指導教員を決め、研究上の指導を受けること。  
2年次に博士論文資格試験を受験すること。詳細は言語学専攻事務室にお問い合わせのこと。
- 3) 「研究指導」については、11年次生以降は指導教員の「研究指導」を毎学期履修すること。10年次生以前については必ず同一教員の「研究指導」を春学期、秋学期の1回ずつ計2回、3年次までに履修すること。
- 4) 博士論文の提出前に、合計2編以上の論文（査読付き。そのうち1編以上は英語で書かれたもの）をしかるべき学術雑誌に発表すること。また、そのうち少なくとも1編は単著であること。
- 5) 博士論文（課程博士）の作成・提出について
  - (a) 指導教員の指導の下で作成準備にかかり、適当な時期に、論文審査委員会（主査1名、副査2名以上）を構成する。
  - (b) 在学中に論文を提出し、2回の論文審査に合格した後、最終試験（公開試問）を受ける。  
なお、2001～2013年度の入学者については、満期退学後3年以内に論文を提出した場合には、博士課程として学位論文審査および最終試験を受けることができる特例の適用を受けることができる。本特例の適用を受けようとする者は、「満期退学願」提出時に「課程博士学位論文提出申請書」を提出すること。  
本特例の詳細については、学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせのこと。  
また、「論文博士」の提出手続きについても学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせのこと。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	備考
DFLG7010	春	コミュニケーション障害特殊講義	LGC901	2	吉 畑 博 代	後期課程の学生で、言語聴覚障害学を専攻する者のみ履修可
DFLG7020	秋	コミュニケーション障害分析法 (治療診断学)	LGC902	2	吉 畑 博 代	後期課程の学生で、言語聴覚障害学を専攻する者のみ履修可

## 5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
DFLG3051	春	研究指導	LNG988	吉田 研作	
DFLG3081	春	研究指導	LNG988	高橋 由美子	
DFLG3121	春	研究指導	LNG988	BRITTO Francis	
DFLG3161	春	研究指導	LNG988	RUIZ TINOCO Antonio	
DFLG3171	春	研究指導	LNG988	福井 直樹	
DFLG3191	春	研究指導	LNG988	渡部 良典	
DFLG3201	春	研究指導	LNG988	井上 幸義	
DFLG3211	春	研究指導	LNG988	市之瀬 敦	
DFLG3221	春	研究指導	LNG988	原田 早苗	
DFLG3231	春	研究指導	LNG988	和泉 伸一	
DFLG3241	春	研究指導	LNG988	小柳 かおる	
DFLG3251	春	研究指導	LNG988	本橋 辰至	
DFLG3261	春	研究指導	LNG988	NEVES Mauro	
DFLG3271	春	研究指導	LNG988	新倉 真矢子	
DFLG3281	春	研究指導	LNG988	西村 君代	
DFLG3291	春	研究指導	LNG988	坂本 光代	
DFLG3301	春	研究指導	LNG988	清水 崇文	
DFLG3321	春	研究指導	LNG988	TOIDA Helena	
DFLG3331	春	研究指導	LNG988	村田 真一	
DFLG3341	春	研究指導	LNG988	水林 章	
DFLG3351	春	研究指導	LNG988	COUCHOT Hervé	
DFLG3361	春	研究指導	LNG988	AMAT Edelmira	
DFLG3371	春	研究指導	LNG988	FAIRBROTHER Lisa	
DFLG3391	春	研究指導	LNG988	TUCHAIS Simon	
DFLG3401	春	研究指導	LNG988	LIPSKY Angela	
DFLG3411	春	研究指導	LNG988	原 惠子	
DFLG3421	春	研究指導	LNG988	原 求作	
DFLG3431	春	研究指導	LNG988	福崎 裕子	
DFLG3531	春	研究指導	LNG988	高橋 亮介	
DFLG3441	春	研究指導	LNG988	吉畑 博代	
DFLG3451	春	研究指導	LNG988	加藤 孝臣	
DFLG3461	春	研究指導	LNG988	峯 布由紀	
DFLG3471	春	研究指導	LNG988	秋山 真一	
DFLG3052	秋	研究指導	LNG988	吉田 研作	
DFLG3082	秋	研究指導	LNG988	高橋 由美子	
DFLG3122	秋	研究指導	LNG988	BRITTO Francis	
DFLG3162	秋	研究指導	LNG988	RUIZ TINOCO Antonio	
DFLG3172	秋	研究指導	LNG988	福井 直樹	
DFLG3192	秋	研究指導	LNG988	渡部 良典	
DFLG3202	秋	研究指導	LNG988	井上 幸義	
DFLG3212	秋	研究指導	LNG988	市之瀬 敦	
DFLG3222	秋	研究指導	LNG988	原田 早苗	
DFLG3232	秋	研究指導	LNG988	和泉 伸一	
DFLG3242	秋	研究指導	LNG988	小柳 かおる	
DFLG3252	秋	研究指導	LNG988	本橋 辰至	
DFLG3262	秋	研究指導	LNG988	NEVES Mauro	
DFLG3272	秋	研究指導	LNG988	新倉 真矢子	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
DFLG3282	春	研究指導	LNG988	西村 君代	
DFLG3292	秋	研究指導	LNG988	坂本 光代	
DFLG3302	秋	研究指導	LNG988	清水 崇文	
DFLG3322	秋	研究指導	LNG988	TOIDA Helena	
DFLG3332	秋	研究指導	LNG988	村田 真一	
DFLG3342	秋	研究指導	LNG988	水林 章	
DFLG3352	秋	研究指導	LNG988	COUCHOT Hervé	
DFLG3362	秋	研究指導	LNG988	AMAT Edelmira	
DFLG3372	秋	研究指導	LNG988	FAIRBROTHER Lisa	
DFLG3392	秋	研究指導	LNG988	TUCHAIS Simon	
DFLG3402	秋	研究指導	LNG988	LIPSKY Angela	
DFLG3412	秋	研究指導	LNG988	原 惠子	
DFLG3422	秋	研究指導	LNG988	原 求作	
DFLG3432	秋	研究指導	LNG988	福崎 裕子	
DFLG3532	秋	研究指導	LNG988	高橋 亮介	
DFLG3442	秋	研究指導	LNG988	吉畑 博代	
DFLG3452	秋	研究指導	LNG988	加藤 孝臣	
DFLG3462	秋	研究指導	LNG988	峯 布由紀	
DFLG3472	秋	研究指導	LNG988	秋山 真一	
DFLG3542	秋	研究指導	LNG988	北原 真冬	

※「研究指導」の履修年次は後期課程の1～3年次である。

